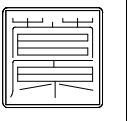



鶴岡市人工芝グラウンド整備工事(管理棟)

図面リスト								
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A - 00	表紙・図面リスト	-	A - 15	平面図、屋根伏図	A1 : 1/100 A3 : 1/200	S - 01	構造設計特記仕様書	-
A - 01	計画概要書	-	A - 16	立面図	A1 : 1/100 A3 : 1/200	S - 02	木質工事特記仕様書 1	-
A - 02	特記仕様書 0 1	-	A - 17	断面図	A1 : 1/100 A3 : 1/200	S - 03	木質工事特記仕様書 2	-
A - 03	特記仕様書 0 2	-	A - 18	断面詳細図	A1 : 1/20 A3 : 1/40	S - 04	木質工事特記仕様書 3	-
A - 04	特記仕様書 0 3	-	A - 19	平面詳細図	A1 : 1/50 A3 : 1/100	S - 05	木造基礎特記仕様書	-
A - 05	特記仕様書 0 4	-	A - 20	部分詳細図 1	A1 : 1/10, 30, 40 A3 : 1/20, 60, 80	S - 06	基礎伏図、基礎詳細図	A1 : 1/100, 30 A3 : 1/200, 60
A - 06	特記仕様書 0 5	-	A - 21	部分詳細図 2、サイン詳細図	A1 : 1/20, 5 A3 : 1/40, 10	S - 07	床伏図、柱伏図・筋違位置図	A1 : 1/100 A3 : 1/200
A - 07	特記仕様書 0 6	-	A - 22	展開図 1	A1 : 1/50 A3 : 1/100	S - 08	梁伏図、小屋伏図、鋼製梁詳細図	A1 : 1/100, 30 A1 : 1/200, 60
A - 08	特記仕様書 0 7	-	A - 23	展開図 2	A1 : 1/50 A3 : 1/100	S - 09	軸組図 1	A1 : 1/100 A3 : 1/200
A - 09	特記仕様書 0 8	-	A - 24	展開図 3	A1 : 1/50 A3 : 1/100	S - 10	軸組図 2	A1 : 1/100 A3 : 1/200
A - 10	特記仕様書 0 9	-	A - 25	建具位置図、法規チェックリスト(採光・換気・排煙)	A1 : 1/100 A3 : 1/200			
A - 11	特記仕様書 1 0、工事区分表	-	A - 26	建具表	A1 : 1/50 A3 : 1/100			
A - 12	配置図、付近見取図	A1 : 1/400 A3 : 1/800	A - 27	天井伏図、小屋裏隔壁図	A1 : 1/100 A3 : 1/200			
A - 13	建築面積・延べ床面積・各室床面積求積図、シックハウス検討	A1 : 1/100 A3 : 1/200						
A - 14	仕上表	-						

株式会社 菅原設計

工 事 名	鶴岡市人工芝グラウンド整備工事(管理棟)	図 番	A 0 1
		縮 尺	NoScale
図 面 名	計 画 概 要 書	日 付	R8.03.24
	鶴岡市日出一丁目16-1 山形県知事登録(1311)第1815号 株式会社 菅原 言 言 十 1級建築士 第169159号 菅原 英 介 TEL 0235(22)1848 FAX 0235(22)1840	校 閲	製 図
			

計画概要書

建築概要													
1. 工事名称 その他		5. 法規制		5 - 4. 避難規制									
工事名称	鶴岡市人工芝グラウンド整備工事(管理棟)			5 - 1. 一般事項		規制項目		規制概要		計画概要		備考(参照図)	
建築主(発注者)	鶴岡市長 佐藤 聡			規制項目	規制概要	計画概要	備考(参照図)	直通階段(歩行距離)	-	-	-	-	-
工事場所	鶴岡市高坂堰下28			道路斜線制限	距離20m 勾配1.5	-		直通階段(2以上の設置)	-	-	-	-	-
主要用途	管理事務所			隣地斜線制限	立上31m 勾配2.5	-		直通階段(重複距離)	-	-	-	-	-
工事種別	新築工事			日影規制	-	-		避難階段	-	-	-	-	-
工事期間	着工 令和 年 月			5 - 2. 一般構造及び設備規制				特別避難階段		-	-	-	-
	竣工 令和 年 月			階段				非常用照明		-	-	-	-
2. 敷地状況				幅員・踊り場				-	-	-	-	-	-
敷地面積	29,763.16㎡			蹴上				-	-	-	-	-	-
都市計画区域等	都市計画区域内 市街化区域			踏面				-	-	-	-	-	-
用途地域	無指定			手摺高さ				-	-	-	-	-	-
防火地域	建築基準法第22条地域			外部階段				敷地内避難通路		-	-	-	-
法定容積率	200%			幅員・踊り場				-	-	-	-	-	-
法定建蔽率	70%			蹴上				-	-	-	-	-	-
規制地域	指定なし			踏面				-	-	-	-	-	-
その他許可届出等				手摺高				-	-	-	-	-	-
3. 道路関係				バルコニー手摺高				-	-	-	-	-	-
道路種別幅員	市道(法42条1項-1号道路) 幅員8m			廊下				両側居室 -		-	-	-	-
接道距離	市道180m			居室の換気面積				1/20床面積		-	-	-	-
都市計画道路	無			居室の採光面積				-	-	-	-	-	-
4. 規模・構造等				居室の天井高				2.1m		-	-	-	-
建築面積	管理事務所		合計	居室の換気面積		1/20床面積		換気計算書					
	347.04 ㎡		347.04 ㎡	居室の採光面積		-		1/20採光上有効開口部計算書					
	敷地面積に対する割合 1.17 %			居室の天井高		2.1m		断面図					
延べ床面積	管理事務所		合計	排煙必要開口面積		-		1/50排煙上有効開口部計算書					
	277.63 ㎡		277.63 ㎡	避雷針		建築物の高さ 20.0m							
	敷地面積に対する割合 0.94 %			便所		水洗		公共下水道					
階数	管理事務所			5 - 3. 防火規定									
	地上 1階			壁				-		-			
各階床面積	棟	管理事務所		合計	柱		-		-				
		1階 277.63 ㎡		277.63 ㎡	床		-		-				
	計	277.63 ㎡		277.63 ㎡	梁		-		-				
最高の高さ(m)	棟	管理事務所		屋根		-		-					
		4.810 m		階段		-		-					
最高の軒高(m)	1階			延焼の恐れのある部分		-		-					
		3.430 m		防火区画(区画方法)		-		-					
階高(m)	1階			位置		-		-					
				構造		-		-					
構造種別	木造		界壁		-		-						
基礎形式	布基礎		小屋裏隔壁		建築面積>300㎡の建築物		けた行方向12m以内		小屋裏隔壁図				
耐火構造	その他		防火上主要な間仕切り壁		-		-						
消防法防火対象物	15項 事務所		防火戸		-		-						
耐震基準	構造体		地震地域係数Z=0.9		内装制限(火気使用室)		-		仕上表				
	建築非構造部材		B類										
	建築設備		乙類										
積雪荷重	単位重量		3kN/m3										
	垂直積雪荷重		積雪深:150cm										
	雪下ろし低減		無し										

電気設備概要				空調設備概要				給排水衛生設備概要					
電力	引き込み	別途工事		設計条件	外気 条件	室内 目標値				給水設備	水源及び引込み	鶴岡市水道 別途工事	
	幹線設備	動力	-			空調系統		給水方式	市水道直結直圧方式				
電灯設備	照明	単相 3線式 100/200V				温度()	相対湿度(%)	温度()	相対湿度(%)	排水設備	受水槽	なし	
	光源種類	LED				冬期	-1.8	62.8%	22.0		成り行き	屋外排水	グラウンド側設置柵に接続
	基準部照明	JIS照度基準を参照し部屋別に適正照度を確保する。		夏期	33.9	56.3%	28.0	〃	屋内排水		汚水、雑排水合流方式		
誘導灯	誘導標識		冷暖房方式	方式	冷暖房(事務室、会議室、更衣室): ルームエアコン				雨水排水設備	敷地排水	敷地排水		
コンセント設備	各居室、共用部、トイレに適宜設置する。			制御	個別温度制御					建物排水	地中パイプ排水によりグラウンド側溝に放流する		
構内交換設備	事務室に電話用モジュージャックを設置、配線は空配管とする。			系統	各室個別 外気系統、排気系統				衛生器具	洗面器、小便器	非接触式自動水栓式		
構内情報通信網設備	事務室にLAN用モジュージャックを設置、配線は空配管とする。			方式	居室(事務室、会議室): 第一種換気(全熱交換式)					消火設備	大便器	フラッシュタンク式洗浄方式とし、待ち時間の短縮をはかる。	
誘導支援設備	トイレ呼出設備	バリアフリートイレに呼出しボタンを設置し、事務室にコール親機を設置する。		機器換気量	居室のシックハウス対応換気 居室: 30m3/人、シックハウス換気: 0.3回/h 付室: 5回/h トイレ: 10回/h 程度				消火器		第五種消火設備(粉末消火器10形) 任意1個設置(別途工事)		

工 事 名	鶴岡市人工芝グラウンド整備工事(管理棟)	図 番	A 03
		縮 尺	NoScale
図 面 名	特 記 仕 様 書 0 2	日 付	R8.03.24
鶴岡市日出一丁目16-1 山形県知事登録(1311)第1815号 株式会社 菅原 言 言 1級建築士 第169159号 菅原 英 介 TEL 0235(22)1848 FAX 0235(22)1840	校 閲	製 図	

5 鉄筋工事	<p>品質の確認 評定等の評価内容による 検査 評定等の評価内容による 施工完了後の継手部の試験 ・外観試験 試験対象 全数 試験項目 ・評定等の評価内容による 試験方法 ・評定等の評価内容による ・超音波測定試験 試験対象 ・抜取り ロット ・1組の作業班が1日に行った継手箇所、最大200箇所程度とする。</p> <p>試験の箇所数 1ロットに対して()箇所</p> <p>・全数 試験項目 継手長さ 試験方法 JIS Z 3084 (鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準)による 不合格となった場合の措置</p> <p>適用箇所 ・ 図示による() H12報告第1463号に適合する性能 ・ A級 溶接継手の工法 ・ 図示による() 鉄筋相互のあき ・ 標準仕様書5.3.5(4)による ・ 評定等の評価内容による ・ 図示による() 施工完了後の溶接部の試験 ・ 外観試験 試験対象 全数 試験項目 ・ 評定等の評価内容による 試験方法 ・ 評定等の評価内容による ・ 超音波探傷試験 試験対象 ・ 抜取り ロット ・ 1組の作業班が1日に行った溶接箇所、最大200箇所程度とする。</p> <p>試験の箇所数 1ロットに対して()箇所</p> <p>・全数 試験項目 内部欠陥の検出 試験方法 JIS Z 3083 (鉄筋コンクリート用異形筋構造溶接部の超音波測定方法及び判定基準)による 不合格となった場合の措置</p>	<p>・ 混和材料 (6.3.1)</p> <p>・ 寒中コンクリート (6.11.1)(6.11.2)</p> <p>・ 寒中コンクリート (6.12.2)</p> <p>・ マスコンクリート (6.13.1)(6.13.2)</p> <p>・ 無筋コンクリート (6.14.1)</p> <p>・ 流動化コンクリート (6.15.1)</p>	<p>・ MCR工法用シート 適用箇所 ・ 図示による() 打直し厚さ 20mm ・ 混和材 スリーブの材種・規格等 ・ 図示による()</p> <p>・ 床型特用調製デッキプレートの梁側面の打直し処理 床型特用調製デッキプレートを使用する場合は、プレートが支持される梁の側面については、打直しを行うこと。 コンクリートの打直し厚さ 10mm 施工範囲 図示による()</p> <p>実施要領 図示による(構造関係共通図(構造関係共通事項))</p>	<p>・ 溶接材料 (7.2.5)</p> <p>・ ターンバックル (7.2.6)</p> <p>○ 床構造用のデッキプレート (7.2.7)(7.7.8)</p>	<p>・ 錆止め塗装 (7.8.2, 4)(18.3.2)</p> <p>・ 耐火被覆 (7.9.2) - (7.9.8)</p> <p>・ アンカーボルト等の設置等 (7.10.3)</p> <p>○ 軽量形鋼構造 (7.11.2)</p>	<p>・ 8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事</p>																																																																																																																									
							<p>・ 鉄骨製作用場 (7.1.3)</p> <p>・ 鉄骨製作用場における施工管理技術者 (7.1.4)</p> <p>・ 鋼材 (7.2.1)(7.2.10)</p> <p>・ 高力ボルト (7.2.2)(7.3.2)(7.4.2)</p> <p>・ 普通ボルト (7.2.3)(7.3.2)(7.3.8)</p> <p>・ 仮組 (7.3.10)</p> <p>・ 溶接作業を行う技能資格者の技量付加試験 (7.6.3)</p> <p>・ 溶接接合 (7.6.4)(7.6.7)</p> <p>・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.3.2)(7.4.2)(7.12.5)</p> <p>・ 入熱、バス間温度の溶接条件 (7.6.7)(7.6.10)</p> <p>・ 溶接部の試験 (7.6.12)</p>																																																																																																																								
6 コンクリート工事	<p>○ コンクリートの種類 (6.2.1)</p> <p>○ コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等 (6.2.1) - (6.2.4)(6.3.2)(6.10.1)(6.10.2)</p> <p>○ 軽量コンクリート (6.2.1) - (6.2.4)(6.3.2)による</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm²)</th> <th>スランプ (cm)</th> <th>気乾単位容積質量 (t/m³)</th> <th>種 別</th> <th>適用 箇所</th> </tr> <tr> <td>24</td> <td>標準仕様書表6.2.2による</td> <td>・ 2.3程度</td> <td>○a種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>24</td> <td></td> <td></td> <td>○b種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○c種</td> <td></td> </tr> </table> <p>構造体強度補正值 標準仕様書表6.3.2による</p> <p>○ 軽量コンクリート (6.2.1) - (6.2.4)(6.3.2)による</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm²)</th> <th>スランプ (cm)</th> <th>気乾単位容積質量 (t/m³)</th> <th>種 別</th> <th>適用 箇所</th> </tr> <tr> <td>21</td> <td></td> <td></td> <td>・ 1種 ・ 2種</td> <td></td> </tr> </table> <p>構造体強度補正值 標準仕様書表6.3.2による</p> <p>○ セメント (6.3.1)</p> <p>種 別 普通ポルトランドセメント、高炉セメントB種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種(普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が1日目で35J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする) 適用箇所() ・ 高炉セメントB種() 適用箇所() ・ フライアッシュセメントB種() 適用箇所()</p> <p>○ 骨材 (6.3.1)</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分 A - B</p>	設計基準強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	種 別	適用 箇所	24	標準仕様書表6.2.2による	・ 2.3程度	○a種		24			○b種					○c種		設計基準強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	種 別	適用 箇所	21			・ 1種 ・ 2種		<p>○ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打戻目地 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)</p> <p>○ 構造体コンクリートの仕上り (6.8.5)</p> <p>○ 増し厚さ(打放し仕上げ部) (6.8.1)</p> <p>○ 型枠 (6.8.2)</p>	<p>打継ぎの位置 標準仕様書6.6.4(1)による ・ 図示による()</p> <p>ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法 ・ 図示による()</p> <p>合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>適用 箇所</th> </tr> <tr> <td>○a種</td> <td>基礎立上り、足高い種・手洗い種</td> </tr> <tr> <td>○b種</td> <td>化粧打放しコンクリート、塗装仕上げ、塗紙張り、接着剤による異種接着剤タイル張り</td> </tr> <tr> <td>○c種</td> <td>仕上塗材塗り</td> </tr> <tr> <td>○d種</td> <td>セメントモルタルによる珪藻土質タイル張り、モルタル塗り、網練下地</td> </tr> </table> <p>コンクリートの仕上りの平たんさ(柱・梁・壁)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>適用 箇所</th> </tr> <tr> <td>○a種</td> <td>合成樹脂塗漆、ビニル系床材張り、コンクリート直均し仕上げ、フライアッシュセメント(貴船式)</td> </tr> <tr> <td>○b種</td> <td>カーベツ塗り、防水下地、セルフレベリング材塗り</td> </tr> <tr> <td>○c種</td> <td>タイル張り、モルタル塗り、二重床</td> </tr> </table> <p>せき板の材料及び厚さ ○合板(12mm) () ・ 断熱材を使用した型枠材</p> <p>使用箇所 ・ 図示による() 性能 熱伝導係数0.73m²・K/W以上を有するもの</p>	種 別	適用 箇所	○a種	基礎立上り、足高い種・手洗い種	○b種	化粧打放しコンクリート、塗装仕上げ、塗紙張り、接着剤による異種接着剤タイル張り	○c種	仕上塗材塗り	○d種	セメントモルタルによる珪藻土質タイル張り、モルタル塗り、網練下地	種 別	適用 箇所	○a種	合成樹脂塗漆、ビニル系床材張り、コンクリート直均し仕上げ、フライアッシュセメント(貴船式)	○b種	カーベツ塗り、防水下地、セルフレベリング材塗り	○c種	タイル張り、モルタル塗り、二重床	<p>高力ボルトの種類 ・ トルシヤ形高力ボルト ・ JIS形高力ボルト</p> <p>ボルトの繰端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による() ・ 摩擦面の処理方法 ・ 標準仕様書7.4.2(1)による</p> <p>・ すべり試験の実施 ・ すべり係数試験 ・ すべり耐力試験 すべり試験を実施する場合、標準仕様書7.4.2(1)(4)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。</p> <p>ボルト及びナットの種類 ・ 標準仕様書 表7.2.3(JIS別表)又は次による ボルトの規格は、JIS B 1180とする。 ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。 ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。 ナットの規格は、JIS B 1181とする。 ナットの種類は、六角ナット・Cとし、材料は鋼とする。</p> <p>合金 JIS B 1256による ボルトの繰端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による() 母屋又は鋼線の取付けに使用するボルトの孔径 ねじの呼び径+1.0mm</p> <p>ボルトの繰端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による() 摩擦面の処理方法 ・ プラスト処理(表面粗度50µm Rz以下) ・ リン酸塩処理</p> <p>・ すべり試験の実施 ・ すべり係数試験 ・ すべり耐力試験 すべり試験を実施する場合、標準仕様書7.12.5(1)(7)又は(4)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。</p> <p>・ 構造用アンカーボルト 種類 ○ ABR400 ・ ABR490 ・ 建方用アンカーボルト 種類 ○ SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 標準仕様書 表7.2.3による</p> <p>・ 標準仕様書 表7.2.3による</p> <p>・ 標準仕様書 表7.2.4以外のアンカーボルト 適用箇所 ・ 図示による()</p> <p>種類 ○ SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 標準仕様書 表7.2.3による</p> <p>ボルトの繰端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による()</p>	<p>ブロックの種類等 (8.2.2, 3, 5, 7, 8)</p> <p>断面形状及び圧縮強さに よる区分</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">正味厚さ (mm)</th> <th colspan="2">呼び寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">化紙の有無</th> <th rowspan="2">適用箇所</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>長さ</th> <th>高さ</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 無 ・ 有</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタルの調査(容積比) 標準仕様書表8.2.1による ・ セメント() : 砂() 各部の配筋 図示による 目地仕上げ ・ 押し目地仕上げ ・ 化粧目地仕上げ まくさを受ける開口部側のブロックのモルタル又はコンクリートで充填する範囲 図示による</p> <p>ブロックの種類等 (8.3.2-4)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">断面形状及び圧縮強さに よる区分</th> <th rowspan="2">正味厚さ (mm)</th> <th colspan="2">呼び寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">化紙の有無</th> <th rowspan="2">(表8.3.1)以外の 適用箇所</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>長さ</th> <th>高さ</th> </tr> <tr> <td>・ 空筒ブロック C(16)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 無 ・ 有</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 型枠状ブロック 20</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 無 ・ 有</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタルの調査(容積比) 標準仕様書表8.2.1による ・ セメント() : 砂() 壁に用いるブロックの正味厚さ (mm) ・ 図示による() ・ 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部</p> <p>ブロックの種類等 (8.4.2-5)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">単位荷重 (N/m²)</th> <th rowspan="2">厚さ (mm)</th> <th rowspan="2">幅 及び 長さ (時間)</th> <th rowspan="2">耐火性能</th> <th rowspan="2">構造の種別</th> </tr> <tr> <th>正荷重</th> <th>負荷重</th> </tr> <tr> <td>・ 外壁用</td> <td>一般</td> <td>コーナ</td> <td>・ 意匠</td> <td></td> <td>図示による</td> <td>・ 無し ・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ 間仕切壁用</td> <td>一般</td> <td>コーナ</td> <td>・ 意匠</td> <td></td> <td>図示による</td> <td>・ 無し ・ C種 ・ D種 ・ E種</td> </tr> <tr> <td>・ 屋根用</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>図示による</td> <td>・ 0.5 ・ 1 ・ 1.5 ・ 2</td> </tr> <tr> <td>・ 床用</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>図示による</td> <td>F種</td> </tr> </table>	正味厚さ (mm)	呼び寸法 (mm)		化紙の有無	適用箇所	備 考	長さ	高さ				・ 無 ・ 有			断面形状及び圧縮強さに よる区分	正味厚さ (mm)	呼び寸法 (mm)		化紙の有無	(表8.3.1)以外の 適用箇所	備 考	長さ	高さ	・ 空筒ブロック C(16)				・ 無 ・ 有			・ 型枠状ブロック 20				・ 無 ・ 有			区分	単位荷重 (N/m ²)		厚さ (mm)	幅 及び 長さ (時間)	耐火性能	構造の種別	正荷重	負荷重	・ 外壁用	一般	コーナ	・ 意匠		図示による	・ 無し ・ A種 ・ B種	・ 間仕切壁用	一般	コーナ	・ 意匠		図示による	・ 無し ・ C種 ・ D種 ・ E種	・ 屋根用	-	-	-	-	図示による	・ 0.5 ・ 1 ・ 1.5 ・ 2	・ 床用	-	-	-	-	図示による	F種
設計基準強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	種 別	適用 箇所																																																																																																																											
24	標準仕様書表6.2.2による	・ 2.3程度	○a種																																																																																																																												
24			○b種																																																																																																																												
			○c種																																																																																																																												
設計基準強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	種 別	適用 箇所																																																																																																																											
21			・ 1種 ・ 2種																																																																																																																												
種 別	適用 箇所																																																																																																																														
○a種	基礎立上り、足高い種・手洗い種																																																																																																																														
○b種	化粧打放しコンクリート、塗装仕上げ、塗紙張り、接着剤による異種接着剤タイル張り																																																																																																																														
○c種	仕上塗材塗り																																																																																																																														
○d種	セメントモルタルによる珪藻土質タイル張り、モルタル塗り、網練下地																																																																																																																														
種 別	適用 箇所																																																																																																																														
○a種	合成樹脂塗漆、ビニル系床材張り、コンクリート直均し仕上げ、フライアッシュセメント(貴船式)																																																																																																																														
○b種	カーベツ塗り、防水下地、セルフレベリング材塗り																																																																																																																														
○c種	タイル張り、モルタル塗り、二重床																																																																																																																														
正味厚さ (mm)	呼び寸法 (mm)		化紙の有無	適用箇所	備 考																																																																																																																										
	長さ	高さ																																																																																																																													
			・ 無 ・ 有																																																																																																																												
断面形状及び圧縮強さに よる区分	正味厚さ (mm)	呼び寸法 (mm)		化紙の有無	(表8.3.1)以外の 適用箇所	備 考																																																																																																																									
		長さ	高さ																																																																																																																												
・ 空筒ブロック C(16)				・ 無 ・ 有																																																																																																																											
・ 型枠状ブロック 20				・ 無 ・ 有																																																																																																																											
区分	単位荷重 (N/m ²)		厚さ (mm)	幅 及び 長さ (時間)	耐火性能	構造の種別																																																																																																																									
	正荷重	負荷重																																																																																																																													
・ 外壁用	一般	コーナ	・ 意匠		図示による	・ 無し ・ A種 ・ B種																																																																																																																									
・ 間仕切壁用	一般	コーナ	・ 意匠		図示による	・ 無し ・ C種 ・ D種 ・ E種																																																																																																																									
・ 屋根用	-	-	-	-	図示による	・ 0.5 ・ 1 ・ 1.5 ・ 2																																																																																																																									
・ 床用	-	-	-	-	図示による	F種																																																																																																																									

工 事 名	鶴岡市人工芝グラウンド整備工事(管理棟)	図 番	A 0 5
		縮 尺	NoScale
図 面 名	特 記 仕 様 書 0 4	日 付	R8.03.24
	鶴岡市日出一丁目16・1	山形県知事登録(1311)第1815号	校 閲 製 図
	株式会社 菅原 設計		
	1 級 建 築 士 第 169159 号 菅 原 英 介		
	TEL 0235(22)1848 FAX 0235(22)1840		

10 石 工 事

・ 空木、甲板等の石張り	シーリング材の種類 標準仕様書表9.7.1による	(10.2.2) (10.7.2)
	目地寸法 幅・深さととも10mm以上 ・ 表示による	
	取付け方法 ・ 湿式工法 ・ 乾式工法	
	特務部位置物 材質 SUS304 寸法等 引金物 標準仕様書表10.2.3による	
	だば 標準仕様書表10.2.3による	
	かすがい 標準仕様書表10.2.3による	
	受金物 標準仕様書10.2.2(1)(4)による	
	乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等 ファスナー 標準仕様書表10.2.4(2)による (方式：・スタイド方式 ・ロッキング方式) ・ 表示による	
	あと施工アンカーの材質、寸法 種 類 材 質 寸 法 石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない	
	乾式工法の場合の取付代 70mm程度	
	石材の裏面の補強用モルタル ・ 適用する ・ 適用しない	
	一般目地 ・ 目地モルタル (目地幅) ・ 既調合の目地モルタル (目地幅) ・ シーリング材 (種類 標準仕様書表9.7.1による)	
	伸縮調整目地 位置 標準仕様書10.6.2(5)(a)による ・ 表示による	
	シーリング材の種類 標準仕様書表9.7.1による	
	目地寸法 ・ 表示による	

11 タイル 工 事

・ 伸縮調整目地及び ひび割れ誘発目地	位置 標準仕様書表11.1.1による ・ 表示による	(11.1.3)(表11.1.1)
	目地寸法 ・ 表示による	
・ 見本焼き 試験施工	見本焼き ・ 行う(施工箇所) ・ 行わない	(11.1.4)
	試験盛り ・ 行う(範囲、仕様等は表示による) ・ 行わない	
○ セメントモルタル によるタイル張り	タイルの形状、寸法等 (11.2.2, 6)	
	施工種類 形状/寸法/再生材料の吸水率による区分(うわくすり) 耐凍害性/耐滑 面所 種類 (mm) 適用 G 類 類 類(うわくすり) 有 無 標準特注 有 無 り 性 床 150角	
	備考欄：参照タイルシリーズ	
	標準的な曲がりの役物は一体成形とする。	
	既調合モルタル(品質・性能、試験方法は別表による) モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、顔料材、 増粘剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。	
	既調合目地材(品質・性能、試験方法は別表による)	
	下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の地下処理 目荒し工法(高圧水洗処理) ・WCR工法	
	壁タイル張りの工法 内外装タイル ・ 密着張り ・ 改良圧着張り 内外装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ○モザイクタイル張り	

○ 有機系接着剤による タイル張り	タイルの形状、寸法等 (11.3.2-5)	
	施工種類 形状/寸法/再生材料の吸水率による区分(うわくすり) 耐凍害性/耐滑 面所 種類 (mm) 適用 G 類 類 類(うわくすり) 有 無 標準特注 有 無 り 性 床	
	備考欄：参照タイルシリーズ	
	標準的な曲がりの役物は一体成形とする	
	内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放数量 F 目地のシーリング材 打層目地 ポリウレタン系シーリング材	
	ひび割れ誘発目地 ポリウレタン系シーリング材	
	伸縮調整目地及びその他の目地 変成シリコン系シーリング材	
	地下調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の地下処理 目荒し工法(高圧水洗処理) ・WCR工法	
	外装タイルの目地詰め ・ 行う ・ 行わない	

○ 施工一般	材料のホルムアルデヒド放数量 F 又は標準仕様書12.2.1(1)(5)(b)による	(12.2.1)
・ 製材 G	・ JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材 (12.2.1) (12.4.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1)	
	施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等 の適用	
	見え掛り面 2級 A種 ・ B種	
	見え掛り面 2級 A種 ・ B種	
	以外 2級 A種 ・ B種	
	・ JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材	
	施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等 の適用	
	見え掛り面 上小節 A種 ・ B種	
	見え掛り面 小節以上 A種 ・ B種	
	以外 A種 ・ B種	
	・ JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材	
	施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等 の適用	
	1等 10%以下 ・ A種 ・ B種	
	1等 10%以下 ・ A種 ・ B種	
	1等 10%以下 ・ A種 ・ B種	

・ 造作用集材材 G	・ 「集材材の日本農林規格」による造作用集材材 (12.2.1)	
	施工箇所 品名 樹種名 寸法 (mm) 見付け材面 見付け材面の品質 間伐材等 の適用	
	1等 ・ 2等	
	1等 ・ 2等	
	1等 ・ 2等	
	・ 「集材材の日本農林規格」による化粧びり造作用集材材	
	施工箇所 品名 材種名 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面 見付け材面の品質 間伐材等 の適用	
	1等	
	1等 ・ 2等	
	1等	
	1等	
	1等 ・ 2等	

・ 集材材の日本農林規格」以外の造作用集材材	施工箇所 材種名 寸法 (mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等 の適用	
	15%以下	
	15%以下	
	15%以下	
・ 「集材材の日本農林規格」以外の化粧びり造作用集材材	施工箇所 材種名 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等 の適用	
	化粧薄板： 芯材： 15%以下	
	化粧薄板： 芯材： 15%以下	
	化粧薄板： 芯材： 15%以下	

・ 造作用単板種材 G	・ JAS 0701 に基づく造作用単板種材 (12.2.1)	
	施工箇所 品名 寸法 (mm) 表面の品質 防虫処理 間伐材等 の適用	
	・ 適用する ・ 適用しない	
	・ 適用する ・ 適用しない	
	・ 適用する ・ 適用しない	
	・ JAS 0701 以外の造作用単板種材	
	施工箇所 寸法 (mm) 表面の品質 含水率 防虫処理 間伐材等 の適用	
	14%以下	
	14%以下	
	14%以下	

・ 合板等	・ JAS 3079 に基づく直交集成板 G (12.2.1)	
	施工箇所 品名 強度等級 種別 接着性能 (使用環境) 樹種名 寸法 (mm) 間伐材等 の適用	
	・ 「合板の日本農林規格」による普通合板 G (12.2.1)	
	施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 間伐材等 の適用	
	5,5 1種 ・ 2種 広葉樹 2等以上 ・ 1等 針葉樹 C-D以上	
	・ 適用する ・ 適用しない	

・ 「合板の日本農林規格」による構造用合板 G	施工箇所 等級 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 厚さ (mm) 防虫処理 強度等級 間伐材等 の適用	
	2級以上 ・ 1級 1種 ・ 特種 C-D以上 12	
	・ 適用する ・ 適用しない	

・ 「合板の日本農林規格」による化粧びり構造用合板 G	施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 間伐材等 の適用	
	・ 1級 ・ 特種	
	・ 適用する ・ 適用しない	

・ 「合板の日本農林規格」による天然化粧化粧合板 G	施工箇所 化粧板に使用する単板の樹種名 厚さ (mm) 接着の程度 防虫処理 間伐材等 の適用	
	1等 ・ 2等	
	1等 ・ 2等	
	1等 ・ 2等	

・ 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 G	施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理 間伐材等 の適用	
	・ 1級 ・ 2級	
	・ 適用する ・ 適用しない	

・ パーティクルボード G	施工箇所 表面の性状による区分 曲げ強さによる区分 13タイプ 耐水性による区分 F又はM 難燃性による区分 厚さ (mm) 15	(12.2.2)
・ JAS 0360 に基づく構造用パネル	施工箇所 寸法 (mm)	
・ MDF G	施工箇所 厚さ (mm) 表面の性状による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分	
造作材の化粧板の釘打ち 隠し釘打ち ・ 釘埋め木 ・ つぶし釘打ち ・ 釘隠し		
諸金物 かすがい、座金、番金物、留金物 (標準仕様書表12.2.3-5に示す程度の市販品 表14.2.2のF種程度) ・ (形状： 寸法： 材質：)		
接着剤のホルムアルデヒド放数量 F		
・ 防風、防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位： ()		
・ 薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理 適用部位 ()		
・ 薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理 適用部位 ()		

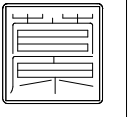

・ 接合員等	(12.2.2)	
○ 接着剤	(12.2.2, 3)	
・ 防風・防蟻処理	(12.3.1, 2)	
・ 薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理 適用部位 ()		
・ 薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理 適用部位 ()		
・ 薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理 適用部位 ()		
・ 薬剤の接合材への浸入による防蟻・防蟻処理 適用部位 ()		
・ 合板等の加圧注入処理の適用 適用部位 ()		
・ 薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理 適用部位 ()		
・ 薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理 適用部位 ()		
・ 薬剤の接合材への浸入による防蟻・防蟻処理 適用部位 ()		
・ 合板等の加圧注入処理の適用 適用部位 ()		
・ 薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理 適用部位 ()		

・ 内部閉じ切軸組及び 床組み	(12.4.1)	
・ 窓、出入口その他	(12.5.1)	
・ 床板張り	(12.6.1)	
・ 壁及び天井下地	(12.7.1)	
○ 支給木材		
・ 構造材(主要構造部材は支給(別紙木材調書による) ・ 造作材(主要造作材は支給(別紙木材調書による)		

○ 長尺金属板	(13.2.2, 3)			
施工箇所 板及び凸部の種類 JIS G 3322 の 屋根用 (着色 ・ 有)	塗膜の耐久性の種類、めっき付着量 ・ 5類 (AZ150)	厚さ (mm) ○0.4 ・ 0.5	屋根裏形式 ・ 心木なし瓦葺き ○立平葺 ・ 横掛 ・ 横葺	備考
下真材 ・ アスファルトルーフィング 840 ○ 改質アスファルトルーフィング下真材 (・ 一般タイプ ・ 補強材タイプ ・ 粘着層付タイプ) 横葺きの場合のけらば納め ・ つかみ込み納め ・ けらば包み納め 工法 1層 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 雪止め ○設置する (形状及び施工箇所 ○図示による ・) ・ 設置しない				
・ 折板葺	(13.2.2)(13.2.2.1)(表 13.2.1)			
施工箇所 形式 山高、山比 耐力による区分 材料による区分 厚さ (mm) 軒先面戸板 耐火性能				
・ 重ね形 ・ はげ縁形 ・ かな形	()種 ・ 7種 合金板製			
材料 折板の材質の種類 (JIS G 3302の屋根用(着色 ・ 有) ・) 塗膜の耐久性の種類、めっき付着量 (・ 5類(AZ150) ・) 断熱材張り ・ 行う (断熱材の種類： 厚さ(mm)： 防火性能：) ・ 行わない				
工法 1層 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 耐震性能に対応した工法の適用 ・ 適用する ・ 適用しない 折板のけらば納め けらば包みによる方法 雪止め ○設置する (形状及び施工箇所 ○図示による ・) ・ 設置しない				

○ 粘土瓦葺	(13.4.2, 3)			
施工箇所 種類 瓦葺に 形状による区分 寸法による区分 産地 役物の種類 雪止め瓦				
・ 適用する ・ 適用しない ・ 適用しない				
積瓦の防炎互の使用 ・ 適用する ・ 適用しない JISAS208に基づく凍害試験等 ・ 行う ・ 行わない				
瓦積木 材質 杉 寸法 幅21×高さ15(mm)以上				
棟補強用材 材質 杉 寸法 幅40×高さ30(mm)				
瓦葺筋釘及びねじ 種類 () 径 () 長さ () 棟補強等に使用する金物等 材質 ・ ステンレス製 ・ 溶射亜鉛めっき処理を行った鋼製 形状、寸法及び留付け方法 図示による				
工法 1層 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 風圧力又は地震力に対応した瓦の繋ぎ方法等 図示による				
瓦積木の留付け工法 図示による				
棟の工法 ・ 7寸丸せせぎし又は形用瓦葺せせぎし ・ のし組み棟				
面戸、樋口、葺土の露出する瓦葺合部に仕上げを施す場合 ・ モルタル ・ 瓦葺き用しゅくい				

○ とい	(13.5.2, 3)(表 13.5.4)			
・ その他の材種 ・ 配管用鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 ・ ルーフドレン ○表面処理鋼板 (表面及び裏面の塗膜の種類 ・)				

工 事 名	鶴岡市人工芝グラウンド整備工事(管理棟)	図 番	A 0 6
		縮 尺	NoScale
図 面 名	特 記 仕 様 書 0 5	日 付	R8.03.24
鶴岡市日出一丁目16-1 山形県知事登録(1311)第1815号 株式会社 菅原 設 言 十 1級建築士 第169159号 菅原 英 介 TEL 0235(22)1848 FAX 0235(22)1840		校 閲	製 図
		 	

13 屋根及びとい工事

とい受金物
材種
標準仕様書表13.5.2による (溶融亜鉛めっきを行ったもの)

形状
市販品(とい径 100 以下)
・25x4.5(mm)以上(とい径 100 を超えるもの)

取付け間隔
標準仕様書表13.5.2による

足金物
材種
標準仕様書表13.5.2による (溶融亜鉛めっきを行ったもの)

形状
市販品
取付け間隔
標準仕様書表13.5.2による

多雪地域
・適用しない
防露材のホルムアルデヒド放散量
F
調査製といの防露巻き
標準仕様書表13.5.4による

ルーフドレンの種類及び呼び

種類	呼び	施工箇所
・ろく屋根用たて形	ねじ込み式	・80 ・100 ・125 ・150
・ろく屋根用構形	ねじ込み式	・80 ・100 ・125 ・150
・バルコニー中埋用	ねじ込み式	・50 ・80 ・100
	差込み式	・50 ・75 ・100
・バルコニー用	ねじ込み式	・50 ・80 ・100
	差込み式	・50 ・75 ・100

○ 金属成形板張り

スタッドの高さが5.0mを超える場合
図示による
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
標準仕様書14.5.4.(5)による

種別	製法	形状	板幅 (mm)	板厚 (mm)	表面処理	
					種別	色合い等
・アルミニウム	・押し出し ・ロール	・J型 ・L型 ・P型				
・プレス		・パネル形				

取付け用下地
標準仕様書14.4による
・図示による

伸縮調整継手
・設ける
 (施工箇所 ・ 図示による)
・設けない

屋外の軒天井、ピロチイ天井の工法
1章 適用区分による風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

種類
・250形 ・300形 ・350形
 (14.6.2.3)(表 14.2.1)

表面処理
種別 () 種
色合い等 () 種
空木の固定金具の工法等
1章 適用区分による風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

・アルミニウム製空木 (14.7.2.3)(表 14.2.1)(表 14.7.1)

15 左官工事

○ モルタル塗り (15.3.2.5)

モルタル
○ 既設調合材料
既設材料
既設目地材
設ける
施工箇所 () 形状 (図示による)
○ 設けない

床の目地
○ 設ける
目地割り
2m程度 (最大目地間隔3m程度)

目地の種類
押し目地

・設けない

屋外のタイル張り下地及び室内の吹抜け部分等のタイル張りの下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験
・適用する ○適用しない

防水剤 (品質・性能、試験方法は別表による)

・ラス系下地 (15.2.4)

ラス系下地
・二層下地通気構造
・単層下地通気構造
換気口部の措置 (公共木造建築工事標準仕様書11.4.3.(2)(9))
・直張りラスモルタル下地
・直張りラスシートモルタル下地

ラスの材料
種類及び記号 ()
単位面積当たりの質量 ()
ラスシートの材料
ラス目による区分 (H)
山高、山ピッチ、質量及び滑降区分による区分 (L54(建築基準法に基づく耐力壁))
ステープルの形状及び寸法 ()
直張りラスシートモルタル下地で建築基準法に基づく耐力壁のラスシートの施工

・せっこうボード
野縁等の種類 (14.4.2-4)(表14.4.1)
野縁 (・GB-R ・GB-L) 厚さ (mm)
木質系セメント板の種類及び厚さ
種類 () 厚さ (mm)

・こまい下地 (15.2.6)
建築基準法に基づく耐力壁の指定 (・あり ・なし)

・木ずり下地 (15.2.7)
木ずり用小幅板の種類 (すぎ(心去り材))

○ 仕上塗材仕上げ (15.6.2)

内装仕上げに用いる塗材のホルムアルデヒド放散量
F

仕上塗材の種類
・薄付け仕上塗材

種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	吸放湿性	防火材料
・外装塗材 S	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り	・適用する	

種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	吸放湿性	上塗り	防火材料
・可とう形外装塗材 S	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する		
・外装塗材 E	・砂壁状 ・砂ず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・砂ず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り ・ローラー塗り ・こて塗り	・適用する		
・可とう外装塗材 E	・平たん状 ・凹凸状 ・砂ず肌状 ・さざ波状	・こて塗り ・ローラー塗り ・ローラー塗り	・適用する		
○外装塗材 S	○砂壁状 ○砂ず肌状	○吹付け ○こて塗り	○適用する		
・内装塗材 S	・平たん状 ・凹凸状 ・砂ず肌状 ・さざ波状	・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する		
・内装塗材 S	・砂壁状じゆらく ・砂ず肌状 ・凹凸状	・吹付け ・こて塗り	・適用する		
・内装塗材 M	・平たん状 ・凹凸状 ・砂ず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り	・適用する		

・厚付け仕上塗材

種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	吸放湿性	上塗り	防火材料
・外装塗材 C	・吹放し ・凹凸状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する	・適用する	
・外装塗材 S	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する	・適用する	
・内装塗材 C	・吹放し ・凹凸状	・吹付け	・適用する	・適用する	
・内装塗材 C	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する	・適用する	
・内装塗材 S	・吹放し ・凹凸状	・吹付け	・適用する	・適用する	
・内装塗材 S	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する	・適用する	

・複層仕上塗材

種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐湿性	防火材料
・外装塗材 W	・凹凸状	・吹付け	樹脂	・耐湿形 1種	
・複層塗材 S	・砂ず肌状	・ローラー塗り	珪藻土	・耐湿形 2種 ・耐湿形 3種	
・可とう形複層塗材 CE	・凹凸状	・吹付け	樹脂	・耐湿形 1種 ・耐湿形 2種 ・耐湿形 3種	
・防水珪藻土複層塗材 CE	・凹凸状	・吹付け	珪藻土	・耐湿形 1種 ・耐湿形 2種 ・耐湿形 3種	
・防水珪藻土複層塗材 S	・砂ず肌状	・ローラー塗り	珪藻土	・耐湿形 1種 ・耐湿形 2種 ・耐湿形 3種	

・軽量骨材仕上塗材

種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	吸放湿性	防火材料
・吹放し		・吹付け		
・凹凸状		・こて塗り	・適用する	

16 建具工事

・ロックウール吹付け

ロックウールのホルムアルデヒド放散量
F
接着期のホルムアルデヒド放散量
F

仕上げ吹付け厚さ
・図示による
・25mm

・しっくい塗り

しっくい
・既調合材料
色しっくい 適用する 適用しない
・現場調合材料

下地
・せっこうボード ・せっこうラスボード ・モルタル塗り ・木ずり
・こまい 下塗りをせっこうラスボードとし上塗りに使用する場合は

既調合しっくいの調合
・せっこうボード下地 標準仕様書表15.10.1
・モルタル塗り下地 標準仕様書表15.10.2
・せっこうラスボード下地 製造所の仕様による

現場調合しっくいの調合及び色調の塗布
・木ずり下地 標準仕様書表15.10.3
・せっこうラスボード下地、こまい下地 標準仕様書表15.10.4

既調合しっくいの上塗り仕上げ工法
・なで切り仕上 ・パターン仕上げ

のり
・土壁用ののり
・つまた
・ふのり
・きんなんそう
・粉末海藻

・こまい壁塗り (15.11.2-5, 7, 8)

・砂壁用ののり
ふのり
・つまた
・こんにやくのり
・にかわ
・合成高分子系塗剤

色土
・土物仕上げに用いる色土の種類 ()
・大津仕上げに用いる色土の種類 ()

色の調整
・天然砂と岩石の砕砂
・人工的に着色、製造したもの

下塗りの調合
標準仕様書表15.11.2

塗布
標準仕様書表15.11.8による
・建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合は ()

こまい壁の工程
A種 ・B種

こまい壁塗りの上塗りとする土物仕上げの工法の種類
・土物仕上げ工法
・水ごね土物工法
・水ごね土物工法
・のりごね土物工法
・のりごね土物工法
・砂壁仕上げ工法
・切戻し仕上げ工法

こまい壁塗りの上塗りとする大津仕上げの工法の種類
・普通大津仕上げ工法
・大津みがき仕上げ工法
ちりしゃくり
・図示による

・防火戸 (16.1.3)
・建具による

・見本の製作等 (16.1.4)
建具見本の製作
・行う (建具符号:)
・行わない

建具見本製作の目的等
・行う (建具符号:)
・行わない

・防犯建物部品 (16.1.6)
・適用する (・建具による)
・適用しない

○ アルミニウム製建具 (16.2.2, 4, 5) (表14.2.1) (表16.1.2, 2)

性能値等 (16.2.2, 4, 5) (表14.2.1) (表16.1.2, 2)
耐火性能
耐火圧性の等級 ()
(建具符号 ・ 建具表による)
気密性の等級 ()
(建具符号 ・ 建具表による)
水密性の等級 ()
(建具符号 ・ 建具表による)

14 金属工事

・アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.1)(表 14.2.1)

種類	色合い等	施工箇所 (成形板、空木、建具以外)
・AB-1種	・標準色 ・特注色	
・AB-2種	・標準色 ・特注色	
・AC-1種	・標準色	
・AC-2種	・標準色 ・特注色	
・BA-1種	・標準色	
・BA-2種	・標準色 ・特注色	
・BB-1種	・標準色	
・BB-2種	・標準色 ・特注色	
・BC-1種	・標準色	
・BC-2種	・標準色 ・特注色	
・C種	・標準色 ・特注色	

陰極酸化皮膜の着色方法
二次電解着色
・三次電解着色

表面処理方法

種類	施工箇所 (手すり、タラップ以外)
・I種	
・II種	
・C種	
・D種	
・E種	
・F種	

・溶融亜鉛めっき

・電気亜鉛めっき

○ 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2-4)(表14.4.1)

野縁等の種類 (14.4.2-4)(表14.4.1)
野縁 (・GB-R ・GB-L) 厚さ (mm)
木質系セメント板の種類及び厚さ
種類 () 厚さ (mm)

・こまい下地 (15.2.6)
建築基準法に基づく耐力壁の指定 (・あり ・なし)

・木ずり下地 (15.2.7)
木ずり用小幅板の種類 (すぎ(心去り材))

○ 仕上塗材仕上げ (15.6.2)

内装仕上げに用いる塗材のホルムアルデヒド放散量
F

仕上塗材の種類
・薄付け仕上塗材

種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	吸放湿性	防火材料
・外装塗材 S	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り	・適用する	

・スタッド、ランナの種類 (14.5.3.4)(表 14.5.1)
標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
・図示による

○ 網戸等 (16.2.3)

種類	材質	線径	網目
○防虫網	○ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	0.25mm以上	16・18メッシュ
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

・樹脂製建具 (16.2.5) (表16.3.1-3)

性能値等 (16.2.5) (表16.3.1-3)
耐火性能
耐火圧性の等級 ()
気密性の等級 ()
水密性の等級 ()
外部に面する建具の種類
・A種 (建具符号 ・ 建具表による)
・B種 (建具符号 ・ 建具表による)
・C種 (建具符号 ・ 建具表による)
・D種 (建具符号 ・ 建具表による)
・E種 (建具符号 ・ 建具表による)
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級 (・T-1 ・T-2)
(建具符号 ・ 建具表による)
断熱ドア・断熱サッシ G
断熱性の等級 (・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8)
(建具符号 ・ 建具表による)
外部に面する建具の日射熱取得性の等級
種の見込み寸法 (・ 建具表による)

材料
ガラス
複層ガラス (組合せは建具表による)

ステンレス製のくつずりの仕上げ
HL
表面色 ・標準色 ・特注色

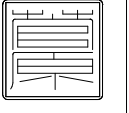

形状及び仕上げ
水切り板、ぜん版 図示による
木下地の場合の内付け建具 ・適用しない ・適用する

・鋼製建具 (16.2.2) (表16.4.2-4) (表16.4.6) (表16.4.2)

性能値等 (16.2.2) (表16.4.2-4) (表16.4.6) (表16.4.2)
耐火性能
耐火圧性の等級 ()
(建具符号 ・ 建具表による)
気密性の等級 ()
(建具符号 ・ 建具表による)
水密性の等級 ()
(建具符号 ・ 建具表による)
断熱性の等級 ()
(建具符号 ・ 建具表による)
断熱性の等級 ()
(建具符号 ・ 建具表による)

耐火性能
耐火圧性の等級 ()
(建具符号 ・ 建具表による)
気密性の等級 ()
(建具符号 ・ 建具表による)
水密性の等級 ()
(建具符号 ・ 建具表による)

材料
ステンレス鋼板
SUS304, SUS430J/L, 又は SUS443J-I
ステンレス製のくつずりの仕上げ
HL
形状及び仕上げ
網板類の厚さ
標準仕様書表16.4.2.2による
・ 使用箇所 ()

工 事 名	鶴岡市人工芝グラウンド整備工事(管理棟)	図 番	A 0 7
		縮 尺	NoScale
図 面 名	特 記 仕 様 書 0 6	日 付	R8.03.24
鶴岡市日出一丁目16-1 山形県知事登録(1311)第1815号 株式会社 菅原 設 言 十 1 級 建 築 士 第 169159 号 菅 原 英 介 TEL 0235(22)1848 FAX 0235(22)1840	校 閲	製 図	
			

16 建 具 工 事	○ 鋼製軽量建具 標準鋼製建具の形式及び寸法 建具表による 性能値等 (16.2.2)(16.5.2-4)(16.5.6)(表16.5-1) 機器気密型ドアセット ○適用する (建具符号・建具表による) () ・適用しない 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号・建具表による) () 断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 () (建具符号・建具表による) () 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 材料 鋼板 ・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 召合わせ、縦小口包み板の性質 鋼 板 ステンレス製のくつずりの仕上げ HL 形状及び仕上げ 鋼板の厚さ (mm) 標準仕様書表16.5.1による 使用箇所 () 標準鋼製建具の形式及び寸法 建具表による	○ 建具用金物 金物の種類及び見え掛り部の材質等 標準仕様書表16.8.1により適用は建具表による 金製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ 標準仕様書表16.8.2による ・建具表による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ 標準仕様書表16.8.3による ・建具表による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ 標準仕様書表16.8.4による ・建具表による 木製建具に使用する戸車及びレール 標準仕様書表16.8.5による ・建具表による 握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置 建具表による シリング箱錠及びシリング本脚まり錠 (品質・性能、試験方法は別表による) クローザ類 (品質・性能、試験方法は別表による)	・ 重量シャッター シャッターの種類 (16.11.2、3) ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・扉内用防火シャッター ・防塵シャッター 外壁開口部に設置する重量シャッターの耐風圧強度 ()pa 開閉方式の種類 電動式 (手動併用) ・手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 (設置箇所・建具表による) () 電動式シャッターの障害物感知装置 (設置箇所・建具表による) () 扉内用防火シャッター若しくは防塵シャッターの危害防止装置 (設置箇所・建具表による) () 管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯) めっきの付着量 212又は112 ガイドレール、まぐさ、用掛りに用いる座板及び座板のカバー、用掛りに用いるスイッチ ボックス類の材質 ステンレス鋼板 SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1	・ 軽量シャッター 開閉方式の種類 (16.12.2-4) ・手動式 ・電動式 (手動併用) () 耐風圧強度 ()pa 安全装置 電動シャッターの障害物感知装置 (設置箇所・建具表による) () スラットの材質の種類 ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (Z06又はF06) ・JIS G 3322 (塗装溶融5%アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (A290) () スラットの形状 ・インナーロッキング形 ・オーバラッピング形	・ ガラスブロック積み 性能値等 (16.14.5) 呼び寸法 (mm) 厚さ (mm) 色調 目地幅 (mm) 伸縮調整目地位置 (mm) 防火性能 ・100×160 ・95 ・200×200 ・95 型用金属枠及び補強材 図示による 力骨 材質 ステンレス鋼 (SUS304) 寸法 径5.5mm 形状 はし形枠補強及び単筋 化粧目地モルタルの色 (・白 ・グレー) シーリングの種類 (・SR-1 ・PS-1) 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 (17.3.2-6)(表17.3.1、2) 寸法 図示による 形状 図示による 木下地の場合のアンカー等の取付け間隔 図示による 目地部の横力骨の納まり ガラスブロック製造所の仕様による ・図示による	・ PCカーテンウォール 材料 コンクリート 種類 (・普通コンクリート ・軽量コンクリート1種 ()) 品質 設計基準強度 (Fc) 30N/?? スラブ 12cm 空気単位容積質量 ・普通コンクリートの場合 2.11/??を超え2.51/??以下 ・軽量コンクリートの場合1.81/??-2.11/?? 単位重量の最大値 185kg/?? 鉄筋 種類の記号 S0295 補強鉄筋 径(mm) ・3.2 ・4.0 ・5.0 ・6.0 縦目寸法 シーリング材の種類 (目地等) 種類及び寸法等 図示による ガラスの取付け材料 ・構造ガステット 形状、寸法等 ・図示による 耐久処理 適用部位、材料等 図示による 断熱材 種類 () 種類及び範囲 図示による 先付けの材料 ・表面仕上材 ・セラミックタイル ・石材 ・建具材 ・ゴンドラ用ガイドレール 形状及び仕上げ 数値の見え掛りの寸法許容差 辺長 ± 3mm 対角線長の差 0 - 5mm 版厚 ± 2mm 開口部内法寸法 ± 2mm なじれ、反り 0 - 5mm 曲がり 0 - 3mm 面の凸凹 0 - 3mm 先付け金物の位置 0 - 5mm PCカーテンウォールの仕上げ 製作 PC版の配筋 図示による 取付け 取付け金物の取付け位置の寸法許容差 縦方向 ± 10mm 水平方向 ± 2.5mm
	・ ステンレス製建具 性能値等 (16.2.2)(16.4.2)(16.6.2-5) 機器気密型ドアセット ・適用する (建具符号・建具表による) () ・適用しない 外部に露する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 () (建具符号・建具表による) () 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号・建具表による) () 断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 () (建具符号・建具表による) () 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による。 材料 ステンレス鋼板 SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ HL 形状及び仕上げ 表面仕上げ HL ・鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 製造条件 ・角出し曲げ (θ角 (切込み後の残り板厚0.75mm、裏板補強有り)) ・角出し曲げ (θ角 (切込み後の残り板厚1.0mm))	○ 錠 マスターキー (16.8.4) ○製作する ・製作しない 錠の製作本数 各室3本1組 (室名札付き) 鍵種 有り ・無し	・ オーバーヘッドドア 性能値等 (16.13.2、3) セクション材料 風圧力による強さの区分 開閉方式による区分 収納形式による区分 ガイドレールの材料 スチールタイプ ・50 パラソ式 ・スタンダード形 溶融亜鉛めっき鋼板 ・アルミニウムタイプ ・75 ・ローヘッド形 ・ステンレス鋼板 ・ファイバーグラスタイプ ・100 ・電動式 ・ハイリフト形 ・125 ・バーチカル形	○ ガラス ・フロント板ガラスの種類及び厚さの呼びによる種類 (9.7)(16.14.2-4)(表16.14.1) ・建具表による ・型板ガラスの厚さによる種類 ・建具表による ・組入板ガラス及び縁入板ガラスの網又は縁の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ・建具表による ・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ・建具表による 落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類 ・ 類 ・ 1類 ・ 2類 ・ 類 ・強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ○建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・ 類 ・ 類 ・熱線吸収ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類 ・建具表による 性能による種類 ・1種 ・2種 ・強化ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに強化ガラスの厚さ ○建具表による 断熱性による区分 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6 日射取得特性及び日射遮蔽性能による区分 ・G ・S 乾燥気体の種類 ・空気 ・アルゴン	・ 取付け形態、性能等 (17.1.3) 取付け形態による分類 (17.1.3) ・層間方式 ・柱・梁方式 ・方立方式 ・スパンドレル方式 性能 水密性 気密性 遮音性 断熱性 耐火性 耐温度差性 () ・20分 ・80 ・1時間 ・70 ・60 耐風圧性 1章 適用区分による風圧力 (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 主要部材の耐風圧性能 (ガラスを除く) 変点間距離 (h) 耐風圧性能 4m以下 ・たわみ量が $\leq (1/150) \times h$ かつ絶対量20mm以下であること 4mを超える 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 性能の確認方法及び判定方法 性能の確認及び判定方法が確認できる資料を提出し、監督職員の承認を受ける 金属材料の種類 (17.2.2、3、5、6) ・アルミニウム材 ・鋼材 ・ステンレス鋼材 シーリング材の種類 (目地等) 種類及び寸法等 図示による	

工 事 名	鶴岡市人工芝グラウンド整備工事(管理棟)	図 番	A 08
		縮 尺	NoScale
		日 付	R8.03.24
図 面 名	特記仕様書 07	校 閲	製 図
		鶴岡市日出一丁目16-1 山形県知事登録(1311)第1815号 株式会社 菅 原 設 計 1級建築士 第169159号 菅 原 英 介 TEL 0235(22)1848 FAX 0235(22)1840	

17	カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 自地の幅 ±5mm 自地の心の通り 0 - 3mm 自地間の長さ 0 - 4mm 各階の基準層から各部位までの距離 ±5mm ガラスの取付け方法 ・ガラスの取付け材が構造用ガラス等を使用する場合は排水機能の設置 及びガラスの封着処理の強化を行う				
18	○ 材料 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放数量 F 防火材料 ・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 以下の箇所を除き防火材料とする。 (箇所：)	(18.1.3)			
	○ 敷地ごしらえ 下地面等 種別	(18.2.2~7)			
	○ 錆止め塗料塗り 下地面 塗料の種類 錆止めの塗料の種類 錆止め塗料塗りの工程	(18.3.2、3)			
	○ 塗装 部位 種類 塗料の種類 高日射反 射率塗料 f	(18.4.1~18.12.2)			
19	○ 接着剤 ビニル床シート、ビニル床タイル、ゴム床タイル用接着剤のホルムアルデヒド放数量 F 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 ・ 図示による	(19.2.2)			

○ 下地の工法 ・ ビニル床シート G ・ ビニル床タイル G	標準仕様書19.2.3(7)~(9)以外の下地の工法 ・ 図示による (19.2.3) (19.2.2、3)				
○ 特殊機能床材	種類の記号 色柄 寸法 (mm) 厚さ (mm) 備考 FS(埋蔵) 2床(3床)				
○ 合成樹脂床材	種類の記号 色柄 寸法 (mm) 厚さ (mm) 備考 KT (2床/3床) 2床(3床) TT (単層) 2床(3床) FT (埋蔵) 2床(3床) FOA (置敷き) 2床(3床) FOB (薄型置敷き) 2床(3床)				
○ ビニル構木	材質の種類 ○軟質 ・硬質 高さ(mm) φ 75 ・100 ○300 厚さ(mm) 1.5以上	(19.2.2)			
・ ゴム床タイル	種類 ・ 単層品 ・ 積層品 色柄 () 厚さ(mm) 3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0 寸法(mm) (x)	(19.2.2)			
・ カーペット敷き f	・ 織りゅうたん 編り方 パイル形状 備考 (参考価格) ・ワイルドカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット 色柄 模様のない無地 パイル糸の種類等 無地の織りゅうたんの種類 (・ A種 ・ B種 ・ C種)	(19.2.2、3)(表19.3.1)(表19.3.2)			
・ 敷敷き	電氣性 ・ 適用する ・ 適用しない 織りゅうたんの接合方法 ヒートボンド工法 ・ つり紐 下敷き材 反毛フェルト (JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ 8mm	(19.6.2)(表 19.6.1)			
○ セッコウボード、その他ボード及び合板張り	・ タフテッドカーペット パイル形状 N 係長さ (mm) 工法 電氣性 備考 (参考価格) ・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用 下敷き材(グリップ-工法の場合) 反毛フェルト (JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ 8mm タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放数量 F	(19.7.2、3)(表 19.7.1)			

・ タイルカーペット					
パイルの形状 種類 施工箇所 寸法 (mm) 総厚さ (mm) 備考 (参考価格) ・ ループパイル ・ カットパイル ・ カット・ループ併用	第一種 第二種 第一種 第二種 第一種 第二種		500×500 500×500 500×500	6.5 6.5 6.5	
・ タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放数量 F タイルカーペットの敷き方 平場 市松敷き ・ 模様流し 階段部分 模様流し 市松敷き					
・ 合成樹脂床材 ・ フローリング張り f					
フローリングのホルムアルデヒド放数量等 標準仕様書19.5.2(2)による (19.5.2-5)(表19.4.4、5) (19.5.2-1)(表19.4.1~6) 各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒド放数量 F ・ 単層フローリング (フローリングボード1等) 工法 ・ 釘留め工法 (・ 根太張り ・ 直張り) ・ 接着工法 樹脂 なら 間伐材等の適用 ・ 適用する ・ 適用しない ・ 単層フローリング (フローリングブロック1等) 樹脂 厚さ (mm) 大きさ 間伐材等の適用 ・ 適用する ・ 適用しない ・ 複合フローリング 工法 ・ 釘留め工法 (・ 根太張り ・ 直張り) ・ 接着工法 樹脂 なら 種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 間伐材等の適用 ・ 適用する ・ 適用しない 接着工法の場合の不陸緩和材 合成樹脂発泡シート 種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 (種床: KT・KT・KT、KT-K、KT-H) 下地の種類 ・ 標準仕様書表12.6.1による床組 ・ ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン f) 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、セメントアルデヒド及びステレンを発生しないが、敷数が極めて少ない材料を使用したものとする。 衝撃緩和型畳 (畳表: ・ C1 ・ C2) MF及びバーチカルボードのホルムアルデヒド放数量 F 合板のホルムアルデヒド放数量 標準仕様書19.7.2(3)(4)(a)~(d)のいずれか 接着剤のホルムアルデヒド放数量 F					

種類等	厚さ (mm)、規格等	
木質系セメント板 G ・ 木毛セメント板 ・ 硬質(HH) ・ 中質(MH) ・ 普通(NH) ・ 木片セメント板 ・ 硬質(HF) ・ 普通(NF)	図示による ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・ 30	
繊維強化セメント板 ○けい酸カルシウム板(タイプ2) 普通ボ-ド 0.8FK	図示による ○6 ・ 8	
火山性ガラス質覆層板 種類 図示による 繊維板 G ・ STP/STP/STP/PVH-B'-D'(MF) ・ A-D'-D'-D' ・ STP/D'-D'-D' (無処理) ・ 素地A-D'-D'-D' ・ 未研層板 (RN) ・ 研層板 (RS) ・ 内装用化粧板A-D'-D'-D' (D1) ・ PVH-D'-D'-D' (処理) ・ 素地A-D'-D'-D' ・ 未研層板 (RN) ・ 研層板 (RS) ・ 外装用化粧板A-D'-D'-D' (DE) ・ STP/STP/STP'-D'-D' ・ A級ケイカルシウムボード (A-1B) ・ 天井仕上げ材 ・ 内装仕上げ材	図示による ・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12 図示による ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7 図示による ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18 図示による ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18 図示による ・ 10 (難燃) ・ 12 (難燃)	
吸音材料 ・ DpPP-1化粧吸音板 (DR) ・ フォレタ ・ 凹凸タテ ・ DpPP-4吸音板 (1号) ・ STP-4吸音板 (32K) せっこうボード ○せっこうボード (GB-R) () ・ STP-GP' せっこうボード (GB-S) ・ 強化せっこうボード (GB-F) ・ せっこうボード (GB-L) ・ 不燃積層せっこうボード (GB-NC) ・ 化粧無し (下地張り用) ・ 化粧有り (1号) (化粧用)	・ 9 (不燃) ・ 12 (不燃) ・ 12 (不燃) ・ 15 (不燃) ・ 25 ・ 25 (STP/STP/STP包み) 12.5 (不燃) ○15 (不燃) ○9.5 (準不燃) ・ 12.5 (・ 不燃 ・ 準不燃) ・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃) ・ 9.5 ・ 9.5 (不燃)	
合板類 ・ 普通合板 G 看板の樹種名: 板面面積: 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない 天然木化粧合板 G 化粧板の樹種名: 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない ・ 特殊加工化粧合板 G 化粧加工の方法 ・ E-N'-E'-E' ・ プラト ・ 塗装 表面性能 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない 天井のボード類 (ロックワール吸音板を除く)の重ね継ぎを行う場合 図示による 合板類の取付け ・ A種 ・ B種 せっこうボードの目地工法等 目地工法の種類 仕上りによる 取付け工法及び目地工法のエッジの種類 ・ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ	図示による 図示による	
・ 移動間仕切		
○ 移動間仕切		
○ 移動間仕切		

○ 壁紙張り	ホルムアルデヒド放数量 F 壁紙の種類 種類 防火性能 備考 (参考価格) ・ 木毛セメント板 ・ 硬質(HH) ・ 中質(MH) ・ 普通(NH) ・ 木片セメント板 ・ 硬質(HF) ・ 普通(NF) 繊維強化セメント板 ○けい酸カルシウム板(タイプ2) 普通ボ-ド 0.8FK 火山性ガラス質覆層板 種類 図示による 繊維板 G ・ STP/STP/STP/PVH-B'-D'(MF) ・ A-D'-D'-D' ・ STP/D'-D'-D' (無処理) ・ 素地A-D'-D'-D' ・ 未研層板 (RN) ・ 研層板 (RS) ・ 内装用化粧板A-D'-D'-D' (D1) ・ PVH-D'-D'-D' (処理) ・ 素地A-D'-D'-D' ・ 未研層板 (RN) ・ 研層板 (RS) ・ 外装用化粧板A-D'-D'-D' (DE) ・ STP/STP/STP'-D'-D' ・ A級ケイカルシウムボード (A-1B) ・ 天井仕上げ材 ・ 内装仕上げ材 N'-D'-D'-D' G ・ 単板張りA'-D'-D'-D'-D' ・ 無研層板 (VN) ・ 研層板 (VS) ・ 化粧A'-D'-D'-D' ・ 単板A'-D'-D'-D' (DV) ・ A'32PP/PP/A'-D'-D' (D0) ・ 塗装 (DC)	(19.8.2、3)
○ 断熱材 G	フェノールフォーム断熱材、保溫材又は接着剤のホルムアルデヒド放数量 F 開口部等補修のための取付け用接着剤のホルムアルデヒド放数量 F ・ 断熱材打込み工法 種類 厚さ (mm) 施工箇所 ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 (・) ○射出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スピン層なし) ◎種別A ・ 3種bA ・ 3種bC ・ 3種bD) ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ フェノールフォーム断熱材 ・ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H 吹付け厚さ (mm) 施工箇所 ○図示による (品質・性能、試験方法は別表による)	(19.9.2-4)
・ フリーアクセスフロア	吸音材料 ・ DpPP-1化粧吸音板 (DR) ・ フォレタ ・ 凹凸タテ ・ DpPP-4吸音板 (1号) ・ STP-4吸音板 (32K) せっこうボード ○せっこうボード (GB-R) () ・ STP-GP' せっこうボード (GB-S) ・ 強化せっこうボード (GB-F) ・ せっこうボード (GB-L) ・ 不燃積層せっこうボード (GB-NC) ・ 化粧無し (下地張り用) ・ 化粧有り (1号) (化粧用) 合板類 ・ 普通合板 G 看板の樹種名: 板面面積: 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない 天然木化粧合板 G 化粧板の樹種名: 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない ・ 特殊加工化粧合板 G 化粧加工の方法 ・ E-N'-E'-E' ・ プラト ・ 塗装 表面性能 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない 天井のボード類 (ロックワール吸音板を除く)の重ね継ぎを行う場合 図示による 合板類の取付け ・ A種 ・ B種 せっこうボードの目地工法等 目地工法の種類 仕上りによる 取付け工法及び目地工法のエッジの種類 ・ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ	(20.2.2)
○ 移動間仕切	寸法精度 標準仕様書20.2.2(2)(a)~(c)による ・ 以下による (パネルの長さの寸法精度) (パネルの平面形状 (角度) の寸法精度) (フリーアクセスフロアの高さの寸法精度) 電気防止性能 ・ 評価値 (U) 0.6以上 ・ 評価値 (U) 1.2以上 感電防止性能 ・ 漏れ電流 (R) 1×107 (品質・性能、試験方法は別表による)	(20.2.3)
○ 移動間仕切	構造形式による種類 構造材の種類 A'種 A'種 パネル表面仕上げ 透過性 (dB/500Hz) 防火性能 ・ 0 ・ 12 ・ 20 ・ 28 ・ 36 パネル内に取付ける建具 ・ 有り (図示による) ・ 無し パネル内に取付ける建具のドアクローザー、丁金、錠前、上げ落としは、標準仕様書16第8節の建具用金物に対応する材質とする。 板面仕上材を樹脂張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。 パネル材料のホルムアルデヒド放数量 F 走行方向 操作方式 手動式 電動式 部分電動式 パネル内径接装 総厚さ 材質 仕上り 材質 仕上げ 焼付塗装 壁紙張り ・ 36未満 ・ 36以上	(20.2.4)

工 事 名 鶴岡市人工芝グラウンド整備工事(管理棟)

縮 尺 NoScale

日 付 R8.03.24

校 閲 製 図

鶴岡市日出一丁目16-1 山形県知事登録(1311)第1815号

株式会社 菅原設計

1級建築士 第169159号 菅原英介

TEL 0235(22)1848 FAX 0235(22)1840

○ トイレブース

ハンガーレール及びランナ
パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナ数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの
(品質・性能は別表による)

(20.2.5)

表面材の材料	脚部	ドアエッジ
○メラミン樹脂系化粧板	輪木タイプ	製造所の仕様による
・ポリエステル樹脂系化粧板		・アルミニウム製 ・ステンレス製

(品質・性能、試験方法は別表による)

材料の種類及び仕上げ (20.2.6)

・ SUS304 表面処理 HL程度
・ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (標準仕様書表14.2.2による種別()種)
・ アルミニウム 表面処理 (標準仕様書表14.2.1による種別()種)
色合い・標準色() ・特注色()

材料	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
・ 集成材 (材料:)	・ クリアラッカー	・ 35程度 ・ 45程度		
・ ビニル製		・ 35程度 ・ 45程度		

手すりの織り部分

材料	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
・ 集成材 (材料:)	・ クリアラッカー	・ 35程度 ・ 45程度		
・ ビニル製		・ 35程度 ・ 45程度		

手すり

・ 階段滑り止め (20.2.7)

材料

・ ステンレス製
・ 鋼製押出型材
・ アルミニウム製押出型材

形状

タイプ型(タイ材の材質: ゴム又は合成樹脂配合等)
・ タイレシ型
鋼製の形状
・ フラットエンドあり
・ フラットエンドなし
寸法(幅)
・ 35mm程度
・ 40mm程度
・ 50mm程度

取付け方法

接着工法
埋込み工法

・ 黒板及びホワイトボード G (20.2.9)

・ 黒板
区分
焼き付け
種類
・ 鋼製黒板
・ ほうろう黒板

色

緑
・ ホワイトボード

・ 織 (20.2.10)

取付け箇所 ()
寸法 (mm)
・ 図示による
厚さ (mm)
s

○ 表示 (20.2.11)

衝突防止表示
・ 設置する (設置場所: 図示による、)
形状・寸法 (・30、)
材質 (・ステンレス製、)
・ 設置しない
該部継ぎ、非常用出入口等の表示
消防法に適合する市販品
室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 (案内用図記号はJIS Z 8210による)
図示による

・ クラップ (20.2.12)

材質及び仕上げ

・ SUS304 (スリット) 止め加工 あり (なし)
・ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (標準仕様書表14.2.2による種別()種 ()種)

・ 衝突ライニング (20.2.13)

適用安全使用速度
工法
鋼製ユニット衝突(衝突成形ライニング材)

・ ブラインド (20.2.14)

形式	操作方法	操作方法の種類	スラットの種類	スラットの幅	スラットの長さ	幅・高さ
・ 横形	・ 手動 ・ 電動	・ キヤ式 ・ コード式 ・ 操作棒式	7段に合金製 G	25	鋼製	・ 図示による
・ 縦形	・ 手動 ・ 電動	2本操作コード式 ・ 1本操作コード式	7段にスラット ・ 加減スラット	・ 80 ・ 100	7段に合金製	・ 図示による

縦形ブラインドのスラットの材質

アルミスラット 焼付け塗装仕上げ
クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G とする

・ ロールスクリーン (20.2.15)

操作方法	スクリーンの材質	その他の材料	幅・高さ	取付箇所	品質等
・ スプリング式 ・ コード式 ・ 電動式	・ ガラス繊維製 ・ 合成・天然繊維製 ・ 木製	製造所の仕様	・ 図示による		

スクリーンの仕様

消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G とする

・ カーテン (20.2.16)

形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類・品質、特殊加工等	取付け箇所	備考
・ シャドゥ ・ デアウ ・ 引分け	・ 手引き ・ ひきこみ ・ 電動	・ つまみひだ ・ 箱ひだ、片ひだ ・ プレツひだ			・ 図示による

生地の仕様

消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G とする
織物用カーテンの両端、上部及びひ合せの重なり
300mm以上

・ カーテンレール (20.2.16)

材料による区分

アルミニウム製及びアルミニウム合金の押出し成型材
・ ステンレス製
強さによる区分
10-90

仕上げ
アルマイト
形状
角形

・ ブラインドボックス及びカーテンボックス (20.2.17)

溝幅×深さ (mm)

・ 90×150
・ 120×80
・ 120×150
・ 150×80
・ 図示による

材料

・ 集成材 (仕上げ:)
・ アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
標準仕様書表14.2.1による種別
・ BC-1種
・ BC-2種
色合い
・ 標準色() ・ 特注色()
・ 鋼製 (仕上げ:)

○ 天井点検口 (20.2.18)

材料	寸法	形式	外枠	内枠
○アルミニウム製	・ 450×450 ・ 600×600	○一脱形	○屋内外用 ○気密形	○縦線タイプ ○横線タイプ ○目地タイプ ○目地タイプ

(品質・性能、試験方法は別表による)

○ 床点検口 (20.2.19)

材料	寸法	形式	備考
○アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製	・ 450×450 ・ 600×600	○一脱形 ○屋内外用 ○鍵付き	○屋内外用 ○鍵付き ○目地タイプ ○目地タイプ

密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものである。
(品質・性能、試験方法は別表による)

○ 耐震スリット (20.2.20)

方向	幅(mm)	タイプ	耐火性能	防水性能	備考
・ 垂直	・ 25	・ 完全(全貫通型)	・ 耐火型 ・ 非耐火型	・ 有り ・ 無し	
・ 水平	・ 25				

目地

目地	内壁	外壁
目地材	・ シーリング材(見え掛り部のみ)	・ シーリング材(見え掛り部のみ) ・ シーリング材(内外とも)
目地寸法 (mm)	・ スリット幅×深さ10	・ スリット幅×深さ10

目地材の材質は標準仕様書表9.7.1による

・ 止水板 (20.2.21)

形式	取付箇所
・ 差込式 ・ 据置式 ・ 壁掛け式	・ 幅・高さ 取得箇所

・ エキスパンションジョイント金物 (20.2.22)

材料	受け棒	備考
・ 塩化ビニル又はゴム製 ・ 鋼製アルミニウム合金製 ・ ステンレス鋼 (SUS304)製	・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ 鋼製アルミニウム合金	

建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による。

・ かつつきマット (20.2.23)

材料	寸法 (mm)	備考
・ 流し台	・ 1200 ・ 550 ・ 800	・ 市販品
・ コンコ台	・ 600 ・ 650 ・ 620	・ 市販品
・ つり戸棚	・ 1200 ・ 900 ・ 450 ・ 500 ・ 700	・ 市販品
・ 水切り	・ 1200 ・ 900 ・ 600	・ ステンレス製 ・ 1段式

品質・性能

外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1による。
構成材は、JIS A 4420 098 により試験を行ったとき、表1の規定による。
形状
図示による

・ 換気 (20.2.24)

材料	形式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考
・ アルミニウム合金製	・ テーパー式 ・ 同一断面式		・ ハンドル式 ・ ロープ式 ・ ハンド式	・ 埋込式 ・ ベース式 ・ バンド式	

・ 換気受金物 (20.2.25)

材料

・ ステンレス製 (SUS 304)

・ 車止めさく (20.2.26)

形式

・ 上下式鎖内蔵式
・ スプリング式

・ フェンス (20.2.27)

フェンスの種類

・ ビニル被覆エキスパンドフェンス
・ 樹脂塗装メッシュフェンス
・ 鋼製フェンス
・ アルミフェンス
高さ
・ 図示による

・ ブレキャストコンクリート (20.2.28)

コンクリートの設計基準強度

水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m²を満足する調査強度
・ 図示による

配筋

配筋を定めた計算書を監理職員に提出する
・ 図示による
取付け方法
図示による

(20.4.2.3)

材料	種類	質量区分	備考
・ 陶知石	・ 花こう岩 ・ 凝灰岩		
・ コンクリート間口ブロック		・ A ・ B	

積み方

谷積み
目塗り
・ 図示による
伸縮調整目地
材質
・ 図示による
厚さ
・ 図示による

○ 間知石及びコンクリート間口ブロック積み (20.2.29)

材料	種類	質量区分	備考
・ 陶知石	・ 花こう岩 ・ 凝灰岩		
・ コンクリート間口ブロック		・ A ・ B	

積み方

谷積み
目塗り
・ 図示による
伸縮調整目地
材質
・ 図示による
厚さ
・ 図示による

・ 鋼製扉及び物品櫃 (20.2.30)

種類	規格等	JISによる種類
・ 鋼製扉架 ・ 鋼製物品櫃	JIS S 1039 の規格による	・ 1種 ・ 2種 ・ 3種 ・ 4種 ・ 5種 ・ 6種

・ 扉内揭示板 (20.2.31)

枠の材質

アルミニウム製

表面の材質

塩ビ発泡シート張り

・ 洗面カウンター (20.2.32)

材料

・ メラミン樹脂化粧板張り (心材: 集成材)
・ 人工大理石
奥行 (mm)
・ 約450
・ 約600

・ 防煙扉 (20.2.33)

種類	材質	高さ(mm)	備考
・ 固定式			
・ 網入り焼き板ガラス ・ 網入り焼き板ガラス	・ 不燃布 (不燃認定品)	500 800	固定式(壁埋込型) ・ 可動式(天井収納型)
・ 可動式	鋼板又はアルミ製	500 800	表面仕上げ 天井材張り

降下機構

煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込型)

照明器具

有り
無し
施設
有り
無し
製造所

・ 収納家具 (20.2.34)

合板類、 MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量

材質、形状、寸法
図示による

21 排水工事 (20.2.35)

・ 屋外雨水排水 (20.2.1.2)(表 21.2.1,2)

材料	種類・記号	形状	呼び径	備考
・ 遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管 (1種)	B形管		・ 図示による
	・ RF-VIP G			・ 図示による
	・ RS-VU G			・ 図示による
	・ VP			・ 図示による
	・ VU			・ 図示による

・ 基礎の厚さ及び種類 (20.2.3.4)

・ 図示による

基礎ボーリ埋込ビニル管の継ぎ目用いる材料

接合剤
・ 図示による
側溝の形状及び寸法
・ 図示による
排水網の種類
・ 図示による
砂地盤に用いる材料
・ シルト
・ 山砂
・ 川砂
・ 砕砂
砂地盤に用いる材料
・ 再生クラッシュラン G
・ 切込砂利又は切込砕石
・ 現場打ちの場合のコンクリート材料
設計基準強度(N/mm²)
18
スラップ(m)
15又は18
・ 現場打ちの場合の鉄筋
種類の記号
SD285
・ 排水網が現場打ちの場合の足掛け金物
標準仕様書表21.2.2(6)(注)
材質
・ ステンレス製
・ 鋼製
・ 合成樹脂被覆加工されたもの
凍上抑制層に用いる材料
(砂を用いる場合の粒度試験)
・ 行わない

(20.4.2.3)

材料	種類	質量区分	備考
・ 陶知石	・ 花こう岩 ・ 凝灰岩		
・ コンクリート間口ブロック		・ A ・ B	

積み方

谷積み
目塗り
・ 図示による
伸縮調整目地
材質
・ 図示による
厚さ
・ 図示による

22 舗装工事 (20.2.3.5)(表 22.2.1)

・ 舗装製ふた (21.2.1)

名称	種類	適用箇条	建	備考
舗装製マンホールふた	・ 水封形 (円筒型) ・ 陽型密閉形 (円筒型) ・ 密閉形 (円筒型) ・ 中ふた付き密閉形 (円筒型)	・ T-2用 ・ T-6用 ・ T-20用	・ 有り ・ 無し	左記以外の品質等は (公社) 空間調和衛生工学会 S94S-S209 による。

(21.2.1)

材料	形式	用途	適用箇条	備考	面形状
・ 鋼製	・ 鋼製	・ 鋼製	・ 鋼製		・ 凹凸形
	・ 鋼製	・ 鋼製	・ 鋼製		・ 凹凸形
・ 鋼製	・ 鋼製	・ 鋼製	・ 鋼製		・ 凹凸形

(品質・性能、試験方法は別表による)

・ 街きよ、縁石及び側溝 (21.3.1, 2)(表 21.3.1)

種類	形状・寸法
・ 縁石	・ 図示による
・ 側溝	・ 図示による
・ 側溝	・ 図示による
・ 側溝	・ 図示による

砂地盤に用いる材料
シルト / 山砂
・ 川砂
・ 砕砂
砂地盤に用いる材料
・ 再生クラッシュラン G
・ 切込砂利又は切込砕石
砂利層の厚さ (mm)
700
・ 図示による
現場打ちの場合のコンクリート材料
設計基準強度(N/?)
18
スラップ(m)
15又は18
・ 現場打ちの場合の鉄筋
種類の記号
SD285
凍上抑制層に用いる材料
(砂を用いる場合の粒度試験)
・ 行わない

(21.2.1)

・ 舗装製ふた (21.2.1)

名称	種類	適用箇条	建	備考
舗装製マンホールふた	・ 水封形 (円筒型) ・ 陽型密閉形 (円筒型) ・ 密閉形 (円筒型) ・ 中ふた付き密閉形 (円筒型)	・ T-2用 ・ T-6用 ・ T-20用	・ 有り ・ 無し	左記以外の品質等は (公社) 空間調和衛生工学会 S94S-S209 による。

22 舗装工事 (20.2.2.2.3.5)(表 22.2.1)

・ 路床 (20.2.2.2.3.5)(表 22.2.1)

種類	材料	厚さ(mm)
・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 G	
・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュラン G ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 切込み砕石 ・ 砂 (標準仕様書表21.2.2による)	
・ フィルター層	標準仕様書表22.2.3.(3)による	

(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験)

・ 行う
・ 行わない
・ 行わない
・ 行わない

路床安定処理
安定処理の方法
置き換入工法
安定処理工法
路床安定化処理用添加材料の種類

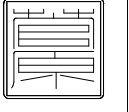

・ 普通ポルトランドセメント
・ 高炉セメントB種
・ フライアッシュセメント8種
・ 生石灰 (・特号
・1号)
・ 消石灰 (・特号
・1号)
添加量
・ kg/m³(CBR
・ 3以上)
・ ジオテキスタイル
単位面積質量
・ 60g/m²以上
厚さ(mm)
・ 0.5-1.0
・ 0.5-1.0
・ 強度
・ 50N/5cm (10kgf/5cm) 以上
透水係数
・ 1.5×10⁻² cm/sec以上

路床土の支持力比 (CBR) 試験
・ 行う
・ 行わない
路床締め目の試験
・ 行う
・ 行わない
現場CBR試験
・ 行う
・ 行わない

22 舗装工事	・路盤	路盤の厚さ ・ 図示による 路盤材料 (標準仕様書表22.3.1による種別) ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ・再生クラッシュラン G ・再生粒度調整砕石 G ・クラッシュラン鉄鋼スラグ G ・粒度調整鉄鋼スラグ G ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G (22.3.2、3)(表 22.3.1)
	・アスファルト舗装	アスファルト舗装の構成及び厚さ ・ 図示による 材料 アスファルト ・再生アスファルト G (標準仕様書表22.4.1による種類: ・60-80 ・80-100) ・ストレートアスファルト 骨材 ・道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 G 加齢アスファルト混合物の種類 ・密程度アスファルト混合物(13) ・密程度アスファルト混合物(13) ・密程度アスファルト混合物(13F) 舗装の平坦性 通行の支障となる水たまりを生じない程度 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない (22.4.2-6)(表 22.4.4)
	・コンクリート舗装	コンクリート舗装の構成及び厚さ (22.5.2-4、6)(表22.5.1、3) 舗装の種類 部位 構成 厚さ(mm) コンクリート舗装 車路及び駐車場 図示による 図示による コンクリート舗装 歩行者用通路 図示による 70 材料 コンクリート 普通コンクリート、標準仕様書表22.5.1による ・以下による コンクリートの種類 (設計基準強度(N/?) (所定のスランブ(cm) (粗骨材の最大寸法(mm) (早強式ポルトランドセメント 使用する ・使用しない 注目地材料 低弾性タイプ ・高弾性タイプ 目地 標準仕様書表22.5.3及び表22.5.1による ・以下による 種 類 舗装 (1)程度ごと 構造 ・図示による 舗装の平坦性 通行の支障となる水たまりを生じない程度 (22.5.2-4、6)
	・カラー舗装	・加熱系カラー舗装 構成・厚さ ・ 図示による 加熱系混合物の割合 ・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物 顔料の添加量(%) 添加材 着色骨材() 自然石() ・常温系カラー舗装 工法 ・ニート工法(配合その他:) ・塗布工法(配合その他:) 着色部の下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装 舗装の平坦性 通行の支障となる水たまりを生じない程度 (22.6.2-4)
・透水性アスファルト舗装	舗装の構成 ・ 図示による 材料 骨材 ・道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 G (標準仕様書表22.4.1による種類: ・60-80 ・80-100) 舗装の平坦性 著しい不陸がないもの 試験 密程度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない (22.7.2、3、6)	

23 植栽及び屋上緑化工事	・ブロック系舗装	・コンクリート平板舗装 G (22.8.2、3) 種類 寸法(mm) 厚さ(mm) 目地材 備考 ・普通平板(N) ・300角 60 砂 表面加工 ・透水性平板(P) ・研ぎ出し ・保水性平板(M) ・洗い出し ・たたき出し クッション材 砂 ・空練りモルタル 普通平板は G(再生材1料を用いた舗装用ブロック)、透水性平板は G(透水性コンクリート)とする。 仕上り面の平坦性 歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内とする。 ・インターロッキングブロック舗装 G 種類 部位 形状寸法 厚さ(mm) 曲げ強度(N/?) 備考 普通ブロック(N) 車路 図示による 80 5.0 表面加工 透水性ブロック(P) 歩行者用通路 図示による 60 3.0 保水性ブロック(M) 歩行者用通路 図示による 60 3.0 クッション材 砂 ・空練りモルタル 歩行者用通路に使用する普通ブロックは G(再生材1料を用いた舗装用ブロック)、透水性ブロックは G(透水性コンクリート)とする。 仕上り面の平坦性 歩行に支障となる段差がないものとし、インターロッキングブロック間の段差は3mm以内とする。 ・舗石舗装 種類 形状寸法(mm) 厚さ(mm) 張り方 基礎 基礎の厚さ(m) ・花ごう岩 ・割石 図示による ・コケリト版 70 ・7x7x41混合物 70 クッション材 砂 ・空練りモルタル 仕上り面の平坦性 歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内とする。 ・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・90g/m ² 以上 厚さ(mm) ・0.5-1.0 引張強さ ・98N/5cm(10kgf/5cm)以上 透水性係数 ・1.5×10 ⁻² cm/sec以上 (22.9.2)
	・砂利敷き	種別 (施工範囲: ・図示による ・通路 () ・B種(施工範囲: ・図示による ・建物周囲その他 () (22.9.2)
	・路面標示用塗料	路面標示用塗料はJIS K 5665による。 種類 施工 適用 色 幅(mm) 塗布厚さ(mm) 3種1号 溶融 粉体状 ・白 ・150 ・1.0 1種 G 常温 液状 ・白 ・100 2種 G 加熱 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料 G (22.9.2)
	・植栽地の確認	土壌の水素イオン濃度指数(pH)試験 (23.1.3) ・行う ・行わない 電気伝導度(EC)の試験 ・行う ・行わない ・植栽基礎の整備 (23.2.2、4) 樹木の植栽基礎の整備 ・適用する ・適用しない 植栽 工法 有効土層の厚さ(mm) 整備範囲 土壌改良材 樹木 A種 樹高12m以上 (100-150) ・葉張り部分 B種 樹高7m以上-12m未満 (70-100) ・植栽部分 C種 樹高3m以上-7m未満 (60-80) ・適用する D種 樹高3m未満 (50-60) ・適用しない 芝、地被類 B種 20 ・植栽部分 ・図示による ・適用しない 植栽基礎の排水設備 ・設ける(図示による) ・設けない (23.2.3)
・植込み用土	・現堆発生土の改良土 ・客土 (23.2.3)	

・土壌改良材	種類及び指定量等 (23.2.3) ・パーク地肥 G 施工箇所 植栽範囲 ・図示による 使用量 植栽基礎面積1㎡あたり(・50L) ・汚泥発酵肥料(下水汚泥コンポスト)G 施工箇所 植栽範囲 ・図示による 使用量 植栽基礎面積1㎡あたり(・10L) 材料 「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の調査の結果、著が認められないものとする。
・樹木	樹種、寸法、株立数等 (23.3.2) ・図示による
・支柱	支柱材 (23.3.2、3) 丸太(間伐材)X ・真竹 防腐処理方法 加圧式防腐処理丸太材 形式 ・図示による
・幹巻き用材料	材料 (23.3.2) 幹巻き用テープ ・わら及びこも
・芝	種類 (23.4.2、3) コウライシバ ・ノシバ 芝張りの工法 平地 目地張り ・べた張り 法面 べた張り法面 ・目地張り
・吹付けは種	(23.4.2) 種子の種類 発芽率 種子の量(g/m ²) 備考 洋芝類(採取後2年以内) 発芽率80%以上 (23.4.2)
・地被類	(23.4.2) 樹種 コンテナ径 単位面積当たりのコンテナ数 芽立数 (23.4.2、6) (23.4.7) (23.5.5) 新植樹木(芝張り、吹付けは種及び地被類を含む)の 結核部の腐敗 移植後の腐敗 移植の日から1年 ・無し 移植樹木の結核腐敗を行う期間 引渡しの日から1年 ・無し (23.5.2-4) 植栽基礎及び材料 ・屋上緑化システム 土壌層の厚さ ・ 図示による 排水層 ・軽量骨材(層の厚さ:) ・板状成形品 植込み用土 改良土 ・人工軽量土 樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等 ・ 図示による 裏切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ・ 図示による (厚質・性能、試験方法は別表による) 支柱 ・設置する ・設置しない 形式 ・ 図示による かん水装置 ・設置する ・設置しない 種類 ・ 図示による 工法 「屋根ふき材及び屋外に面する軽質の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」(平成12年9月31日 建設省告示第1458号)に基づく風圧力に対応した工法 ・ 図示による

工 事 名	鶴岡市人工芝グラウンド整備工事(管理棟)	図 番	A 11
		縮 尺	NoScale
図 面 名	特記仕様書10、工事区分表	日 付	R8.03.24
	鶴岡市日出一丁目16-1 山形県知事登録(1311)第1815号 株式会社 菅原 言 言 1 級 建 築 士 第 169159 号 菅 原 英 介 TEL 0235(22)1848 FAX 0235(22)1840	校 閲	製 図
			

進 行 事 項 (1 章 一 般 共 通 事 項)	○ 官公署その他への届出手続等	受注者は完了検査(中間検査を含む)時には、特定行政庁(建築士事等)が求める検査に必要な資料等(報告書等)を用意すること。	(1.1.3)
	・ 概成工期	工事期限より 日前	(1.2.1)
○ 電気保安技術者	○適用する ・適用しない		(1.3.3)
○ 施工条件	次の事項以外は工事補足説明事項による。 工事用車両の駐車場 構内 資機材置場 構内 建設発生物の仮置場(埋戻し及び盛土用) 構内		
○ 工事の一時中止	基本計画書の作成 1) 契約書第21条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間における工事現場の管理に関する計画(以下「基本計画書」という。)を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。 なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に閉すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に閉すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。 2) 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。		
○ 廃生材の処理等	・現場において再利用をすもの() ・発注者に引渡しを要するもの(・金属類 ・PCB含有物) ・特別管理産業廃棄物(・炭石綿 ・PCB含有物) ・特定建設資材の分別解体等及び再資源化等 本工事は、特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年5月31日法第104号。以下「建設リサイクル法」という。)施行令又は都道府県が条例等で定める建設工場の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適切な措置を講ずることとする。 工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件より難い場合は、監督職員と協議するものとする。 また、分別解体・再資源化の完了時に、再資源化等が完了した年月日、再資源化等をした施設の名称及び所在地、再資源化等に要した費用を書面にて監督職員に報告する。	(1.3.11)	
	分別解体等の方法		
	工程	作業内容	分別解体等の方法 手作業 手作業、機械作業併用
	・解体工事	・造作等の工事 ・基礎の工事 ・基礎くい下の工事 ・上部構造部分の工事 ・外装の工事 ・屋根の工事 ・建築設備工事 ・内装等の工事 ・その他()	
	・修繕	・造作等の工事	
	・特定建設資材廃棄物の発生材の処理	特定建設資材 再資源化等をす施設の 廃棄物の種類 名称・住所 (km)	
	・コンクリート		等
	・コンクリート及び鉄から成る建設資材		等
	・木材		等
	・アスファルト		等
	・コンクリート		等
	・特定建設資材廃棄物以外の廃生材の処理	種類 再資源化 処理施設の名称 ・住所 (km)	
		する ・しない	等
		する ・しない	等
		する ・しない	等
		する ・しない	等

○ 技能士	下表の技能検定の職種及び作業の種別を適用する。 (1.5.2) [1.6.2]		
	工 事 種 目	技能検定 職 種	技 能 検 定 作 業
	・仮設工事	とび	とび作業
	・鉄筋工事	鉄筋施工	鉄筋組立作業
	・コンクリート工事	型枠施工 コンクリート 圧送施工	型枠工事作業 コンクリート圧送工事作業
	・鉄骨工事	鉄工	構造物鉄工作業
	・ブロック建築	とび	とび作業
	・ブロック建築	ブロック建築	コンクリートブロック工事作業
	・押出成形物外板工事	E-15の-1 組 施工	E-エルシーパネル工事作業
	防水工事	防水施工	アスファルト防水工事作業 ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 アクリルゴム系塗膜防水工事作業 合成ゴムシート防水工事作業 強化ビニルシート防水工事作業 セメントシート防水工事作業 シーリング防水工事作業 改質アスファルトシート トーチ工法防水工事作業 FRP防水工事作業
	石工事	石材施工	石張り作業
	タイル工事	タイル張り	タイル張り作業
	木工事	建築大工	大工工事作業
	屋根及びとい工事	建築板金 スレート施工	内外装板金作業 スレート工事作業
	金属工事	内装仕上施工 建築板金	鋼製下地工事作業 内外装板金作業
	左官工事	左官	左官作業
	建築工事	サッシ施工 ガラス施工 自動ドア施工	金属製カーテンウォール工事作業 ビル用サッシ施工作業 ガラス工事作業
	・トポカール工事	トポカール施工 サッシ施工 ガラス施工	金属製カーテンウォール工事作業 ビル用サッシ施工作業 ガラス工事作業
	塗装工事	塗装	建築塗装作業
	内装工事	内装仕上施工	プラスチック系床仕上工事作業 カーペット系床仕上作業 ボート仕上作業
		塗装	塗装作業
	排水工事	配管	建築配管作業
	舗装工事	路面表示施工	溶融ペイントハンドマーカ-工事作業 加熱ペイントマシ-ンマーカ-作業
	植栽工事	造園	造園工事作業
	・室内空気中の化学物質の濃度測定		(1.5.9)
	測定対象室及び測定箇所数 (採取サンプルは、アルデヒド用1個、VOC用1個の計2個で1箇所とする。)		
	種 室 名	面 所 数	備考
			計()
○ 完成時の提出図書	工事完成時に下記の図書を監督職員に提出する。なお、当該建築物の取得する施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は発注者に移譲する。 ○ 現場説明事項による 完成図等 完成図 表1.7.1のうち施工図及び施工計画書を除くもの 作成方法 C A D で新規作成する ・既存C A D データの修正 提出物 C A D データ一式 部 原図 A 1 部 (3つ折りケース収納) 種画複写 A 1 部 A 3 部 (2つ折り製本)	(1.7.1-3)	

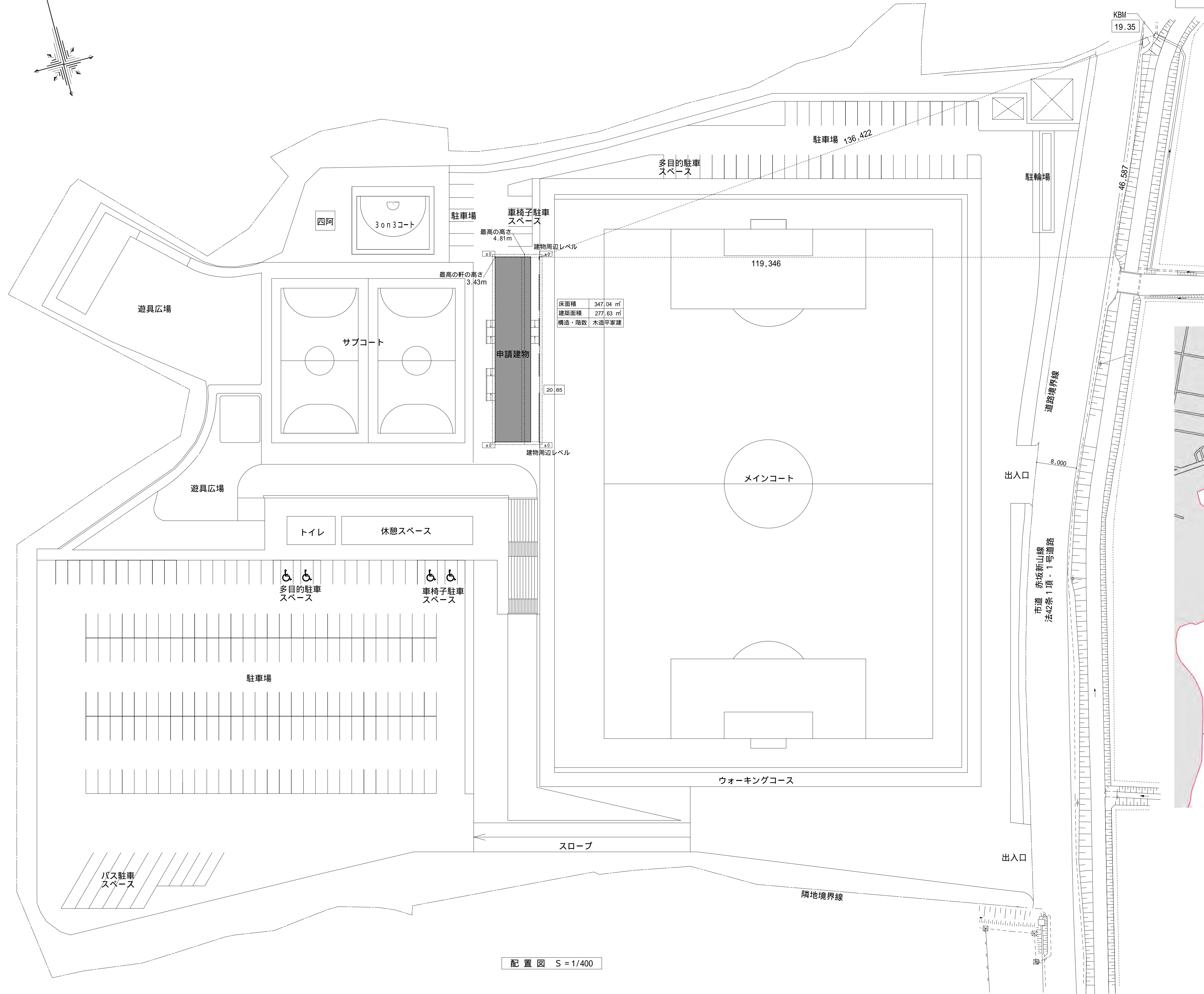
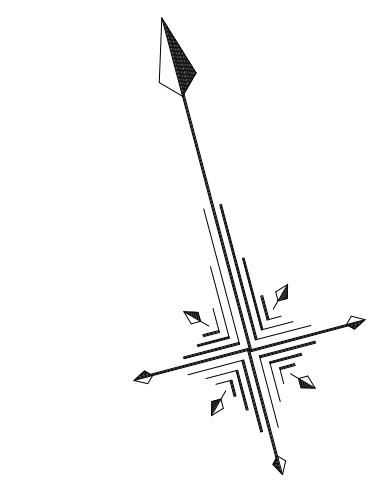
○ 設備工事との取合い	施工図 表1.8.1のうち施工図 提出物 C A D データ一式 部 原図 A 1 部 (3つ折りケース収納) (製本図書で原図として提出できないものは、原図にかわるもの) 種画複写 A 1 部 A 3 部 (2つ折り製本)	部 部 部 部	
○ 設計 G L	施工計画書 表1.7.1のうち施工計画書 提出物 A 4 1 部 (ファイルとし) ・固有財産台帳付属図面 図面 案内図、配置図(外構図)、求積図、平面図、屋根状況図、仕上表 作成方法 C A D で新規作成する ・既存C A D データの修正 ・既存完成図の修正(下記のC A D データの提出は不要) 提出物 部図 A 3 部 (作成については監督職員の指示による) C A D データ一式 部		
・ 契約後 V E	保安に関する資料 ○ 「管理者のための建築物保全の手引き」(建設大臣官房 官庁管轄部監修) 1 冊 ○ 建築物等の利用に「建築物等の利用に関する説明書作成の手引き」に基づき作成する。 提出物 A 4 判ファイル綴込み 2 部(簡通工事と合本する。)		
○ 電子納品	○ 保安に関する資料: 機器取扱い説明書、機器製作図、機器性能試験成績書、官公署届出書類、主要材料・機器一覧表等 提出物 A 4 判ファイル綴込み 1 部 ○ 機器取扱い説明書: 宿舍等で共用部分を除く部分に設置した機器の取扱い説明書をまと書類、主要材料・機器一覧表等 提出物 A 4 判ファイル綴込み 1 部		
・ 余裕期間制度	完成写真 提出物 A 4 1 部 (ファイルとし) 撮影箇所等 全景 各方向 1 部 2 L 版程度 詳細 各方向 1 枚 L 版程度		
	施工範囲 工事区分表による 施工図 設備機器の位置、取り合いなどを検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。		
	図示 ・現状平均地盤		
	・本工事は契約後 V E 方式対象工事とする。 受注者が V E 提案を行う対象は、のうちの に関する施工(または材料)とする。		
	本工事は電子納品対象工事とし、対象書類は工事完成図(及び工事写真)とする。		
	・適用する 実 工 期 : 日間 工期の始期日/期限 : 令和 年 月 日		
	・適用しない		

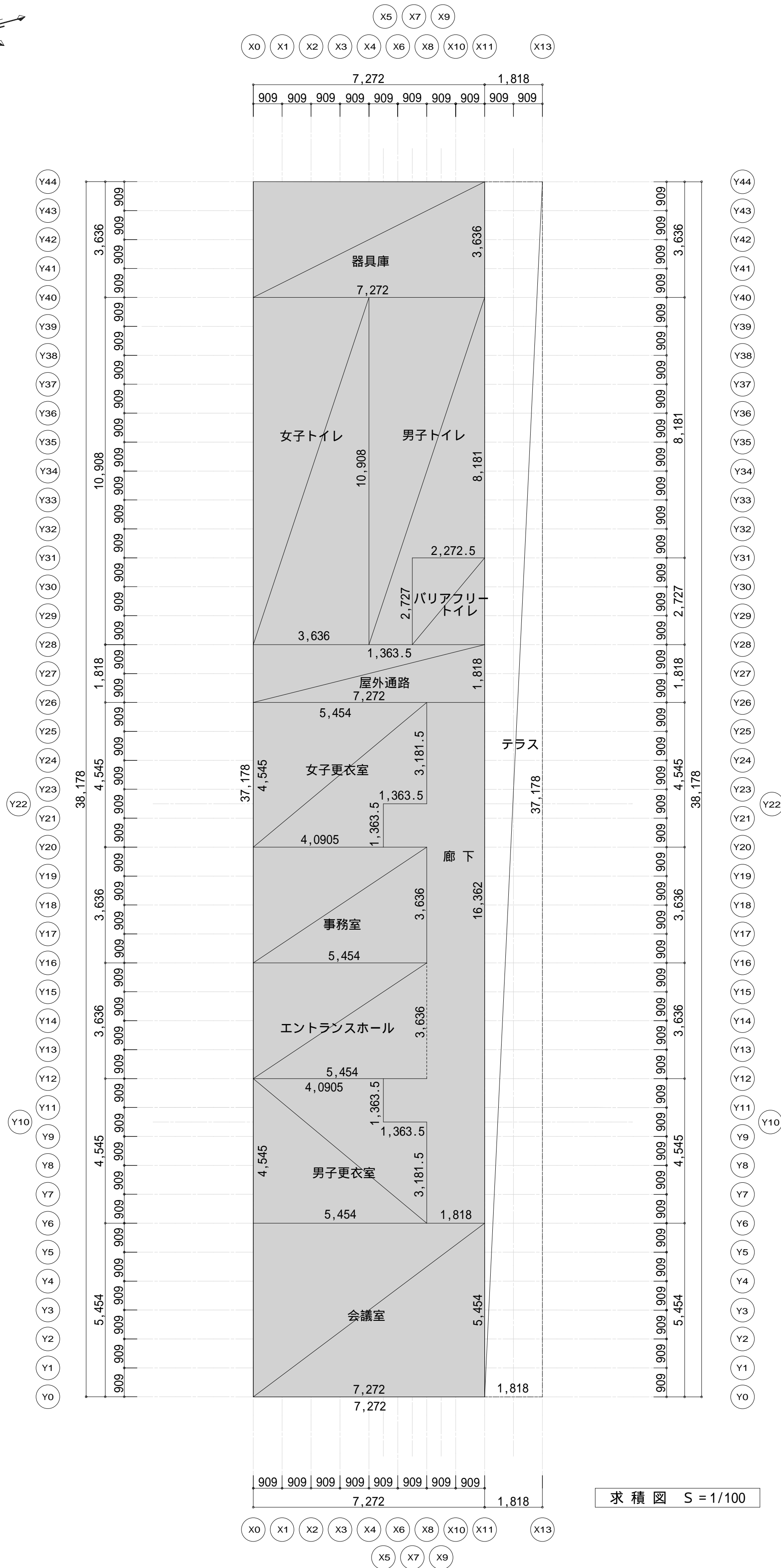
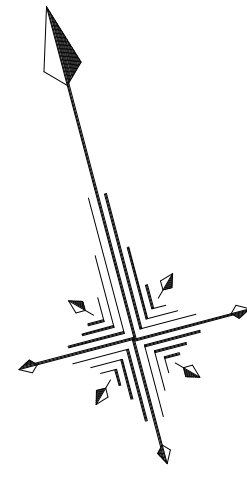
・ 遠隔職場	本工事は遠隔職場の対象工事とする。	
・ 情報共有システム	本工事は情報共有システム利用の対象工事とする。	
○ 監督職員事務所	設ける (規模及び仕上げの程度、並びに設置する備品等の種類及び数量は工事補足説明事項による。) 設けない	(2.3.1)
○ 工事用水及び電力	工事用水 構内既存の施設 ・利用できる(有償・無償) 工事用電力 構内既存の施設 ・利用できる(有償・無償) ・利用できない	

工 事 区 分 表

NO	工事箇所	建築	電気	機械	別途	備 考
1	天井点検口					
2	床下点検口					
3	埋込照明器具開口補強					
4	埋込照明器具開口					
5	空調換気 その他設備器具取付					
6	配管ビットの築造					
7	鏡					
8	配管、電気の各シャフト築造					
9	吊りボルト、及びインサート工事					
10	設備スリーブ、外壁貫通部の防水処理					
11	管、ダクトの壁、床の貫通部の補修工事					
12	吸入、吹出器具取付に伴う天井切込並びに補強					
13	ドアガラリ					
14	消火器の設置工事					
15	動力盤、電灯盤					
16	設置用機器の基礎工事					
17	水道メーター取付					
18	ミニキッチン取付					
19	電気温水器					
20	流し排水トラップ					市販流しは付属品
21	ミニキッチン混合栓					ミニキッチン付属品
22	ミニキッチン配線・配管接続					
23	足洗い場・手洗い場工事					
24	同上 水栓、排水金物及び配管接続					
25	給排風機取付工事					
26	同上スイッチ配管、配線					強弱機能付形はスイッチ支給
27	エアコン電源工事					
28	同上屋内機、屋外機渡り配線工事					リモコンスイッチ及び配線共
29	雨水 G L 以降の配管工事					グランド側溝に放流
30	洗面器カウンター					
31	手摺					トイレ衛生器具回り
32	幼児用補助便座					
33	水道加入金					

工事名	鶴岡市人工芝グラウンド整備工事(管理棟)	図番	A 12
図面名	配置図・付近見取図	校閲	製図
鶴岡市日出一丁目16-1 山形県知事登録(1311)第1815号		校閲	製図
株式会社 菅原設計		校閲	製図
1級建築士 第169159号 菅原英介		校閲	製図
TEL 0235(22)1848 FAX 0235(22)1840		校閲	製図





求積図 S = 1/100

面積計算求積表

	計 算 式	計 (㎡)	備 考
建築面積算定			
X0-X13 × Y0-Y44	9.090 × 38.178	347.0380	
	小計	347.0380	
	改め	347.04 ㎡	
床面積算定			
X0-X11 × Y0-Y44	7.272 × 38.178	277.6304	
	小計	277.6304	
	改め	277.63 ㎡	
各室面積算定			
会議室	5.454 × 7.272	39.6614	
男子更衣室	4.545 × 5.454 - 1.3635 × 1.3635	22.9293	
エントランスホール	3.636 × 5.454	19.8308	
事務室	3.636 × 5.454	19.8308	
女子更衣室	4.545 × 5.454 - 1.3635 × 1.3635	22.9293	
廊下	16.362 × 1.818 + 1.3635 × 1.3635 × 2	33.4645	
屋外通路	1.818 × 7.272	13.2205	
男子トイレ	10.908 × 3.636 - 2.727 × 2.2725	33.4642	
女子トイレ	10.908 × 3.636	39.6614	
バリアフリートイレ	2.727 × 2.2725	6.1972	
器具庫	3.636 × 7.272	26.4410	
テラス	38.178 × 1.818	69.4076	
	小計	347.0380	

シックハウス検討

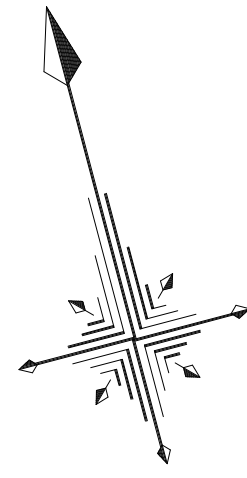
凡 例

記号	建築材料	種 別
A	塩ビシート厚2.0mm張り(重歩行シート)	F
B	ビニールクロス張り(準不燃)	F
C	化粧石膏ボード	規制対象外
D	内部建具(既製品)	F
E	アルミ建具	規制対象外
F	流し台等、家具	F
G	仕上塗装	F

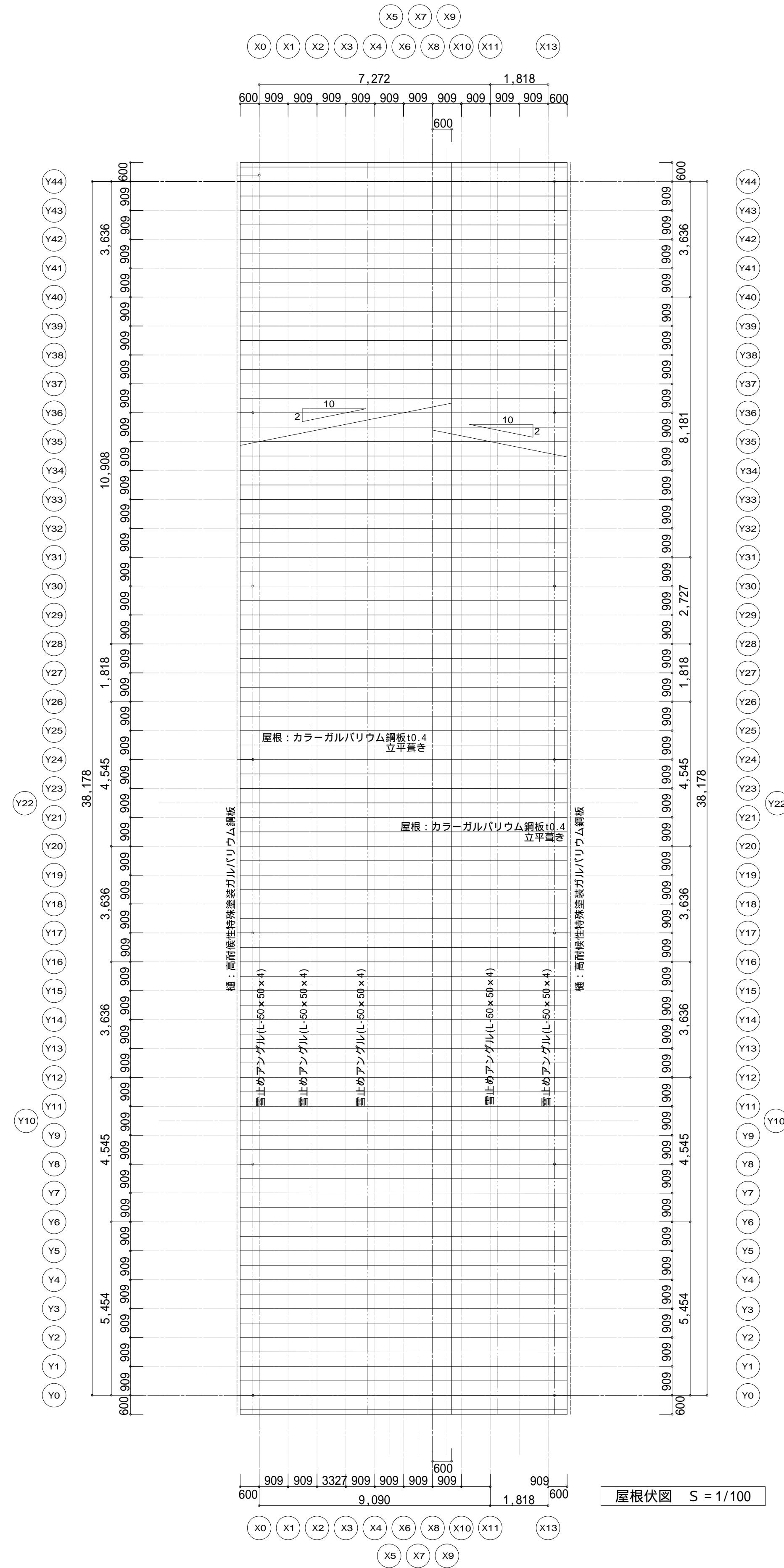
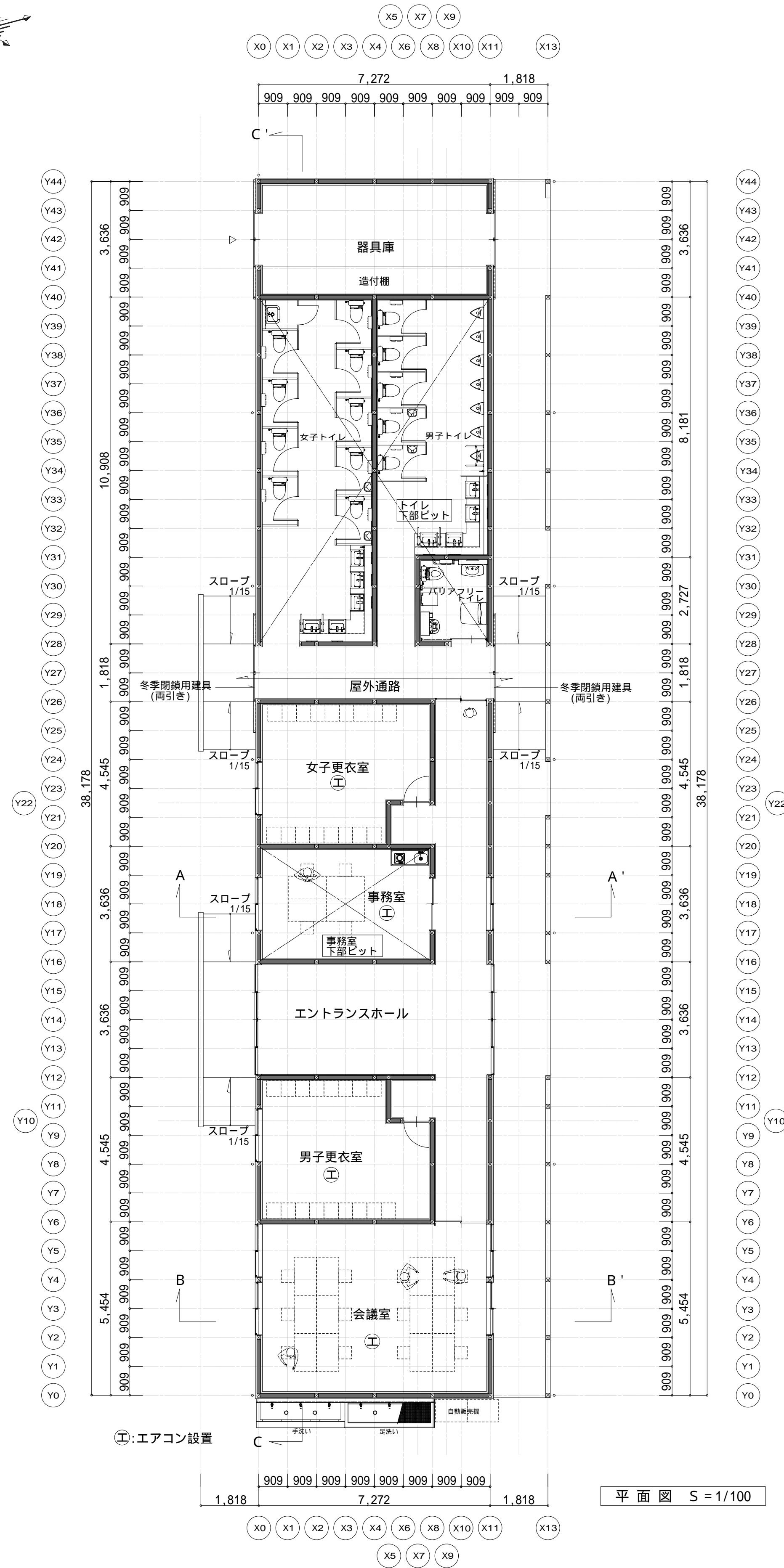
部屋名	内装仕上の部分	種 別	記 号	幅(長さ) (m)	高 さ (m)	面 積 (㎡)	係 数	使用面積 (㎡)	使用面積合計 (判定結果)
会議室	床	F	A	—	—	—	—	0	
	壁	F	B + G	—	—	—	—	0	
	天井	規制対象外	C	—	—	—	—	0	
	建具	+ 規制対象外	D + E	—	—	—	—	0	
事務室	床	F	A	—	—	—	—	0	
	壁	F	B + G	—	—	—	—	0	
	天井	規制対象外	C	—	—	—	—	0	
	建具	+ 規制対象外	D + E	—	—	—	—	0	
エントランスホール	流し台等、家具	F	F	—	—	—	—	0	
	床	F	A	—	—	—	—	0	
	壁	F	B + G	—	—	—	—	0	
	天井	規制対象外	C	—	—	—	—	0	
	建具	+ 規制対象外	D + E	—	—	—	—	0	
合計							0	OK	

天井裏等への措置

1階	
天井裏	通気止め
間仕切壁	通気止め
外壁	通気止め

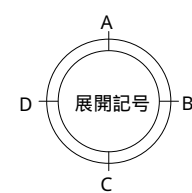
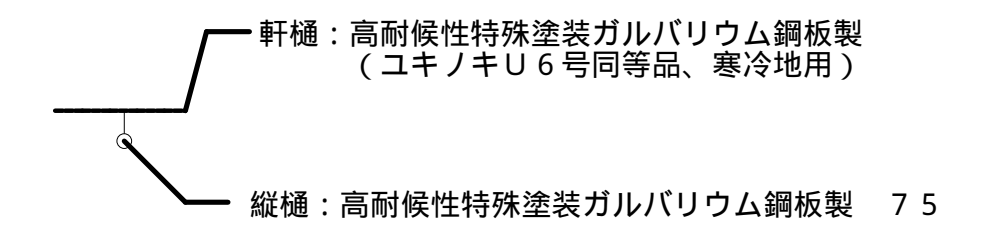


工 事 名	鶴岡市人工芝グラウンド整備工事(管理棟)	図 番	A 15
		縮 尺	1 : 100 (A1) 1 : 200 (A3)
図 面 名	平面図、屋根伏図	日 付	R8.03.24
鶴岡市日出一丁目16-1 山形県知事登録(1311)第1815号 株式会社 菅原 設計 1級建築士 第169159号 菅原 英 介 TEL 0235(22)1848 FAX 0235(22)1840		校 閲	製 図



凡 例

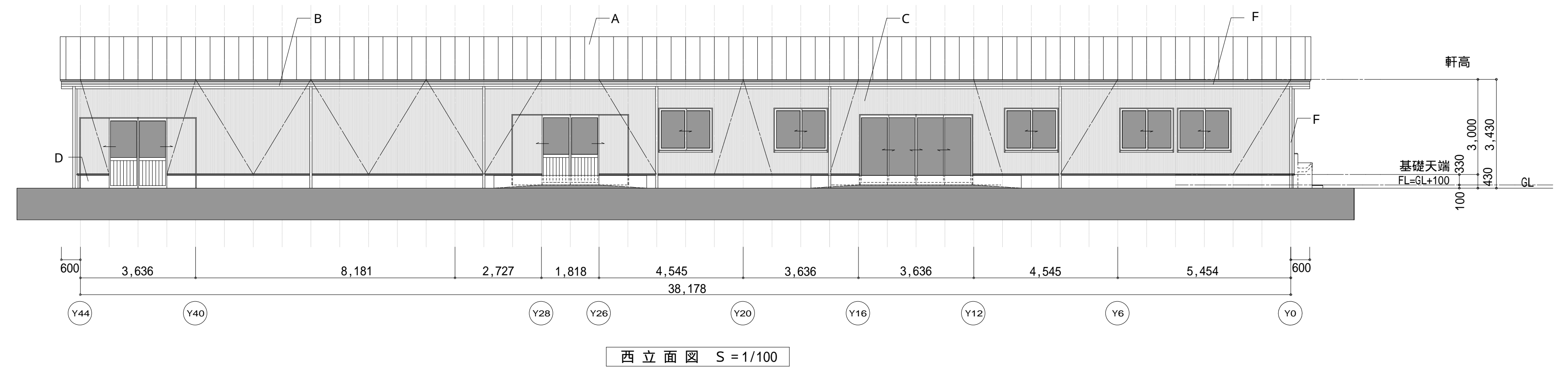
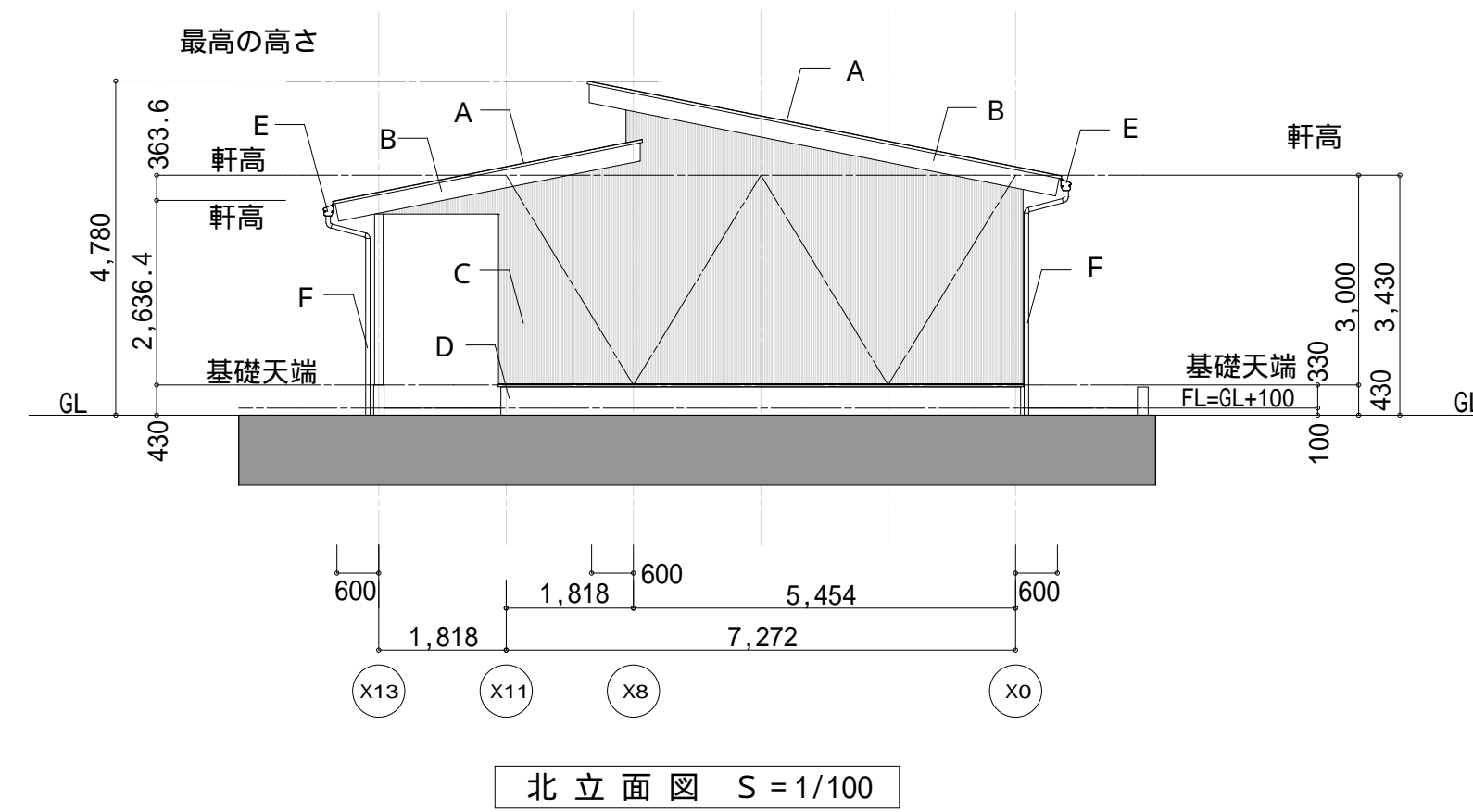
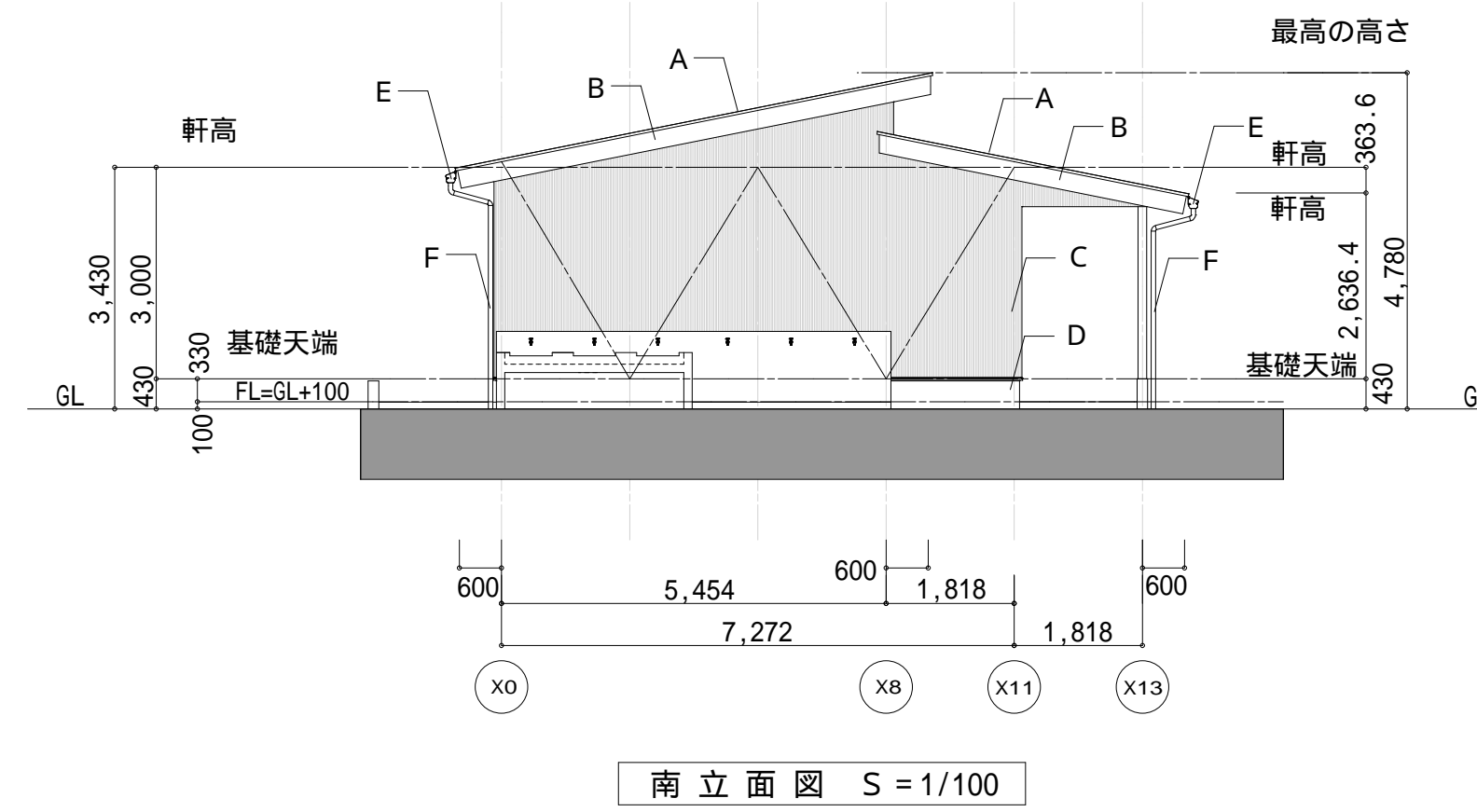
A	屋 根 : カラーガルバリウム鋼板t0.4立平葺き 改良アスファルトルーフィング(ゴムアス)下葺
B	鼻隠し : 30×270 カラーガルバリウム鋼板t0.4ε=0.4包み
C	外 壁 : 金属サイディング縦張t15 (通気工法 胴縁18×45@455)
D	基 礎 : 見え掛け部分 コンクリート打放し弾性リシン(砂壁状)吹付
E	軒 樋 : 高耐候性特殊塗装ガルバリウム鋼板製 (1#/#U6号同等品)
F	壁 樋 : 高耐候性特殊塗装ガルバリウム鋼板製 径75下部キャップカバー付
G	



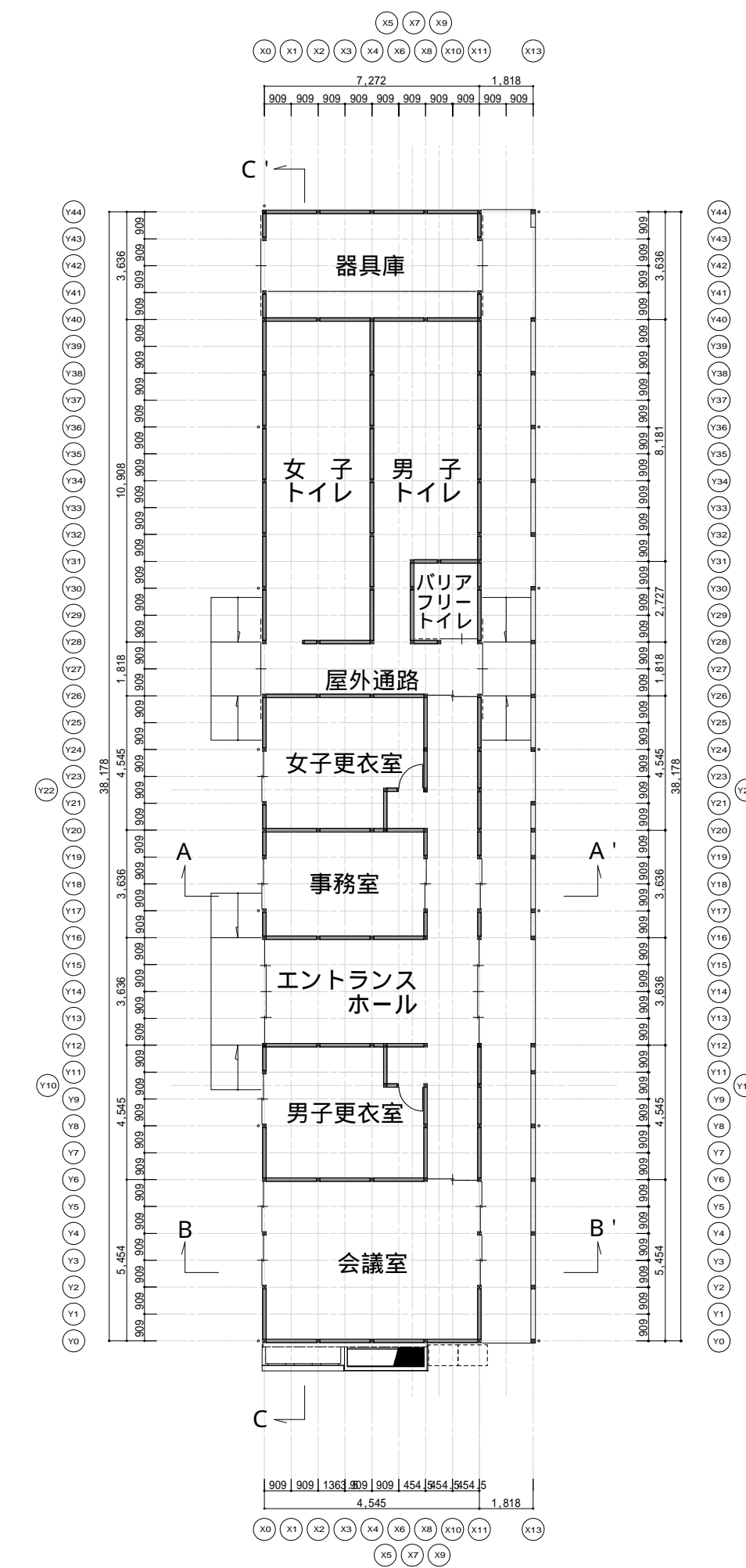
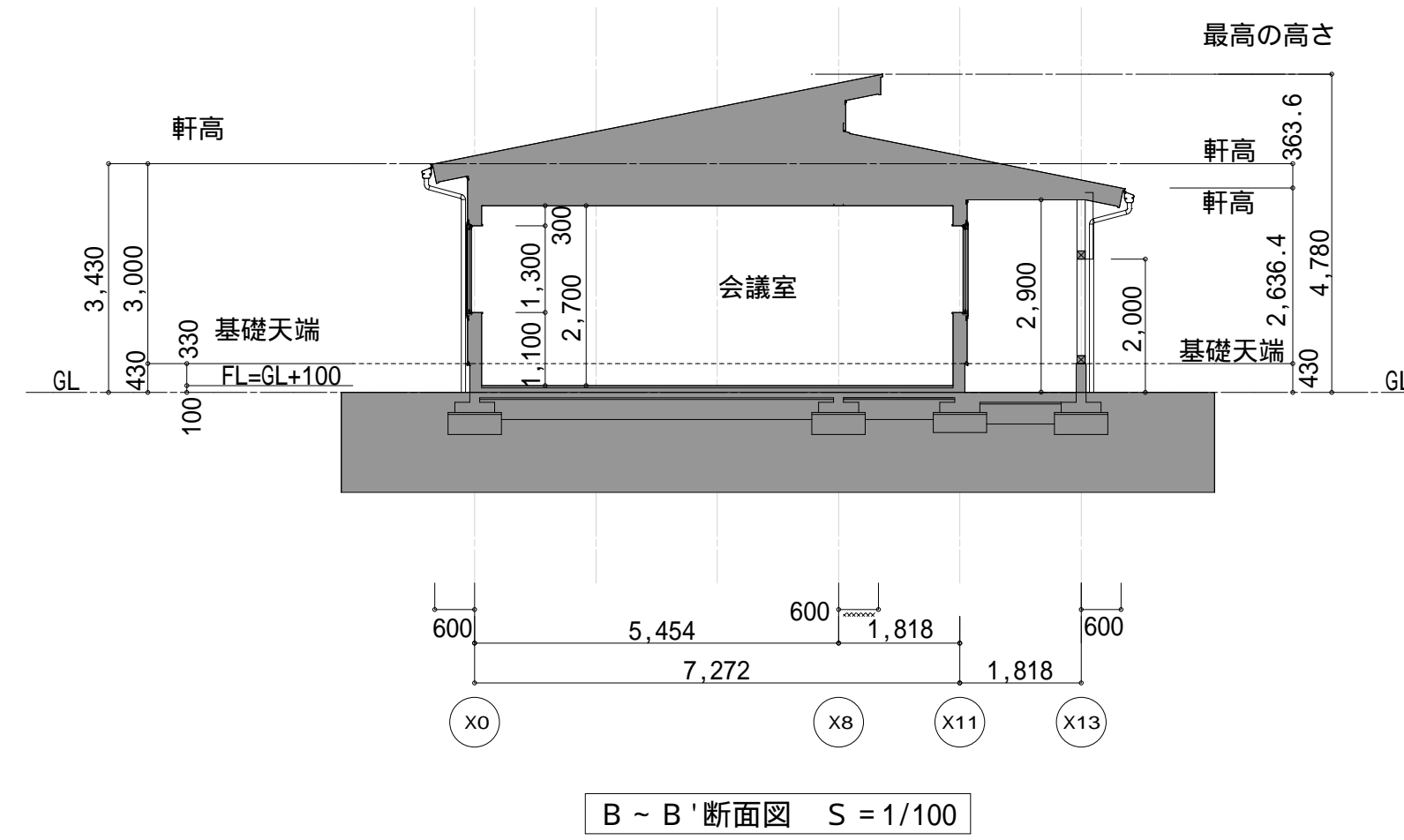
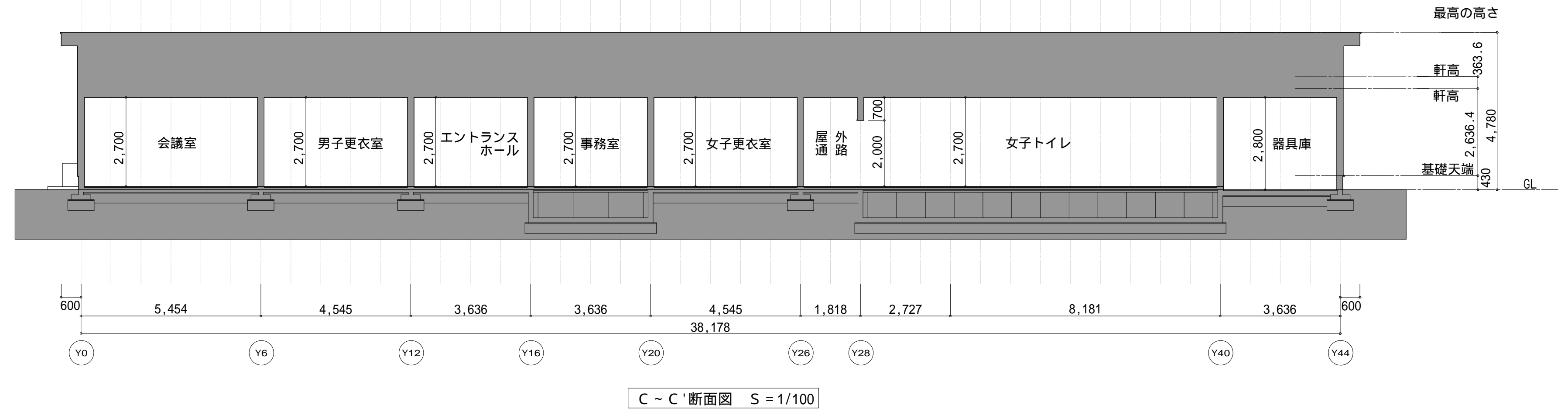
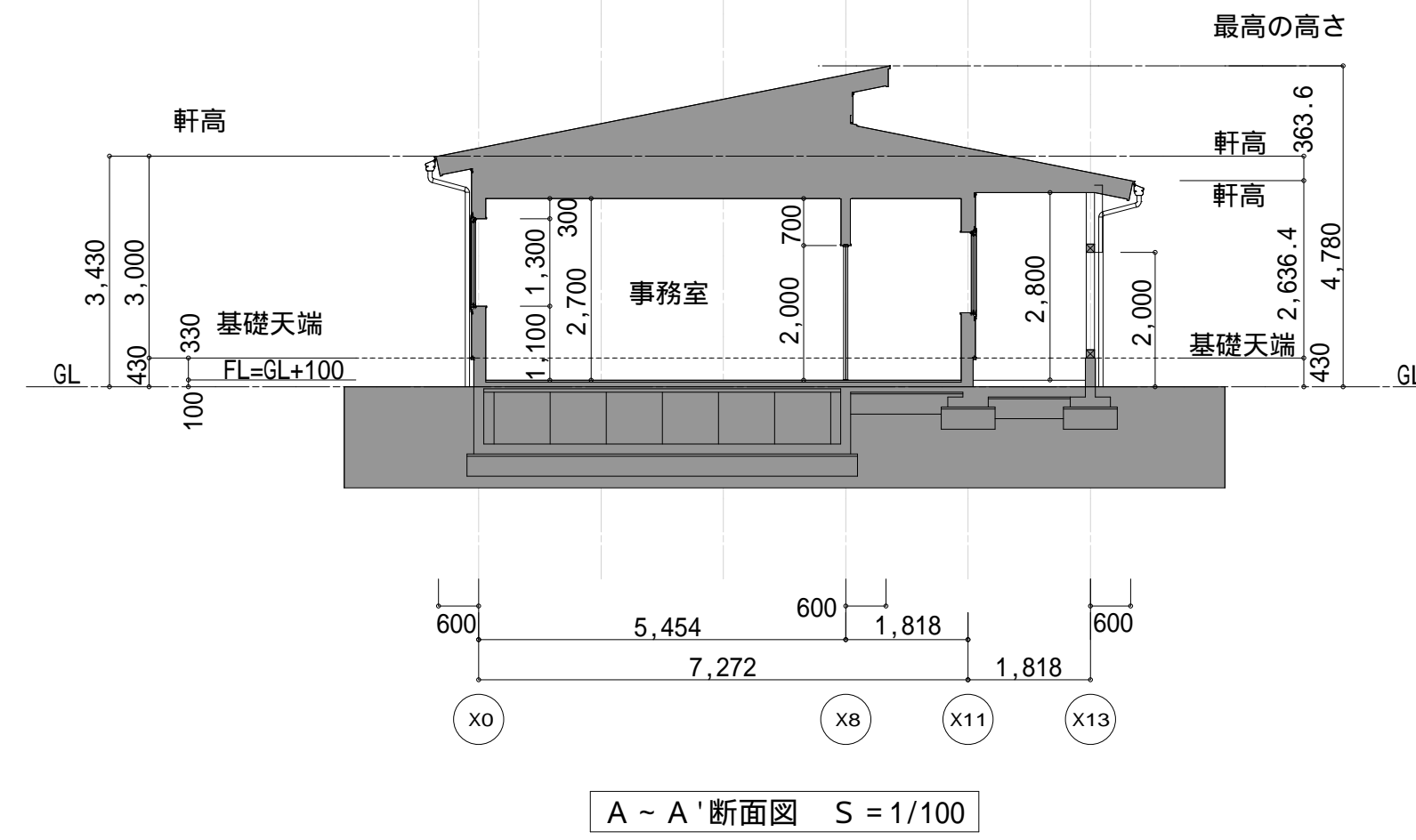
工事名	鶴岡市人工芝グラウンド整備工事(管理棟)	図番	A 16
図面名	立面図	縮尺	1:100 (A1) 1:200 (A3)
	鶴岡市日出一丁目16-1 山形県知事登録(1311)第1815号	日付	R8.03.24
	株式会社 菅原設計 1級建築士 第169159号 菅原英介 TEL 0235(22)1848 FAX 0235(22)1840	校閲	製図

凡例

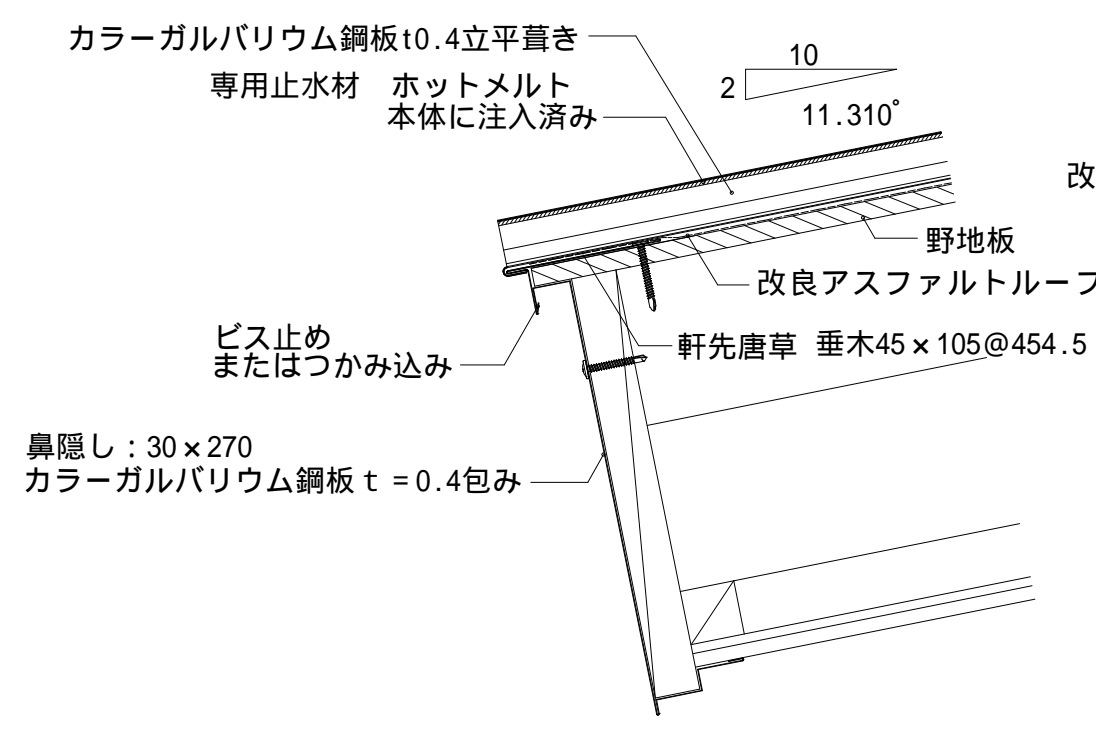
A	屋根：カラーガルバリウム鋼板t0.4立平葺き 改良アスファルトルーフィング(ゴムアス)下葺
B	鼻隠し：30×270 カラーガルバリウム鋼板 t = 0.4包み
C	外壁：金属サイディング縦張t15 (通気工法 胴縁18×45@455)
D	基礎：見え掛け部分コンクリート打放し 弾性リシン(砂壁状)吹付
E	軒樋：高耐候性特殊塗装ガルバリウム鋼板 (J#H06号同等品)
F	壁樋：高耐候性特殊塗装ガルバリウム鋼板 径75下部キャップカバー付
G	



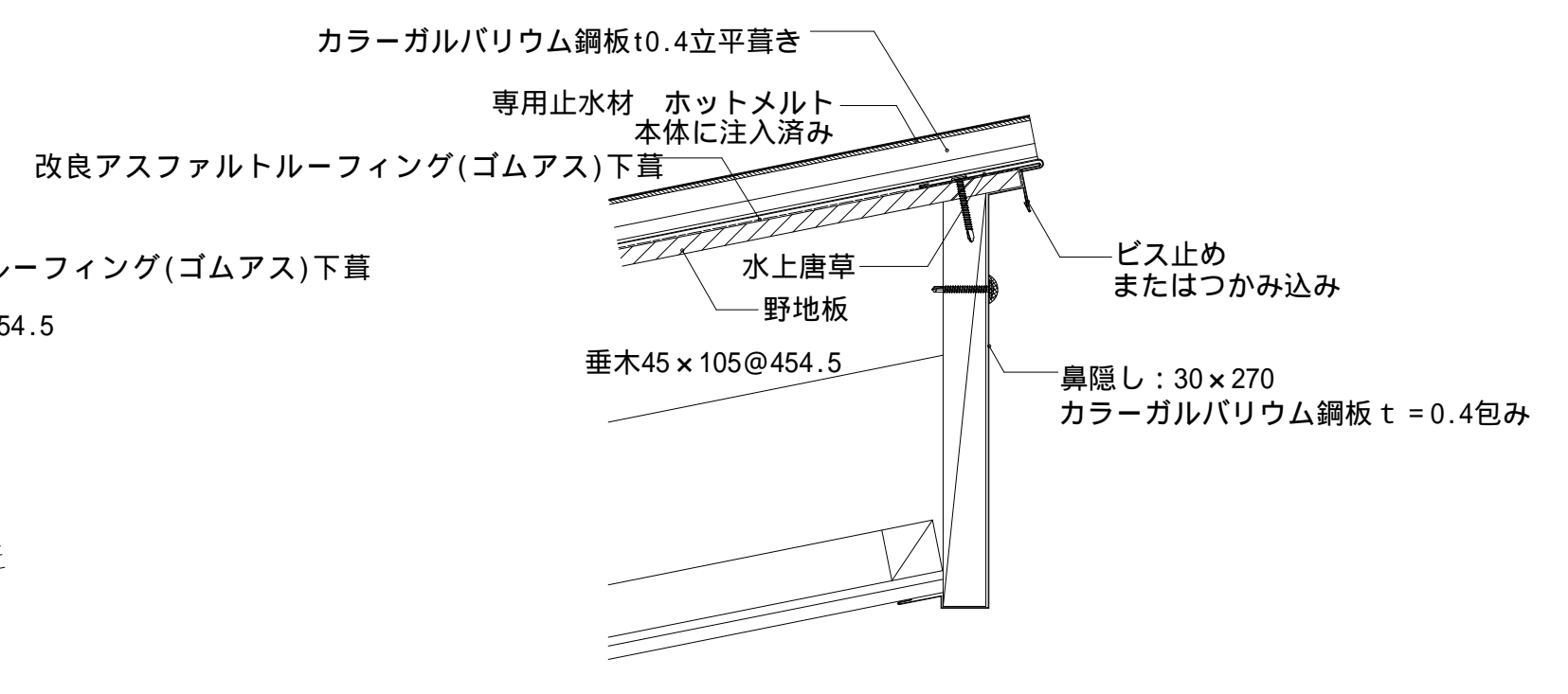
工事名	鶴岡市人工芝グラウンド整備工事(管理棟)	図番	A 17
図面名	断面図	縮尺	1:100 (A1) 1:200 (A3)
	鶴岡市日出一丁目16-1 山形県知事登録(1311)第1815号	日付	R8.03.24
	株式会社 菅原 設計	校閲	製図
	1級建築士 第169159号 菅原 英介		
	TEL 0235(22)1848 FAX 0235(22)1840		



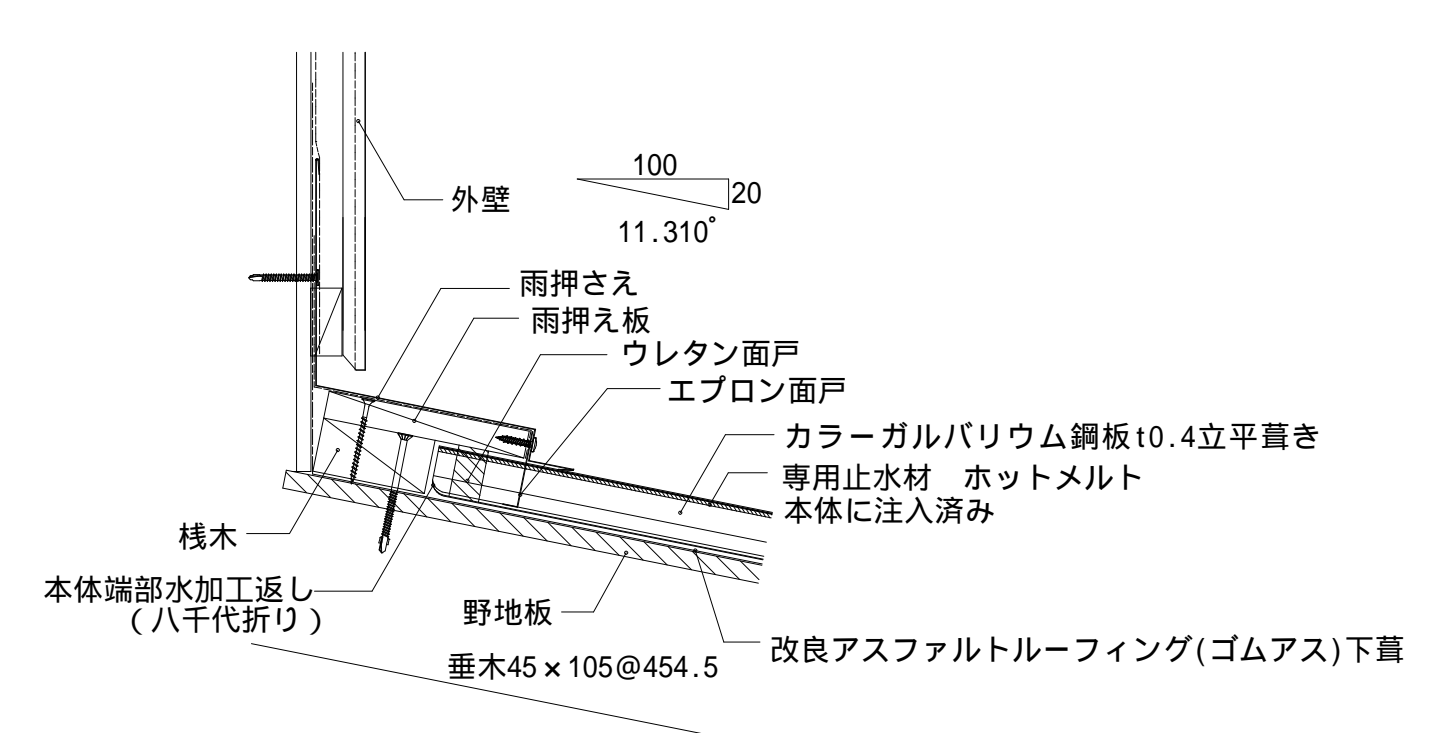
工事名	鶴岡市人工芝グラウンド整備工事(管理棟)	図番	A 18
図面名	断面詳細図	縮尺	1:20 (A1) 1:40 (A3)
	鶴岡市日出一丁目16-1 山形県知事登録(1311)第1815号	日付	R8.03.24
	株式会社 菅原言言十	校閲	製図
	1級建築士 第169159号 菅原英介		
	TEL 0235(22)1848 FAX 0235(22)1840		



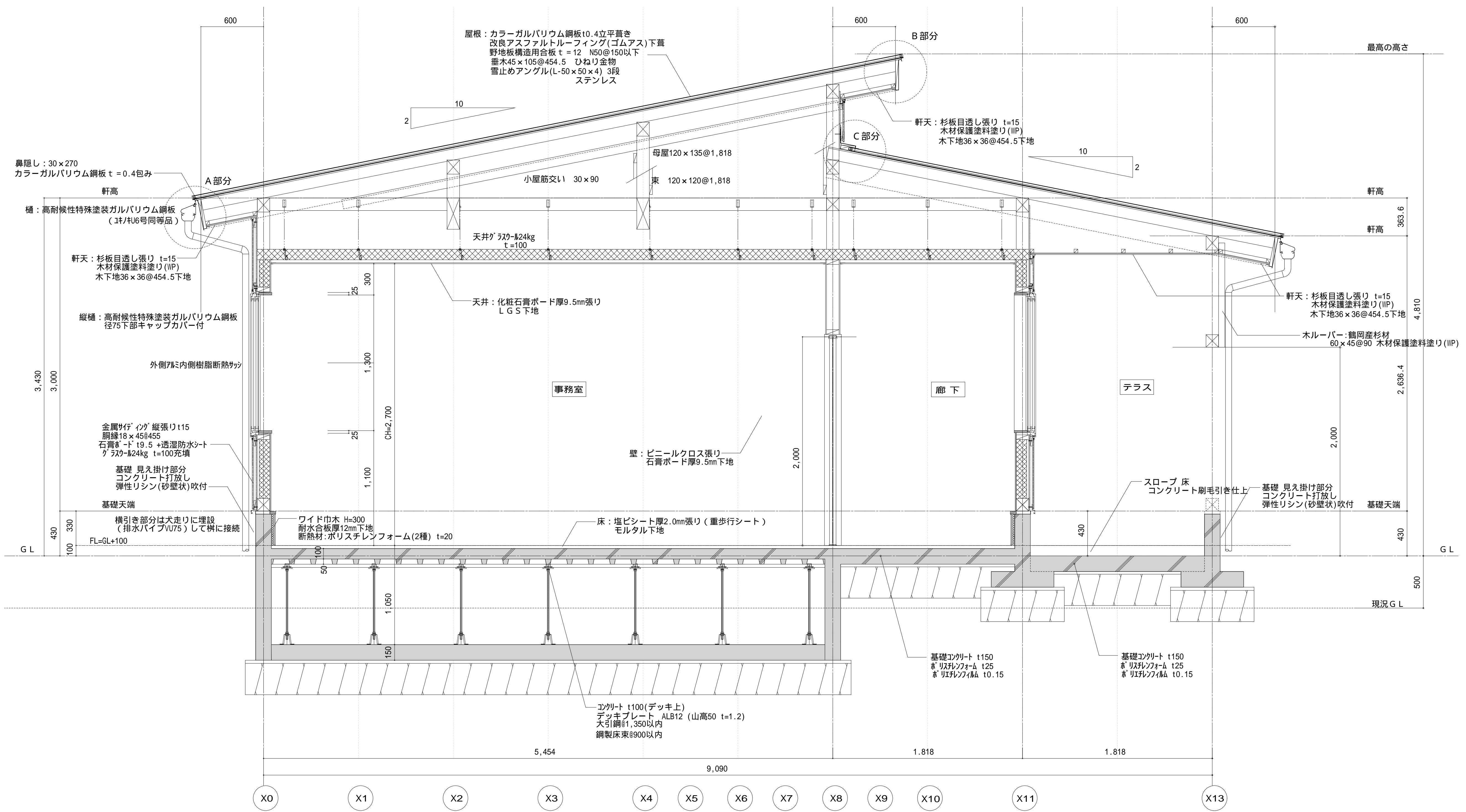
A部分詳細図 S=1/5



B部分詳細図 S=1/5

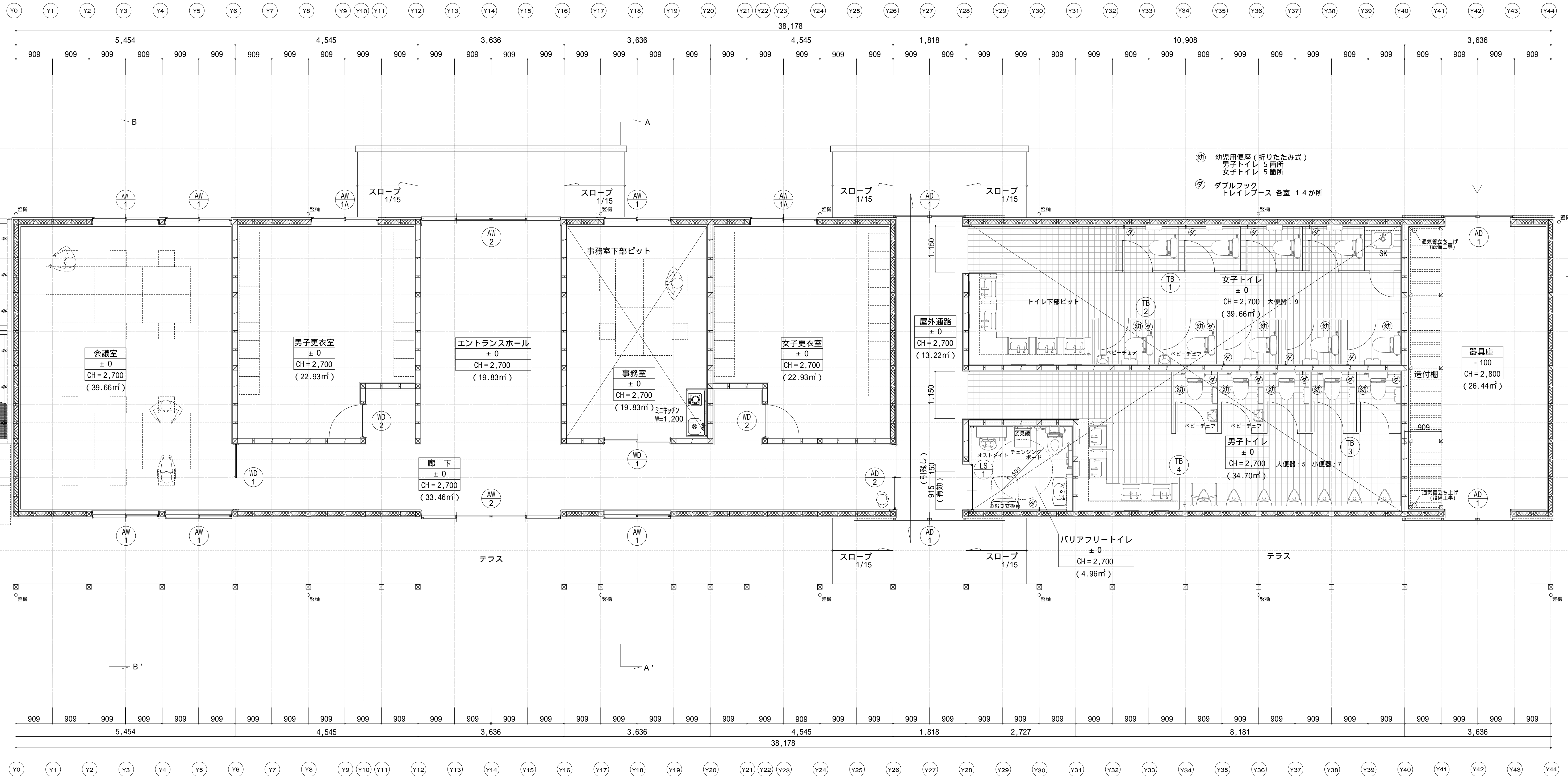
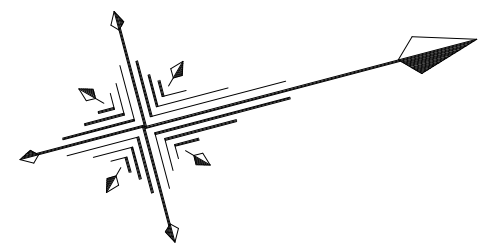
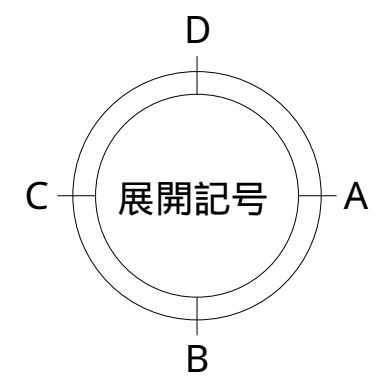


C部分詳細図 S=1/5



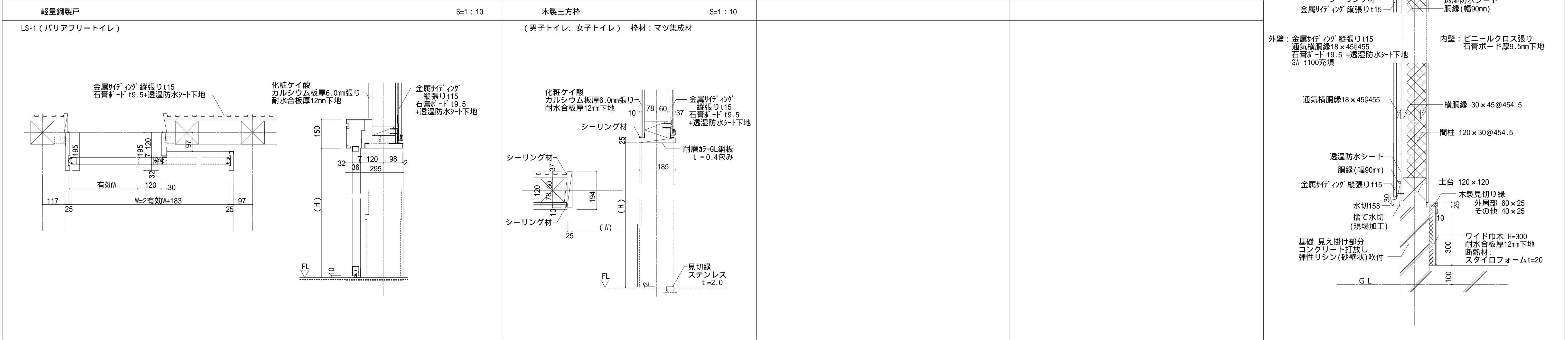
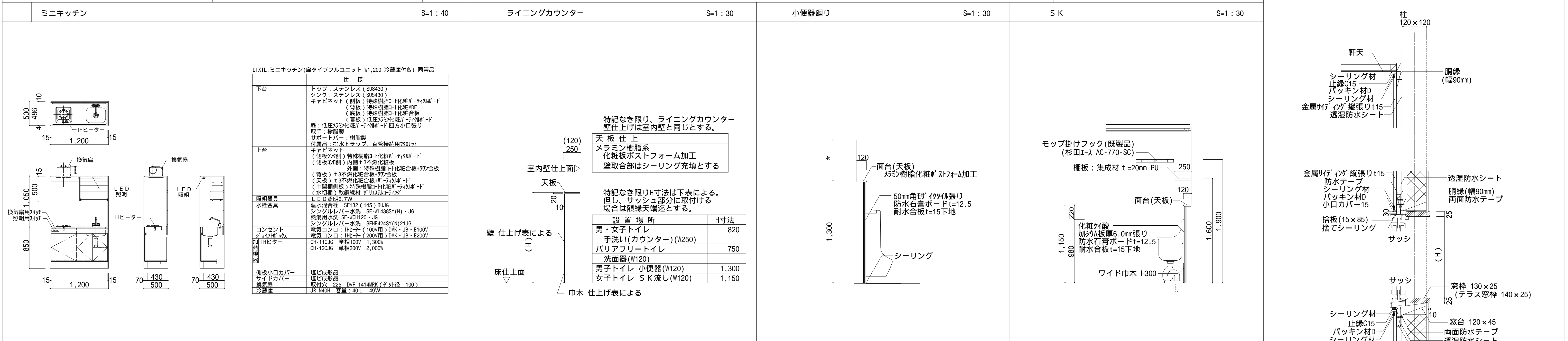
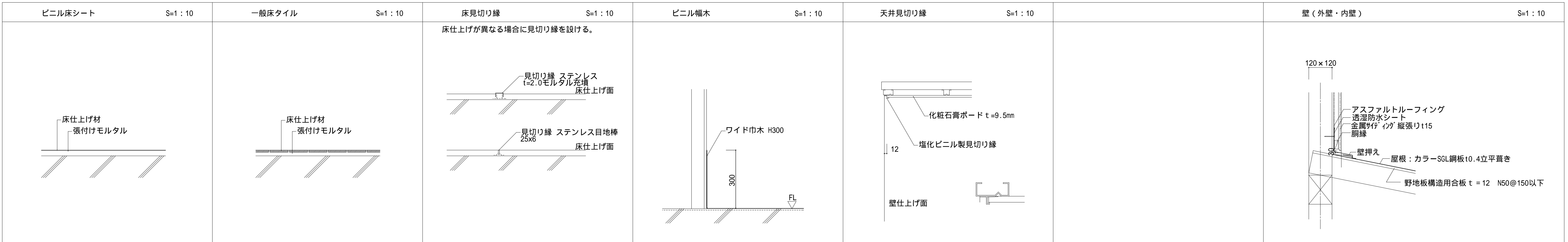
断面詳細図 S=1/20

工事名	鶴岡市人工芝グラウンド整備工事(管理棟)	図番	A 19
図面名	平面詳細図	縮尺	1:50 (A1) 1:100 (A3)
鶴岡市日出一丁目16-1 山形県知事登録(1311)第1815号		日付	R8.03.24
株式会社 菅原設計		校閲	製図
1級建築士 第169159号 菅原英介		TEL 0235(22)1848 FAX 0235(22)1840	

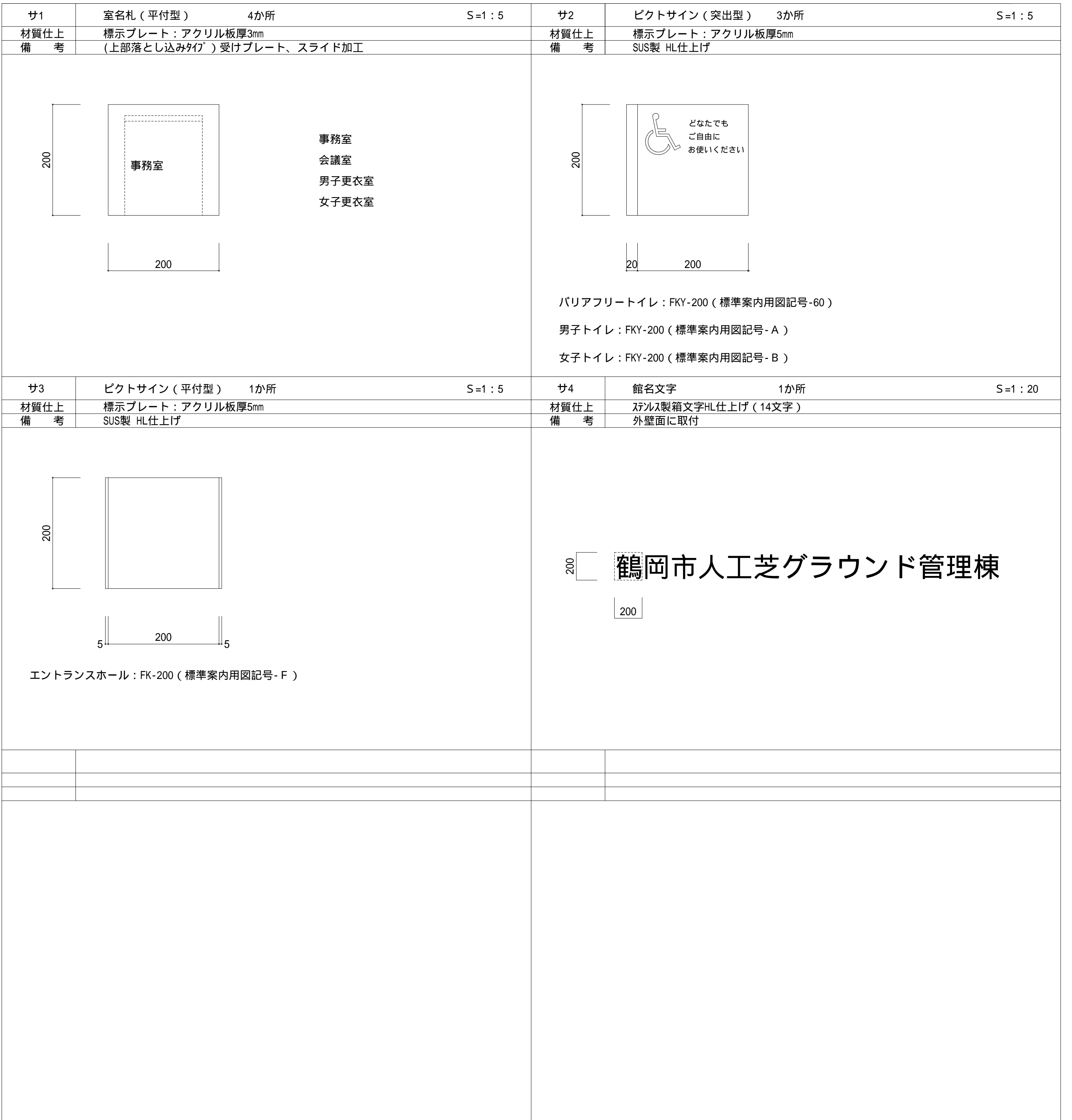
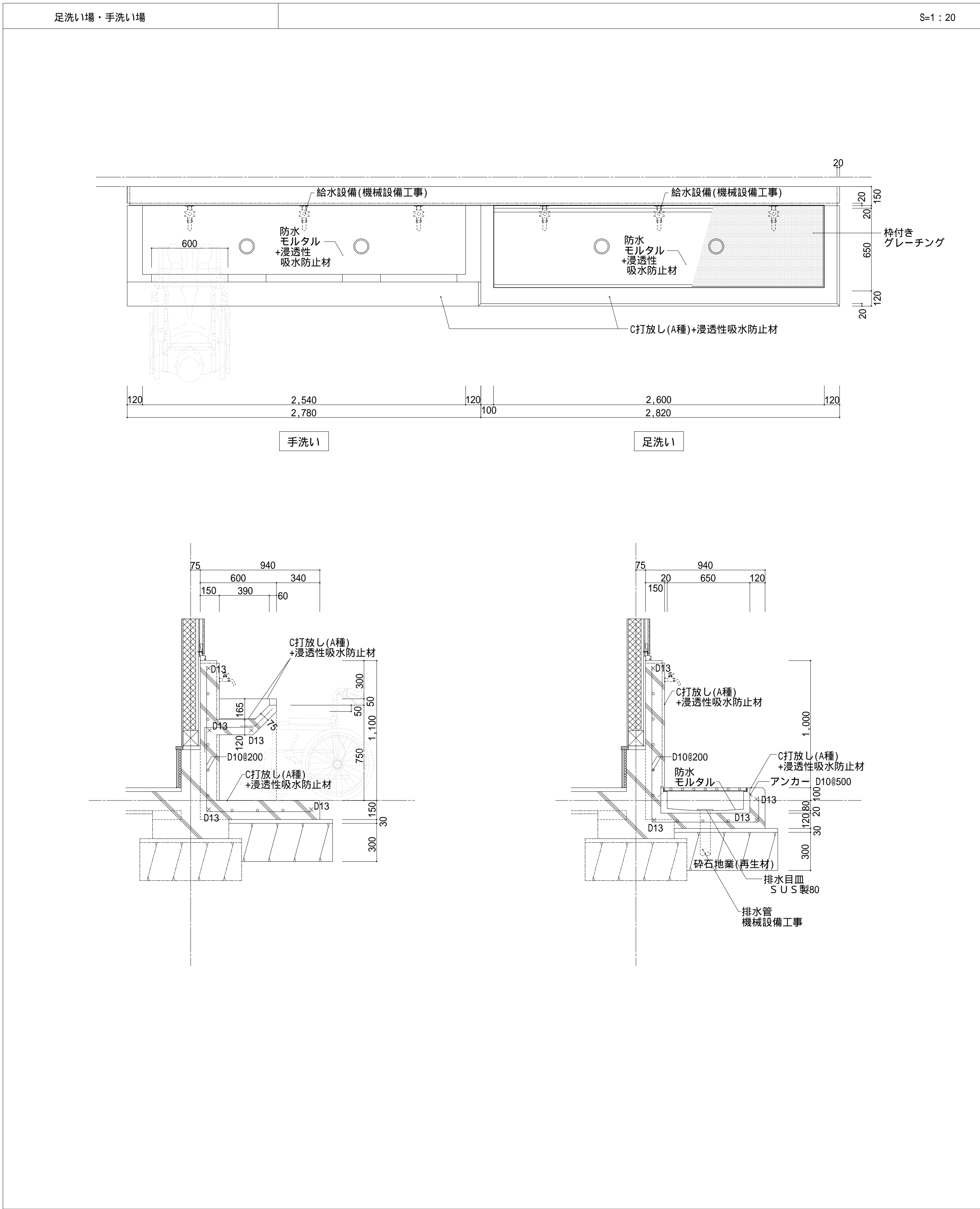




平面詳細図 S=1/50

工 事 名	鶴岡市人工芝グラウンド整備工事(管理棟)	図 番	A 20
図 面 名	標準詳細図 1	縮 尺	1:10 (A1) 1:20 (A3)
	鶴岡市日出一丁目16-1 山形県知事登録(1311)第1815号	日 付	R8.03.24
	株式会社 菅原設計 1級建築士 第169159号 菅原英介 TEL 0235(22)1848 FAX 0235(22)1840	校 閲	製 図

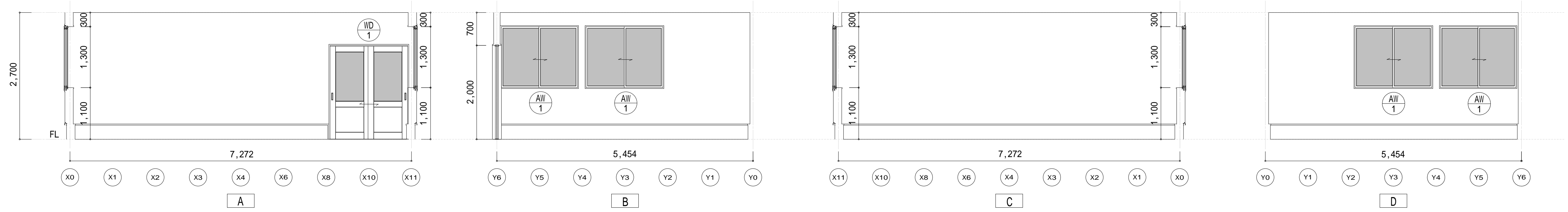


工事名	鶴岡市人工芝グラウンド整備工事(管理棟)	図番	A 21
図面名	標準詳細図2、サイン詳細図	縮尺	1:20, 5(A1) 1:40, 10(A3)
鶴岡市日出一丁目16-1 山形県知事登録(1311)第1815号		日付	R8.03.24
株式会社 菅原言言十		校閲	製図
1級建築士 第169159号 菅原英介		TEL 0235(22)1848 FAX 0235(22)1840	

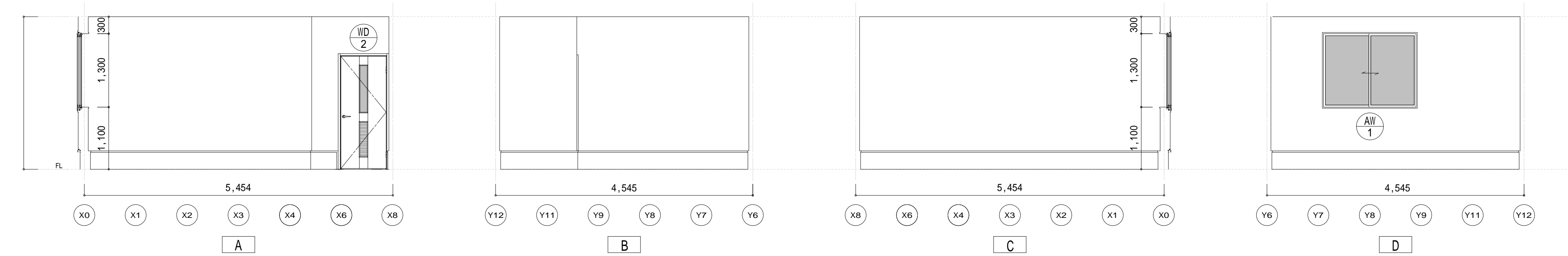


工 事 名	鶴岡市人工芝グラウンド整備工事(管理棟)	図 番	A 2.2
		縮 尺	1:50 (A1) 1:100 (A3)
図 面 名	展開図 1	日 付	R8.03.24
鶴岡市日出一丁目16-1 山形県知事登録(1311)第1815号 株式会社 菅原設計 1級建築士 第169159号 菅原英介 TEL 0235(22)1848 FAX 0235(22)1840		校 閲	製 図
			

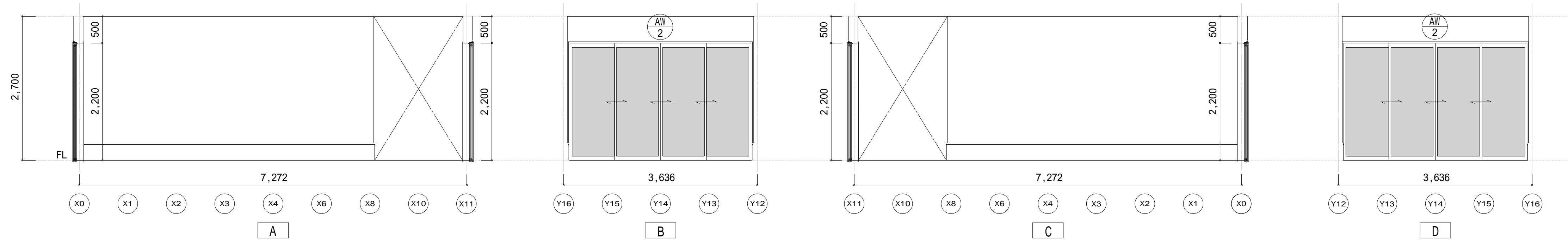
室 名	会議室
床	塩ビシート厚2.0mm張り(重歩行シート)
巾 木	ワイド巾木 H300
壁	石膏ボード厚9.5mm下地 ビニールクロス張り
天 井	LGS下地 化粧石膏ボード厚9.5mm張り
備 考	



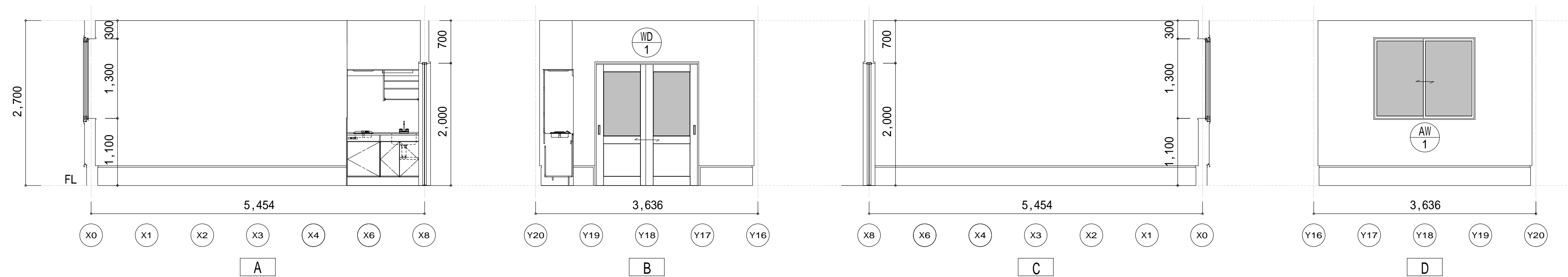
室 名	男子更衣室
床	塩ビシート厚2.0mm張り(重歩行シート)
巾 木	ワイド巾木 H300
壁	石膏ボード厚9.5mm下地 ビニールクロス張り
天 井	LGS下地 化粧石膏ボード厚9.5mm張り
備 考	





室 名	エントランスホール
床	塩ビシート厚2.0mm張り(重歩行シート)
巾 木	ワイド巾木 H300
壁	石膏ボード厚9.5mm下地 ビニールクロス張り
天 井	LGS下地 化粧石膏ボード厚9.5mm張り
備 考	

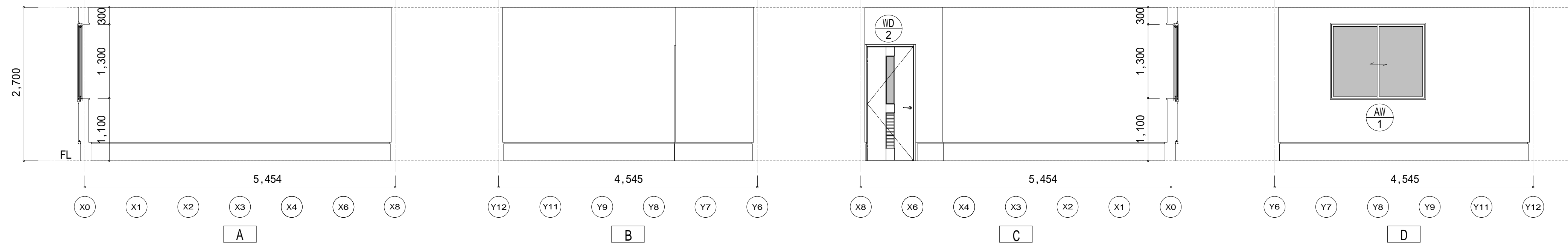


室 名	事務室
床	塩ビシート厚2.0mm張り(重歩行シート)
巾 木	ワイド巾木 H300
壁	石膏ボード厚9.5mm下地 ビニールクロス張り
天 井	LGS下地 化粧石膏ボード厚9.5mm張り
備 考	ミニキッチン

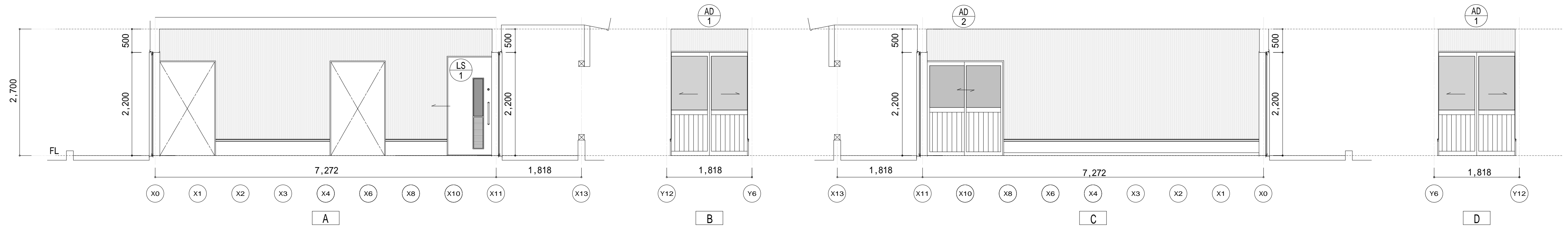


工 事 名	鶴岡市人工芝グラウンド整備工事(管理棟)	図 番	A 23
		縮 尺	1: 50 (A1) 1: 100 (A3)
図 面 名	展開図 2	日 付	R8.03.24
鶴岡市日出一丁目16-1 山形県知事登録(1311)第1815号 株式会社 菅原設計 1級建築士 第169159号 菅原英介 TEL 0235(22)1848 FAX 0235(22)1840		校 閲	製 図
			

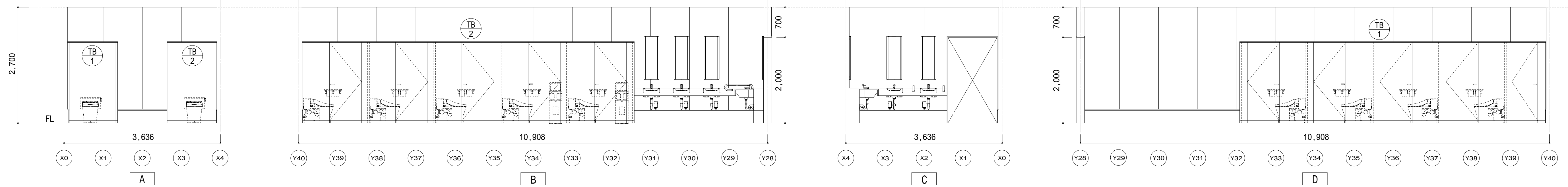
室 名	女子更衣室
床	塩ビシート厚2.0mm張り(重歩行シート)
巾 木	ワイド巾木 H300
壁	石膏ボード厚9.5mm下地 ビニルクロス張り
天井	LGS下地 化粧石膏ボード厚9.5mm張り
備 考	



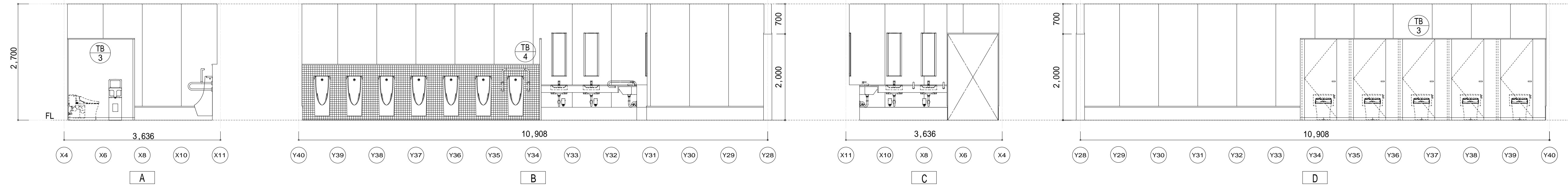
室 名	屋外通路
床	塩ビシート厚2.0mm張り(重歩行シート)
巾 木	コンクリート打放し 弾性リシン(砂壁状)吹付
壁	金属デザイン鋼板張り 下張り:石膏ボード19.5+透湿防水シート
天井	杉板目透し張り厚15.0 木材保護塗料塗り(IP)
備 考	



室 名	女子トイレ
床	磁器質床タイル張り(150角)
巾 木	ワイド巾木 H300
壁	耐水合板厚12mm下地 化粧ケイ酸カルシウム板厚6.0mm張り
天井	LGS下地 化粧石膏ボード厚9.5mm張り
備 考	配管フィンク及び甲板、トイレブース 掃除用ブース、ダブルフック (機械設備工事)手洗いカウンター 化粧鏡、ペーパーチェア 幼児用便座(折りたたみ式)

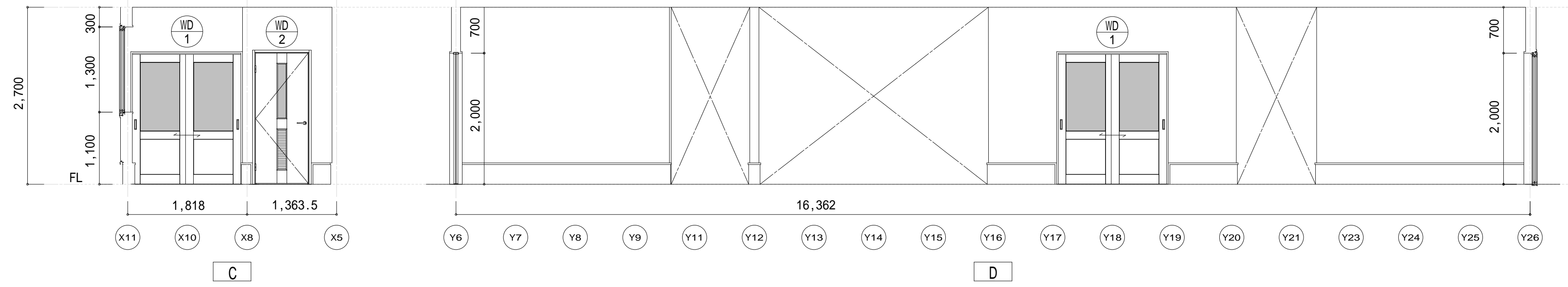
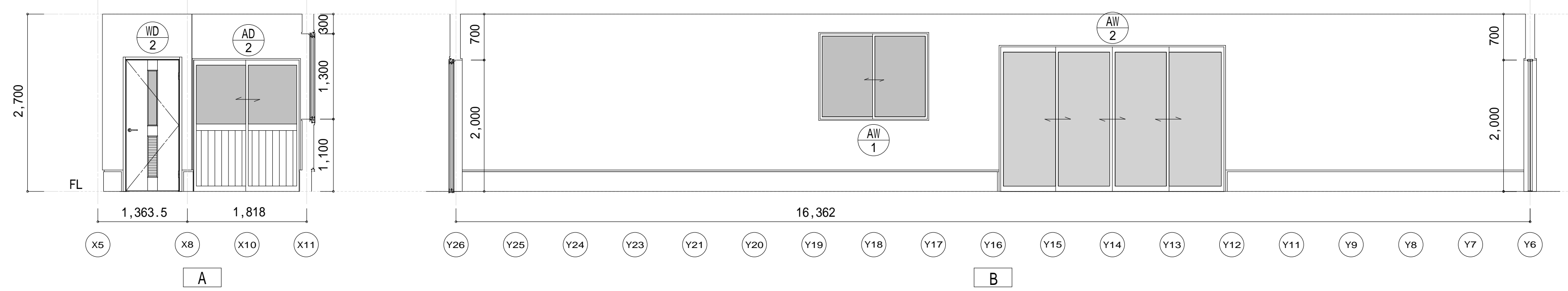


室 名	男子トイレ
床	磁器質床タイル張り(150角)
巾 木	ワイド巾木 H300
壁	耐水合板厚12mm下地 化粧ケイ酸カルシウム板厚6.0mm張り 耐水合板厚12mm下地 ライニング:50角モザイクタイル張り
天井	LGS下地 化粧石膏ボード厚9.5mm張り
備 考	配管フィンク及び甲板、トイレブース トイレブース、ダブルフック (機械設備工事)手洗いカウンター 化粧鏡、ペーパーチェア 幼児用便座(折りたたみ式)

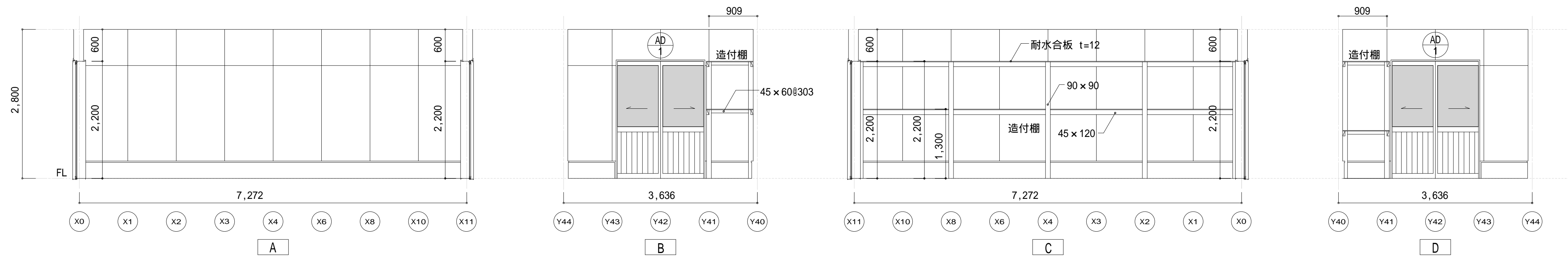


工 事 名	鶴岡市人工芝グラウンド整備工事(管理棟)	図 番	A 24
		縮 尺	1:50 (A1) 1:100 (A3)
図 面 名	展開図 3	日 付	R8.03.24
鶴岡市日出一丁目16-1 山形県知事登録(1311)第1815号 株式会社 菅原設計 1級建築士 第169159号 菅原英介 TEL 0235(22)1848 FAX 0235(22)1840		校 閲	製 図

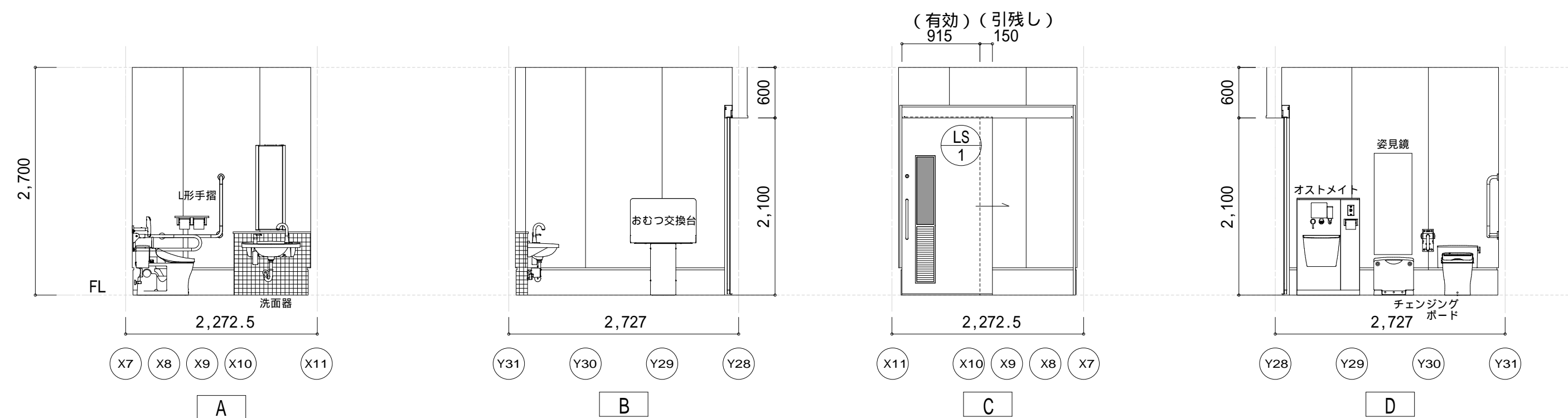
室 名	廊 下
床	塩ビシート厚2.0mm張り(重歩行シート)
巾 木	ワイド巾木 H300
壁	石膏ボード厚9.5mm下地 ビニールクロス張り
天 井	L.G.S下地 化粧石膏ボード厚9.5mm張り
備 考	

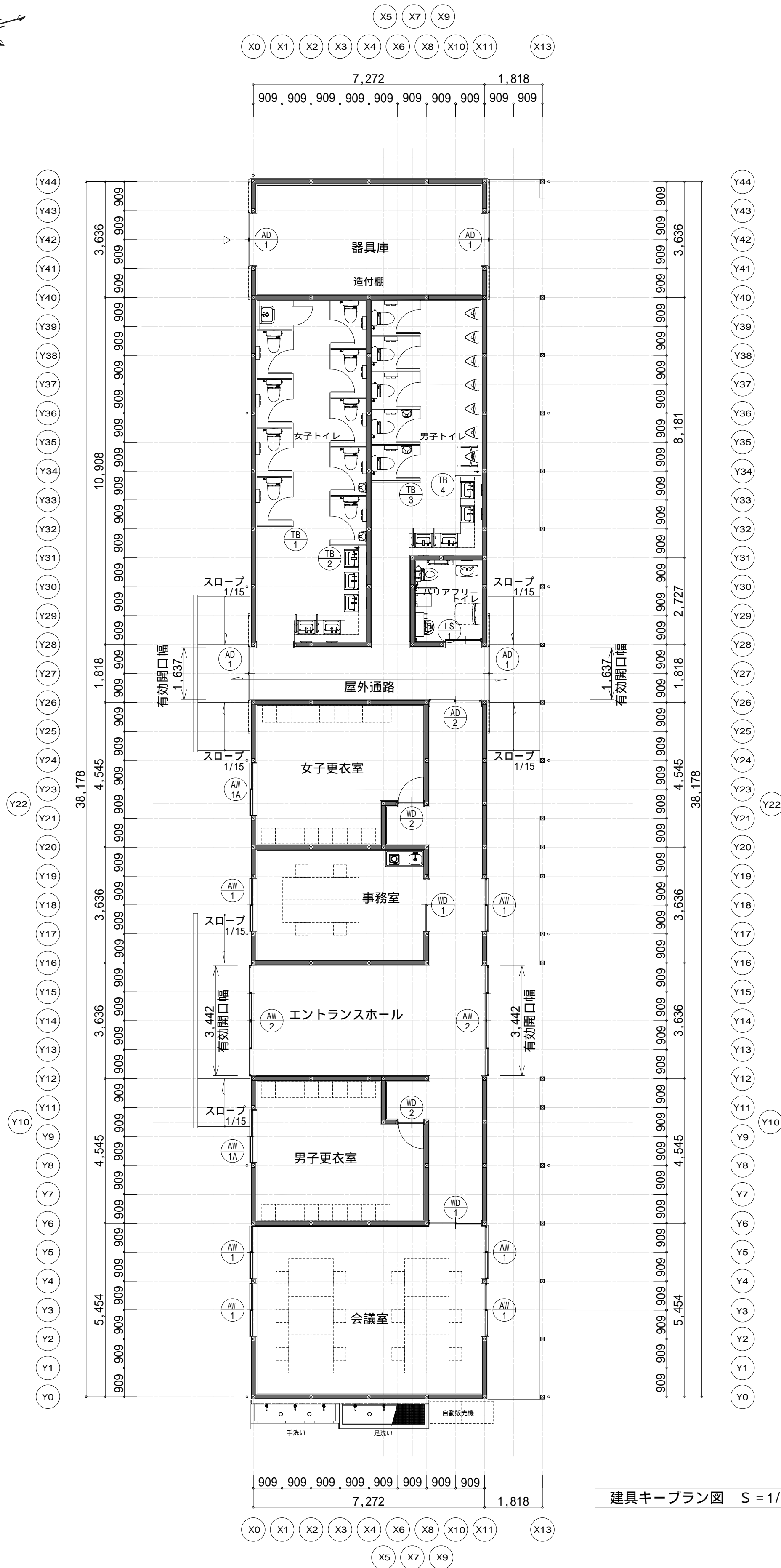
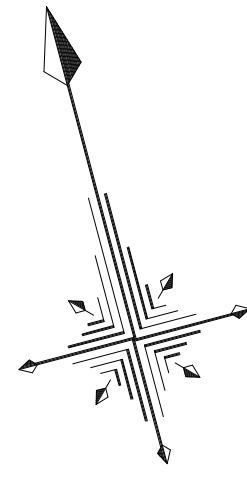


室 名	器具庫
床	塩ビシート厚2.0mm張り(重歩行シート)
巾 木	ワイド巾木 H300
壁	耐水合板厚12mm下地 化粧ケイ酸カルシウム板厚6.0mm張り
天 井	L.G.S下地 化粧石膏ボード厚9.5mm張り
備 考	造付棚



室 名	バリアフリートイレ
床	塩ビシート厚2.0mm張り(重歩行シート)
巾 木	ワイド巾木 H300
壁	耐水合板厚12mm下地 化粧ケイ酸カルシウム板厚6.0mm張り 耐水合板厚12mm下地 ライニング:50角モザイクタイル張り
天 井	L.G.S下地 化粧石膏ボード厚9.5mm張り
備 考	配管テイク及び甲板、ダブルフック (機械設備工事) 姿見鏡 L型手摺、跳ね上げ式手摺、 オストメイト、おむつ交換台 チェンジングボード





建具キープラン図 S = 1/100

建具表 特記事項

- 金属製建具
 ・サッシのカラーは協議の上決定する
 ・網戸はガラス繊維入合成樹脂製とする
 ・特記なきアルミパネルは断熱パネル t = 11 (3 + 5 + 3) 程度とする
 ・引違い窓のクレセント位置はFL+1500以下とする
 ・寸法は枠内法寸法を示す

- 既製品ドア
 ・材質仕上、ガラス、建具金物は協議の上決定する
 ・寸法は建具寸法を示す

工 事 名	鶴岡市人工芝グラウンド整備工事(管理棟)	図 番	A 25
図 面 名	建具位置図、法規チェックリスト(採光・換気・排煙)	縮 尺	1:100 (A1) 1:200 (A3)
	鶴岡市日出一丁目16-1 山形県知事登録(1311)第1815号	日 付	R8.03.24
	株式会社 菅原 設計	校 閲	製 図
	1級建築士 第169159号 菅原 英介		
	TEL 0235(22)1848 FAX 0235(22)1840		

- 凡 例
 建具記号
 A D アルミドア
 A W アルミ窓
 L S 軽量鉄骨ドア
 W D 既製品ドア
 T B トイレブース

- 金属製建具(ビル用)
 耐風圧性 S-1 (800Pa)

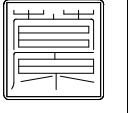

法チェック表 S=1:100

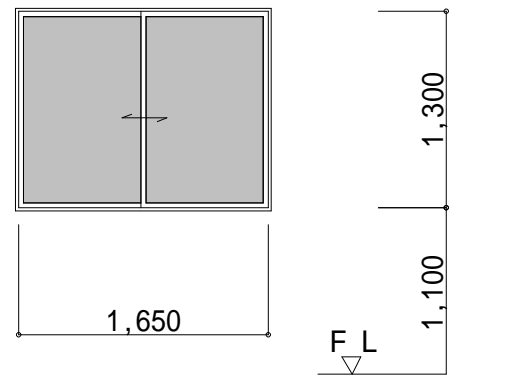
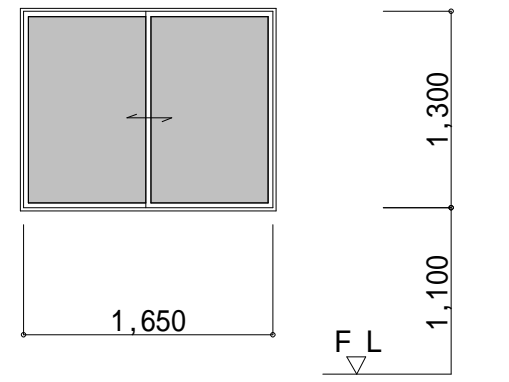
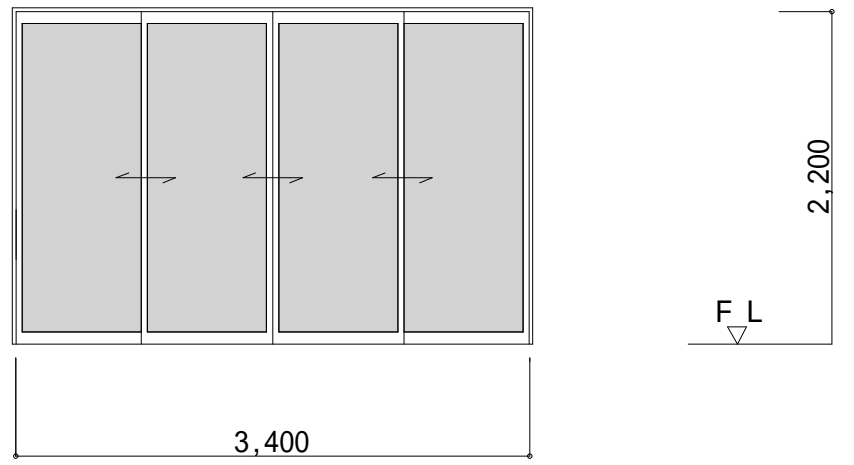
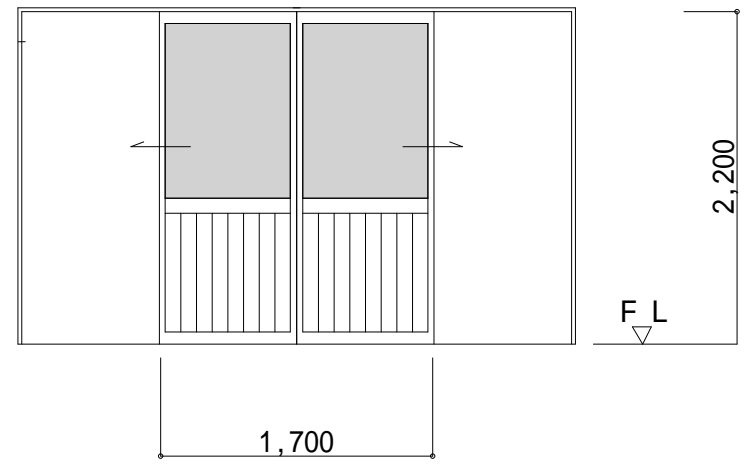
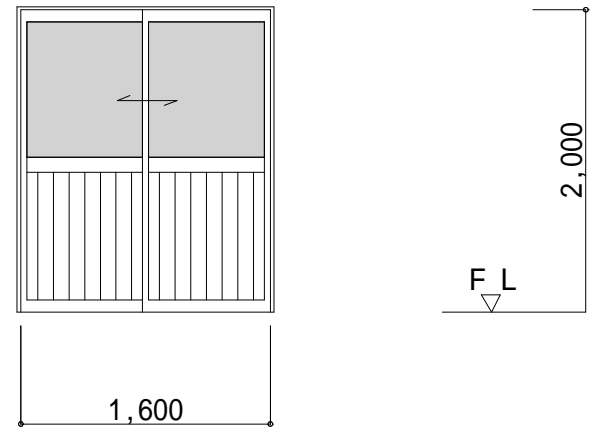
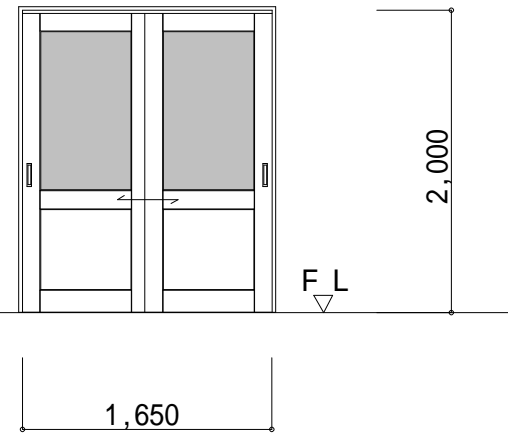
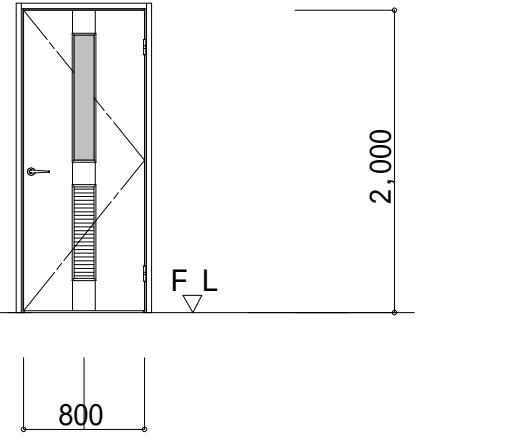
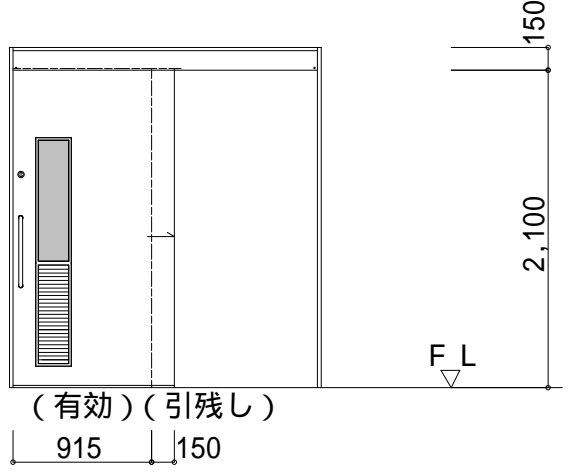
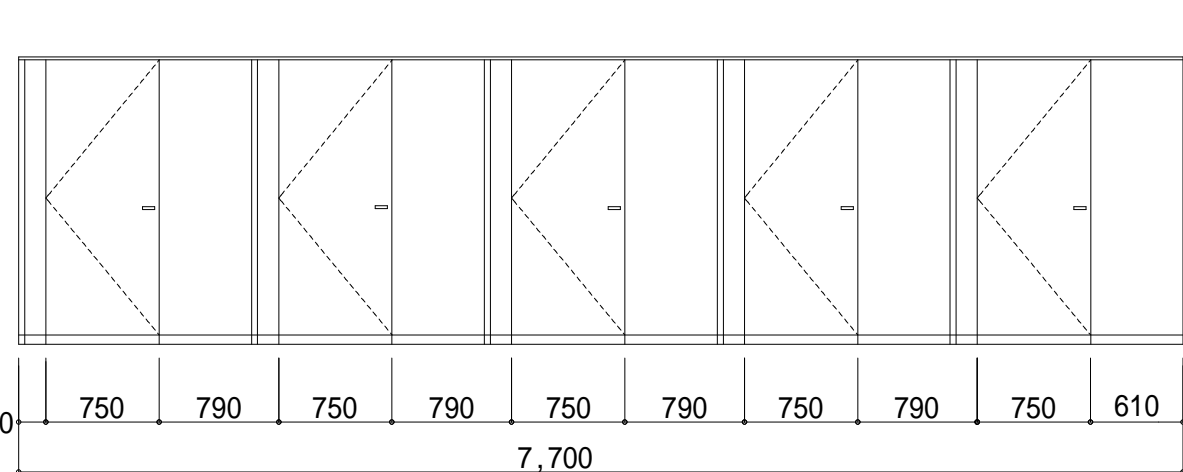
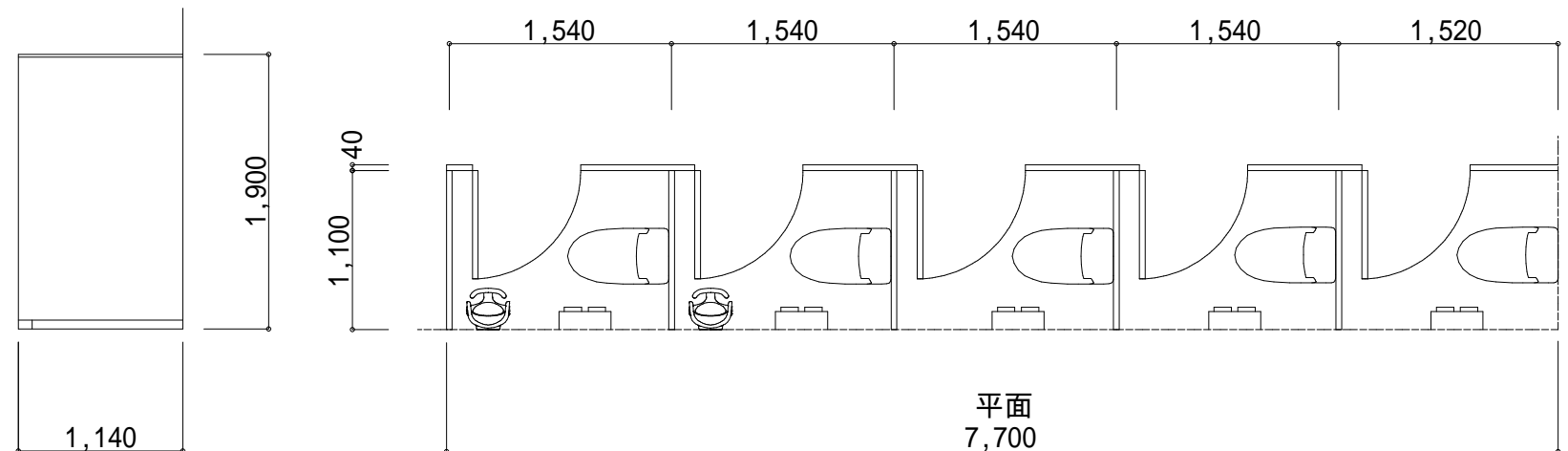
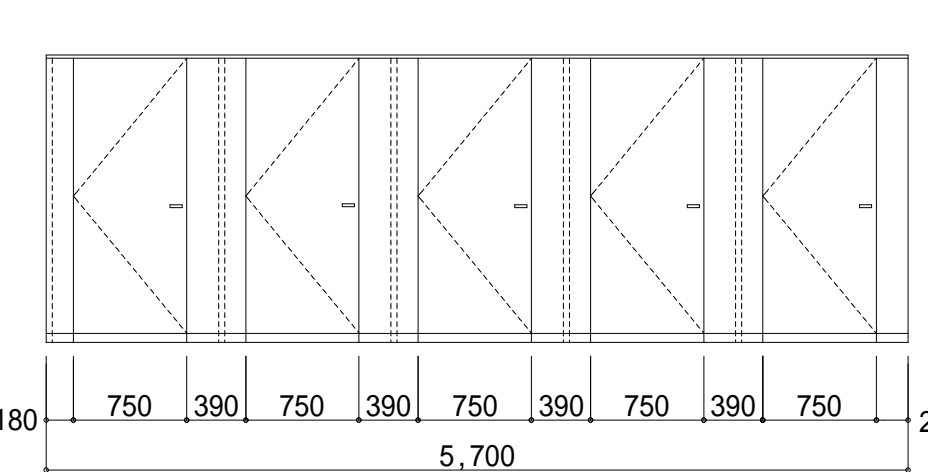
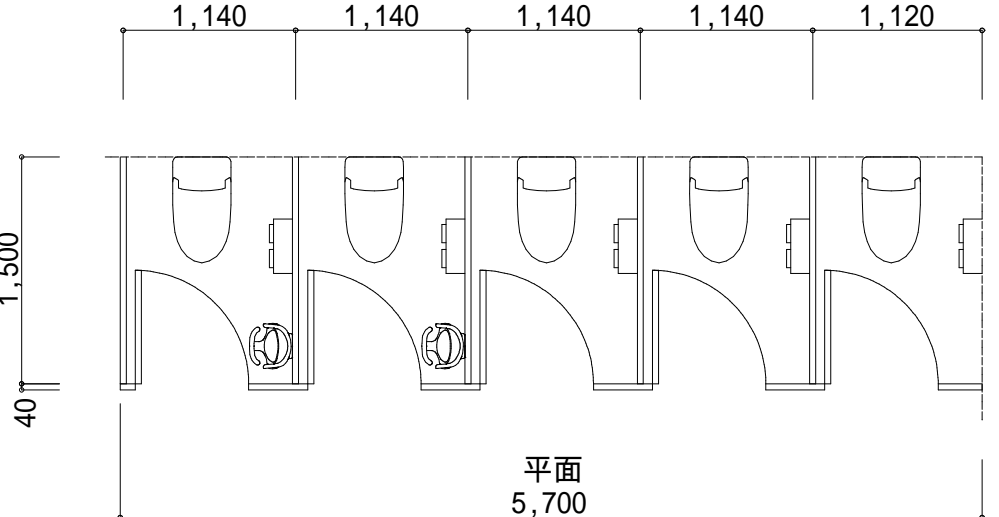
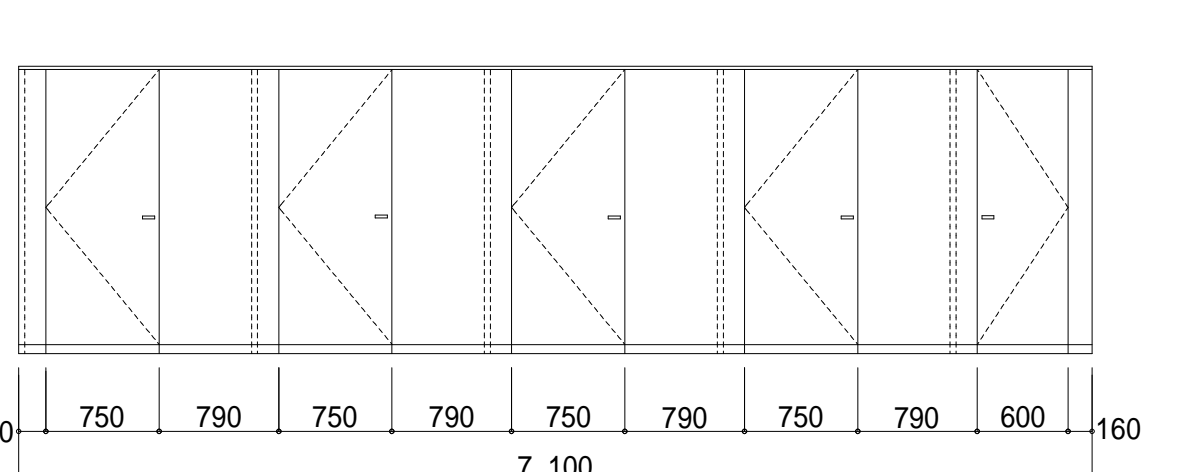
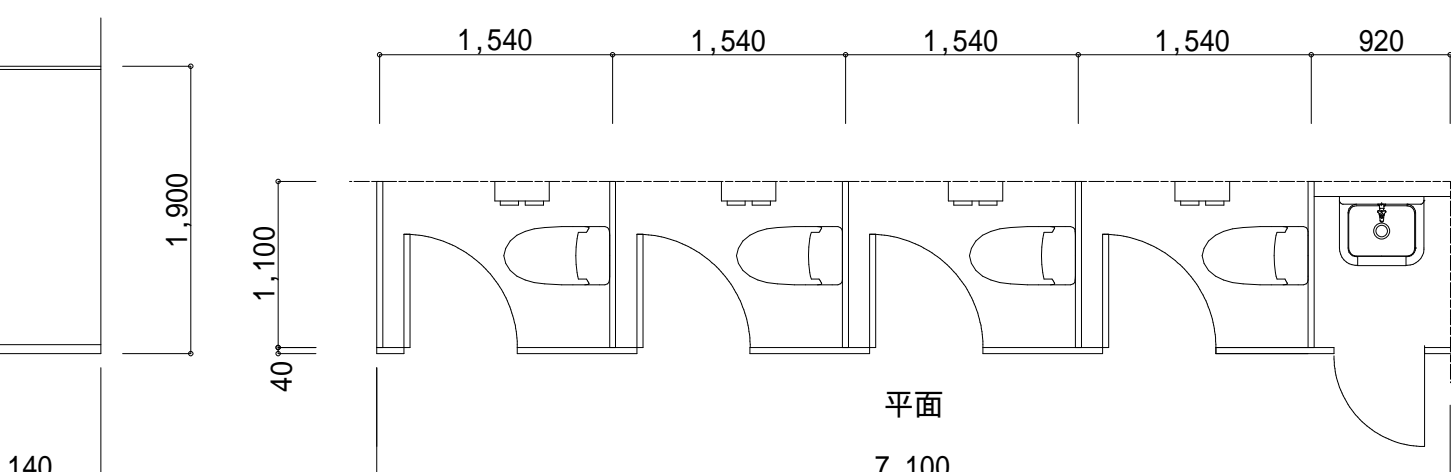
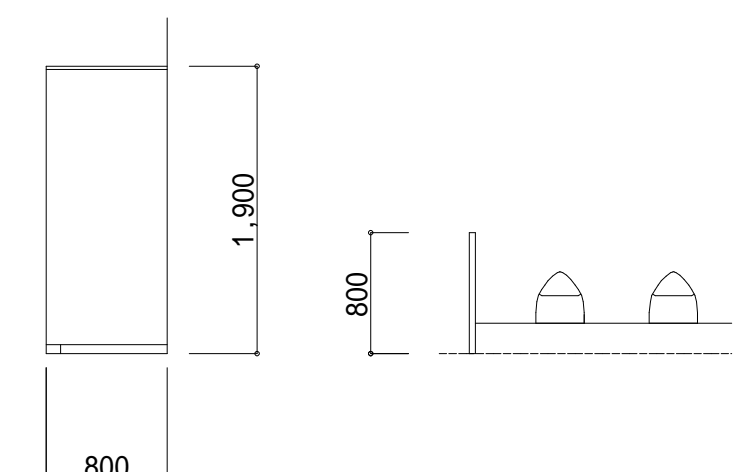
・建具開口W = スパンL - (柱寸法 + 建具枠25 × 2)

室名 床面積	形状	採光検討	換気検討	排煙検討
会議室 39.66㎡		L : 39.66 × 1/7 = 5.67 A : 採光補正係数=3.00 L A : 3 × (W=1.648-0.043*2-0.038) × (H=1.300-0.044-0.042) × 4 = 2.20 5.67 OK	V : 39.66 × 1/20 = 1.98 V A : (W=1.648/2-0.038/2) × H=1.300 × 4 = 4.18 1.98 OK	S : 39.66 × 1/50 = 0.79 S A : (W=1.648/2-0.038/2) × H=0.500 × 4 = 1.61 0.79 OK
事務室 19.83㎡		L : 19.83 × 1/7 = 2.83 A : 採光補正係数=3.00 L A : 3 × (W=1.648-0.043*2-0.038) × (H=1.300-0.044-0.042) = 5.55 2.83 OK	V : 19.83 × 1/20 = 0.99 V A : (W=1.648/2-0.038/2) × H=1.300 = 1.04 0.99 OK	S : 19.83 × 1/50 = 0.3966 S A : (W=1.648/2-0.038/2) × H=0.50 = 0.4025 0.3966 OK
エントランスホール 19.83㎡		L : 19.83 × 1/7 = 2.83 A : 採光補正係数=3.00 L A : 3 × (W=3.442-0.061*4-0.051*2) × (H=2.200-0.089-0.052) = 18.86 2.83 OK	V : 19.83 × 1/20 = 0.99 V A : (W=3.400/2-0.051) × H=2.200 = 3.62 0.99 OK	S : 19.83 × 1/50 = 0.40 S A : (W=3.400/2-0.051) × H=0.300 = 0.49 0.40 OK

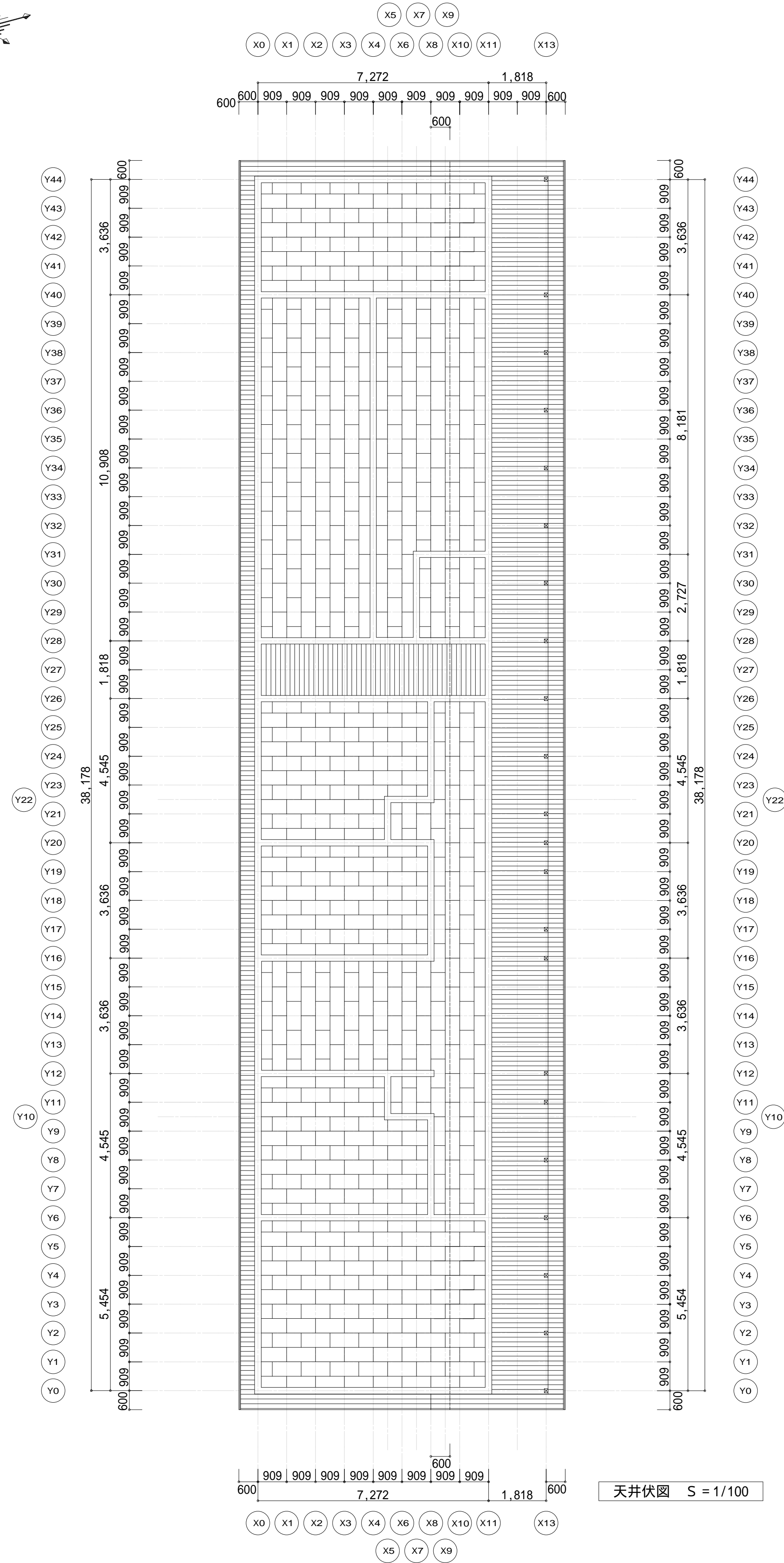
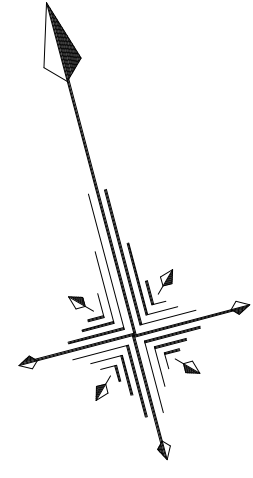
有窓階・無窓階算定書
 名 称 鶴岡市人工芝グラウンド整備工事(管理棟)

階	階床面積 (A)	必要開口部面積A/30	有効開口部面積	判 定
1	277.63 ㎡	12.59㎡	22.16 ㎡	(有窓)・無窓
	建 具 開口部 床からの	W × H × 数	面 積	ガラスの
	記 号 位 置 高さ(m)		小 計 (㎡)	厚 さ (mm)
	AW-2	3.400 × 2.20 × 2	1.0 14.96	Low-E + A16 + FL3
	AD-1	0.00 1.637 × 2.20 × 2	1.0 7.20	T5
				アルミ製・引違い窓
				アルミ製・両引き戸

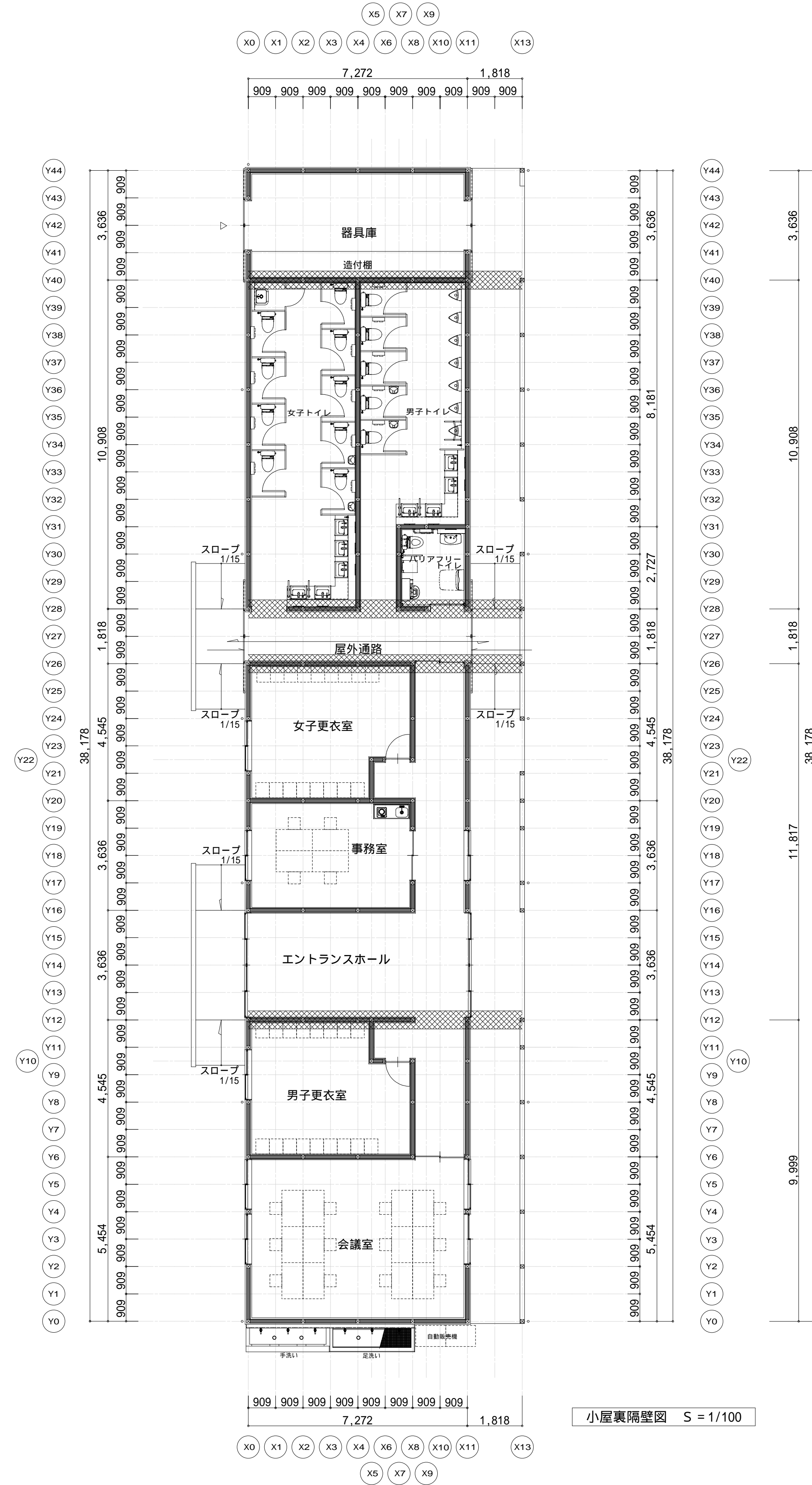
工 事 名	鶴岡市人工芝グラウンド整備工事(管理棟)	図 番	A 2 6
		縮 尺	1 : 50 (A1) 1 : 100 (A3)
図 面 名	建 具 表	日 付	R8.03.24
鶴岡市日出一丁目16-1 山形県知事登録(1311)第1815号 株式会社 菅原設計 1級建築士 第169159号 菅原英介 TEL 0235(22)1848 FAX 0235(22)1840		校 閲	製 図
		 	

記号	数量	AW - 1 (住宅) × 6	AW - 1A (住宅) × 2	AW - 2 (住宅) × 2	AD - 1 (ビル) × 4	AD - 2 (住宅) × 1
箇所		会議室、事務室、廊下	男子更衣室、女子更衣室	エントランスホール、廊下	屋外通路、用具庫	屋外通路
規格・寸法						
形式		アルミ製・引違窓 半外付	アルミ製・引違窓 半外付	アルミ製・引違窓 半外付 (4枚建)	アルミ製・両引き戸 外付	アルミ製・引違戸 半外付
見込		80	80	80	80	80
材質仕上		アルミ(カラー)+樹脂	アルミ(カラー)+樹脂	アルミ(カラー)+樹脂	アルミ(カラー)	アルミ(カラー)+樹脂
ガラス		Low-E(屋外側)FL3+A16(中空層)+FL3(屋内側) (複層ガラス)	Low-E(屋外側)FL3+A15(中空層)+F4(屋内側) (複層ガラス)	Low-E(屋外側)FL3+A16(中空層)+FL3(屋内側) (複層ガラス)	屋外通路-T5強化ガラス(透明)、用具庫-TF4強化ガラス(型板)	Low-E(屋外側)+A16(中空層)+FL3(屋内側) (複層ガラス)
建具金物		付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式、下枠SUS、シリンダー鎌錠	付属金物一式、シリンダー鎌錠
備考		網戸(合成樹脂)	網戸(合成樹脂)	網戸(合成樹脂)	腰:断熱パネル、アルミ額縁	腰:断熱パネル
記号	数量	WD - 1 × 2	WD - 2 × 2		LS - 1 × 1	
箇所		事務室、会議室	男子更衣室、女子更衣室		バリアフリートイレ	
規格・寸法						
形式		額入り引違フラッシュ戸(木質既製品建具)	額入り片開き戸(木質既製品建具)		ハンガー式額入り引き戸(自動閉鎖式)	
見込					30 枠220	
材質仕上		メーカー仕様(木質枠)	メーカー仕様(木質枠)		SOP-2	
ガラス		メーカー仕様	メーカー仕様		TF4(200×800)強化ガラス、ガラリ(200×670)	
建具金物		メーカー仕様	メーカー仕様、ドアチェック、ガラリ付(150×600程度)		引棒、上吊金物一式、表示錠、大型サムターン、他附属品一式	
備考		シリンダー錠、ノンケーシング枠	シリンダー錠、ノンケーシング枠			
記号	数量	TB - 1 × 1			TB - 3 × 1	TB - 3 × 1
箇所		女子WC			男子WC	男子WC
規格・寸法						
形式		トイレブース			トイレブース	トイレブース
見込		40			40 (キッズチェア取付金物部補強木)	40
材質仕上		メラミン樹脂化粧板張り			メラミン樹脂化粧板張り	メラミン樹脂化粧板張り
ガラス		笠木:アルミ押出型材 巾木:ステンレス 小口:アルミエッジ			笠木:アルミ押出型材 巾木:ステンレス 小口:アルミエッジ	笠木:アルミ押出型材 巾木:ステンレス 小口:アルミエッジ
建具金物		ラバトリヒンジ、非常時解除装置付表示錠、戸当り帽子掛			ラバトリヒンジ、非常時解除装置付表示錠、戸当り帽子掛	ラバトリヒンジ、非常時解除装置付表示錠、戸当り帽子掛
備考						
記号	数量	TB - 2 × 1			TB - 4 × 1	TB - 4 × 1
箇所		女子WC			男子WC	男子WC
規格・寸法						
形式		トイレブース			トイレブース	トイレブース
見込		40			40	40
材質仕上		メラミン樹脂化粧板張り			メラミン樹脂化粧板張り	メラミン樹脂化粧板張り
ガラス		笠木:アルミ押出型材 巾木:ステンレス 小口:アルミエッジ			笠木:アルミ押出型材 巾木:ステンレス 小口:アルミエッジ	笠木:アルミ押出型材 巾木:ステンレス 小口:アルミエッジ
建具金物		ラバトリヒンジ、非常時解除装置付表示錠、戸当り帽子掛			ラバトリヒンジ、非常時解除装置付表示錠、戸当り帽子掛	ラバトリヒンジ、非常時解除装置付表示錠、戸当り帽子掛
備考						

凡例	符号	下地	仕上	廻り縁
	(A)	LGS-19	化粧石膏ボード t=9.5	塩ビ製
	(B)	木下地	軒裏：杉板目透し張り t=15 木材保護塗料塗り(WP)	
	(X)	天井点検口 600×600 アルミ鋸縁枠 (6ヶ所) 位置は打合せによる		



小屋裏隔壁、両面石膏ボード(15)張り(準耐火45分)



工事名	鶴岡市人工芝グラウンド整備工事(管理棟)	図番	A 27
縮尺	1:100 (A1) 1:200 (A3)	日付	R8.03.24
図面名	天井伏図、小屋裏隔壁図	校閲	製図
鶴岡市日出一丁目16-1 山形県知事登録(1311)第1815号		株式会社 菅原設計	
1級建築士 第169159号 菅原英介		TEL 0235(22)1848 FAX 0235(22)1840	

工 事 名 鶴岡市人工芝グラウンド整備工事(管理棟)
縮尺 NoScale
図 面 名 構造設計特記仕様書
日付 R8.03.24
校 閲 製 図
株式会社 菅原 設 計
1 級 建 築 士 第 169159 号 菅 原 英 介
TEL 0235(22)1848 FAX 0235(22)1840

構造設計標準仕様

適用 は 印を記入する。

1. 建築物の構造内容
(1) 建築場所
(2) 工事種別 新築 増改築 改築
(3) 構造設計一級建築士の関与 必要 必要としない
(4) 構造種別
(5) 階 数
(6) 主要用途 管理事務所
(7) 屋上付属物
(8) 特別な荷重
(9) 付帯工事
(10) 増築計画
(11) 構造計算ルート

2. 使用建築材料表・仕様構造材料一覧表

Table with 6 columns: 適用箇所, 種類, 設計基準強度, 品質基準強度, スランプ, 備考. Lists materials like concrete, steel, etc.

(2) コンクリートブロック (JIS A 5406)
A種 B種 C種 厚 100, 120, 150, 190, 使用箇所

Table with 5 columns: 種類, 径, 使用箇所, 継手工法. Lists reinforcement types like 異形鉄筋, 高強度せん断補強筋.

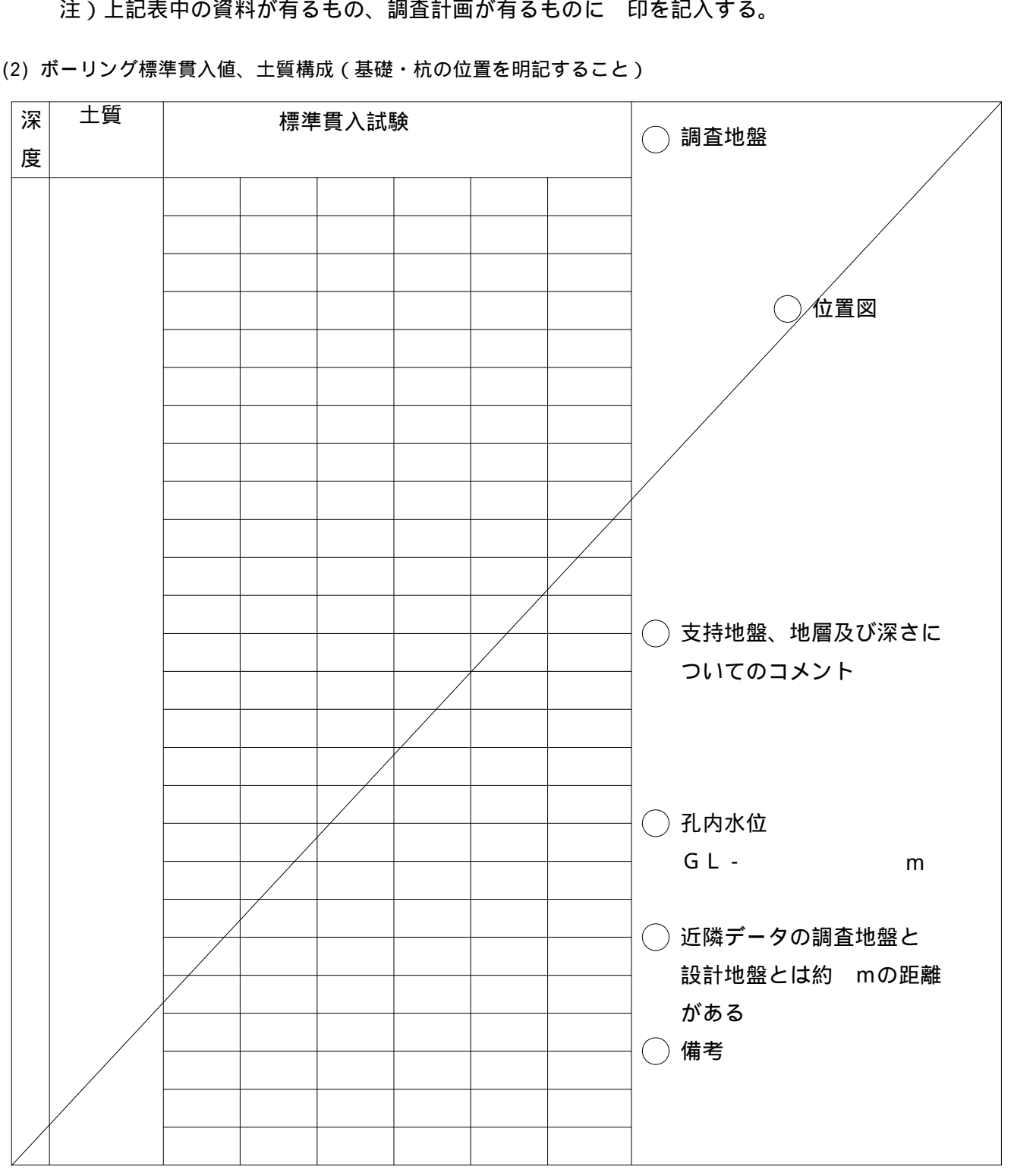
Table with 5 columns: 種類, 使用箇所, 現場溶接, JIS規格・認定番号等. Lists welding materials like 溶接材料.

(5) ボルト
高力ボルト
F10T (JIS B 1186) S10T 認定番号
ボルト (JIS B 1180) M 12 M 4.8 (4T)
アンカーボルト (センター評定工法は別途記載)

Table with 4 columns: 材種, 形式 厚 その他, 使用箇所, 仕様・構造. Lists materials like ALC, 折版, etc.

3. 地盤
(1) 地盤調査資料と調査計画
(2) ボーリング標準費入値、土質構成 (基礎・杭)の位置を明記すること

Table with 7 columns: 調査項目, 資料有, 調査計画, 調査項目, 資料有, 調査計画, 調査項目, 資料有り調査計画. Lists survey items like ボーリング調査, 静的貫入試験.



注) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長さ、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある

4. 地業工事

(1) 直接基礎
(2) 地盤改良
(3) 基礎杭 支持層

Table with 4 columns: 杭種, 材 料, 施工法, 備考. Lists pile types like RC, PHC, 鋼管.

杭仕様
() 施工計画書承認 () 杭施工結果報告書

Table with 5 columns: 杭径 (mm), 設計支持力 (kN), 杭の先端の深さ (m), 本数, 特記事項. Lists pile specifications.

5. 鉄筋コンクリート工事 (施工方法等計画書)

本構造設計特記仕様はコンクリートの設計基準強度(Fc)が 38N/mm2以下に適用し、鉄筋の材種はSD390以下に適用する。

(1) コンクリート
コンクリートはJIS A 5308(レディーミクストコンクリート)に適合するJIS認証工場の製品とし、施工に関しては標準図に記載されている事項を除き、H.25公共仕、JASS 5の順に従う。
(2) 鉄 筋
鉄筋はJIS G 3112の規格品を標準とする。施工は、標準図に記載されている事項を除き、コンクリートと同様に、H.25公共仕、JASS 5の順による。

Table with 4 columns: 鉄筋継手工法, 継手の位置等の設計条件による仕様・等級, 鉄筋の径. Lists rebar connection methods like 重ね継手, 圧接継手.

注) 1) 以外の部位に設ける継手は、平成12年告示第1463号ただし書きに基づき、日本鉄筋継手協会、日本建築センター等の認定 評定等を取得した継手工法の等級で、構造計算にあたって『鉄筋継手使用基準(建築物の構造関係技術基準解説書2020)』によって検討した部材の条件・仕様によること
D19未満は、すべて重ね継手とする。
継手部分の施工要領は (社) 日本鉄筋継手協会『鉄筋継手工事標準仕様書』(ガス圧接継手工事、溶接継手工事、機械式継手工事)による。

(3) 型 枠

Table with 4 columns: セメントの種類, せき板, 支 柱. Lists concrete types and formwork materials like 普通セメント, スラブ下, スラブ上.

注) 1 片持ばり、庇、スパン9.0m以上のはり下は、工事監理者の指示による。
注) 2 大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
注) 3 支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
注) 4 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注) 5 支柱の盛りかえは、小ばりが終つてから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払つて盛りかえをしてはならない。
注) 6 直上階に著しく大きい積載荷重がある場合においては、支柱(大梁の支柱を除く)の盛りかえを行わないこと。
注) 7 支柱の盛りかえは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動又は衝撃を与えないように行うこと

6. 鉄骨工事 (施工方法等計画書)

Table with 4 columns: 大臣認定のための性能評価(グレード), 建築物の規模, 使用鋼材. Lists specifications for steel materials like H, M, R, J grades.

(2) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
(社)日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」
鉄骨製作管理技術者登録機構「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」

(3) 工事監理者の承認を必要とするもの
製作工場 製作要領書 工作図 施工計画書
認定または登録工場(大臣認定 S H M R) グレード 都登録 T1 T2 T3 ランク
材料規格証明書、または試験成績書
鋼材 高力ボルト 口特殊ボルト 口頭付スタッフ
(社)日本鋼構造協会「建築構造用鋼材の品質証明ガイドライン」の規格証明方法、またはミルシート社内検査表

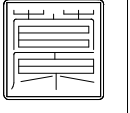

Table with 5 columns: 検査箇所, 検査方法, 検査率又は検査数, 備考. Lists inspection items like 完全溶込み溶接部, 内質 硬さ試験.

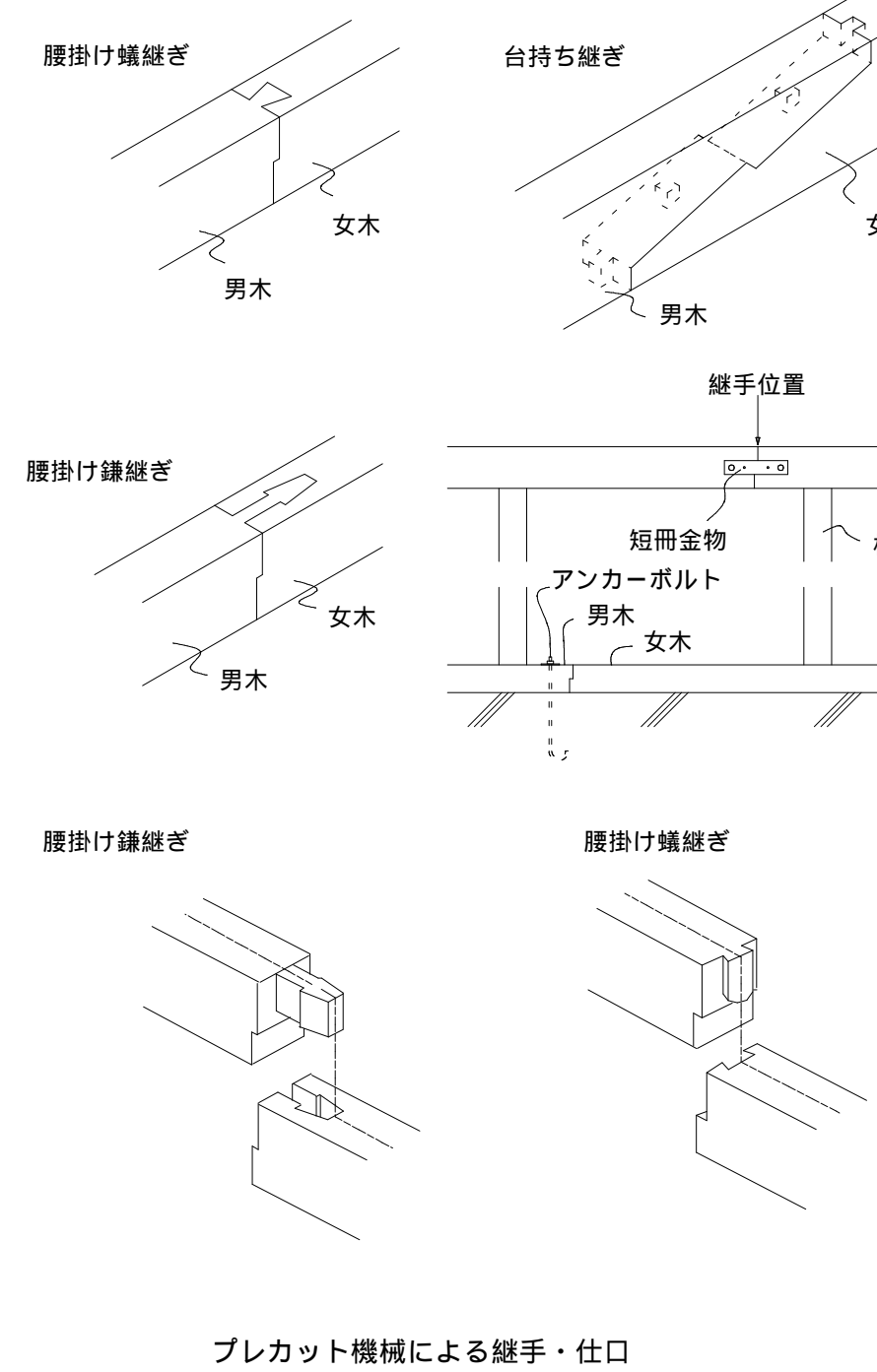
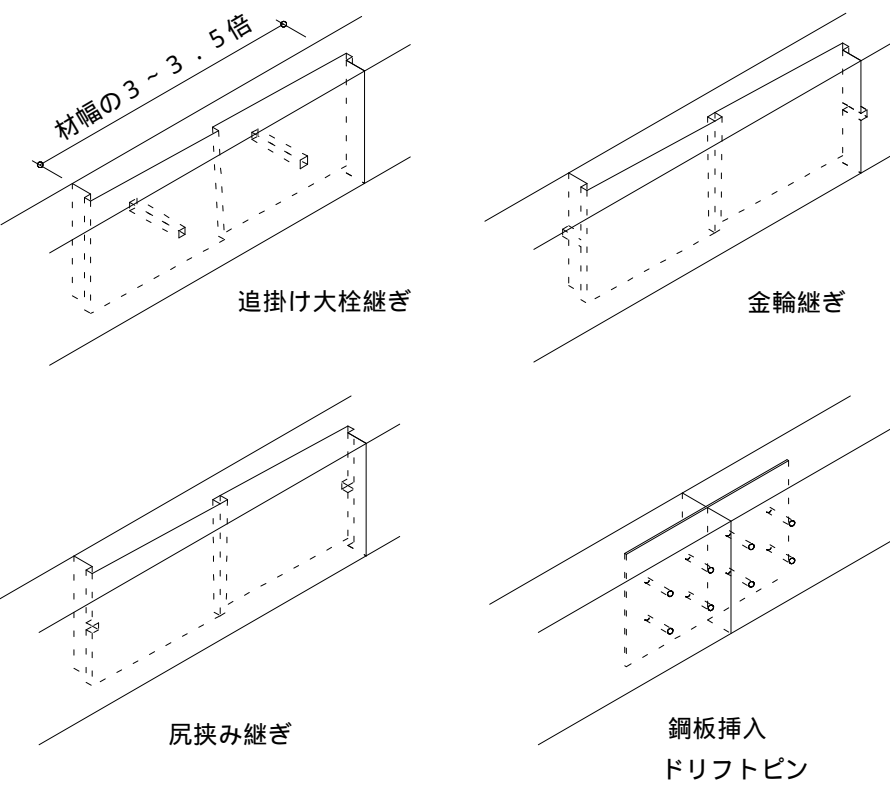
注2) 知事が定めた重大な不具合が発生した場合は、是正前に対応策を建築主事等に報告すること
高力ボルトの検査(検査結果は後日工事監理者に報告すること)
防錆塗装
防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。
(8) 耐火被覆の材料

7. 設備関係

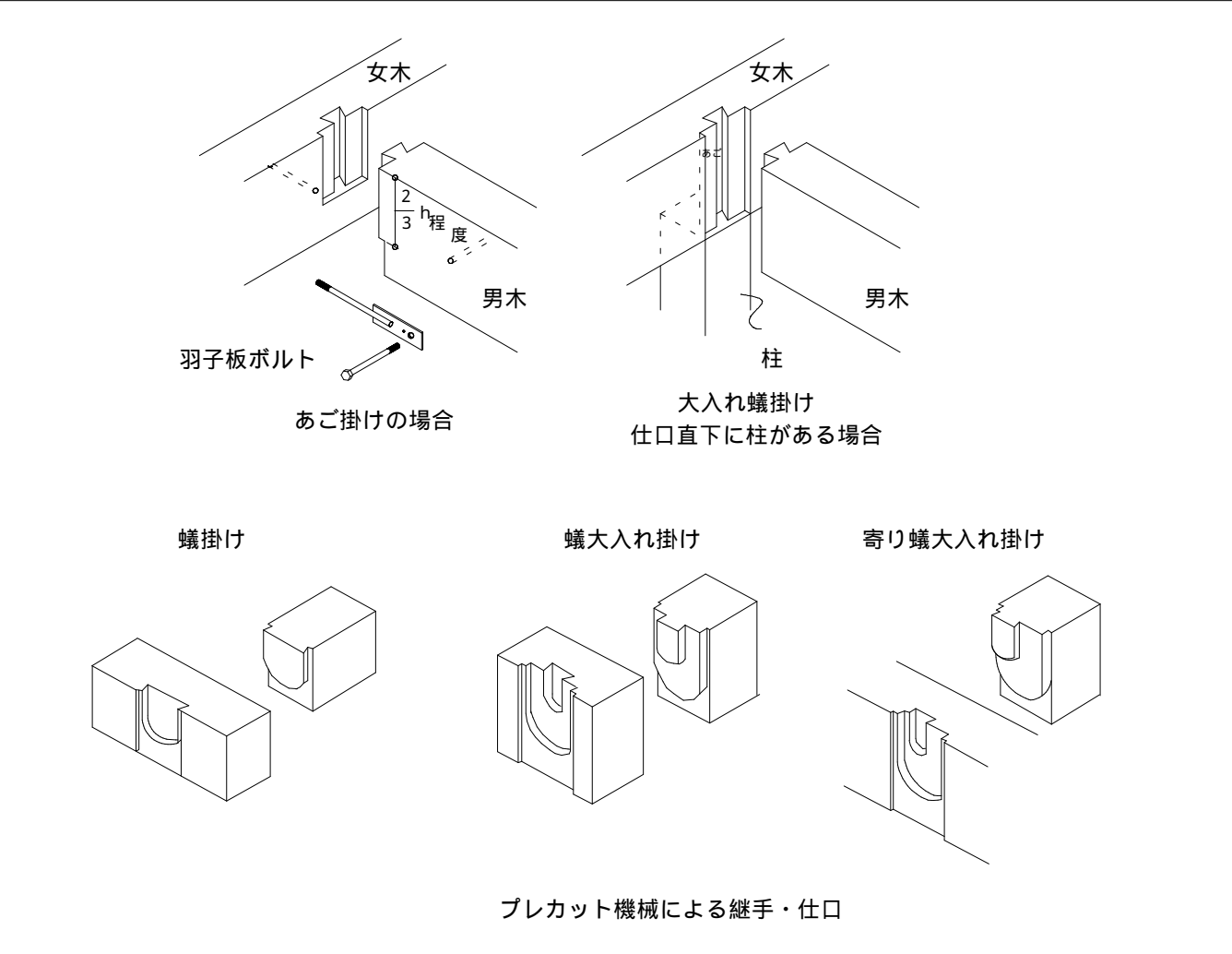
建築設備の構造は、構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。
建築設備の支持構造部および緊結金物には、錆止め等、防腐のための有効な措置を講じること。
煙突は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とし鉄筋コンクリート造とすること。
設備配管は、地震時等の建物変形に追従できること。また、地震力等に対して適切に支持されていること。
設備機器の架台及び基礎については、風圧・地震力等に対して構造耐力上安全であること。
エレベーターの駆動装置等は、構造体に安全に緊結されていること。
特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。
床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を管径の3倍以上かつ5cm以上を原則とする。

8. その他
諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
原則として各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い、工事監理者に報告すること。必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

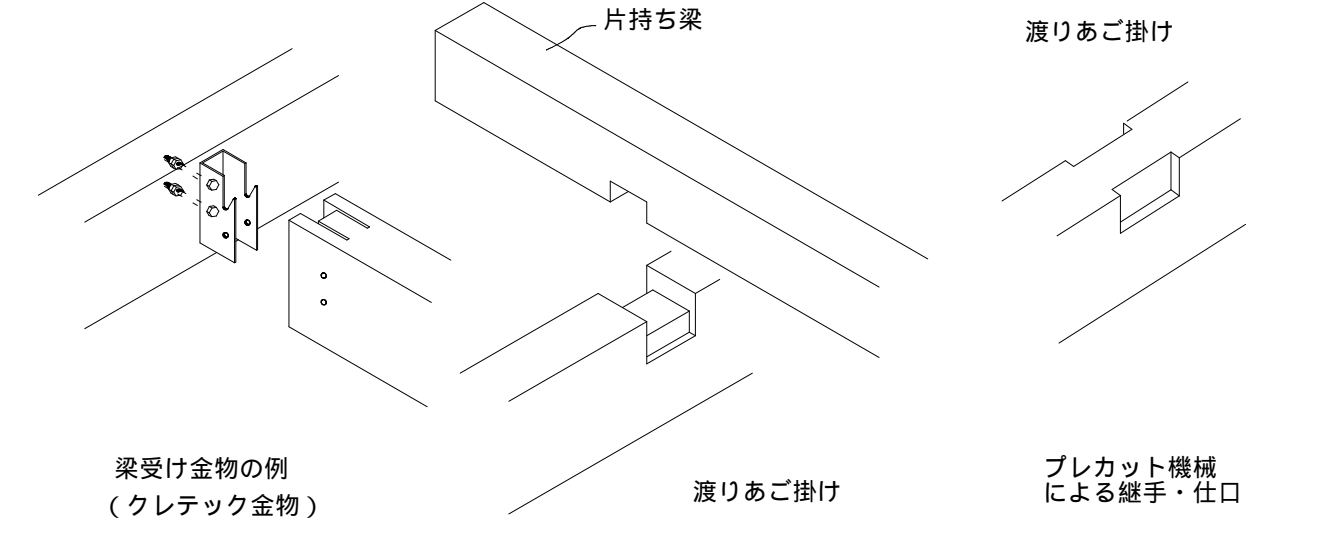
工 事 名	鶴岡市人工芝グラウンド整備工事(管理棟)	図 番	S 0 3
		縮 尺	NoScale
図 面 名	木質工事特記仕様書 2	日 付	R8.03.24
	鶴岡市日出一丁目16-1 山形県知事登録(1311)第1815号	校 閲	製 図
	株式会社 菅原設計	 	
	1級建築士 第169159号 菅原英介 TEL 0235(22)1848 FAX 0235(22)1840		

木質工事特記仕様書(2)		7. 運搬・建て方	8. 軸組構法接合部の標準仕様																																																																																			
<p>4. 耐久性(防腐・防蟻・耐候処理)</p> <p>(1) 木材の防腐・防蟻処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高耐久材の使用(注:製材の心材あるいは心持ち材又は集成材) ・工場処理材(注:現場の加工、切断、穿孔箇所等は、現場処理に準じる) <ul style="list-style-type: none"> JAS保存処理材: K5 K4 K3 K2 K1 AQ認証保存処理材: 1種 2種 3種 ・現場処理(注:接合部、亀裂部、コンクリートなどに接する部分は、特に入念な処理を行う。給排水用塩化ビニル管に接する部分は、薬剤による損傷を防ぐため管を保護する。処理方法は、日本しるあり対策協会の標準仕様書に準じる。) ・塗布 吹付 浸漬 <p>特記無き場合は、処理量: 、処理回数:2回 300 ml/m² 使用基材: 日本しるあり対策協会または日本木材保存協会の認定品とする</p> <table border="1" data-bbox="261 674 715 762"> <thead> <tr> <th>使用部位</th> <th>高耐久材</th> <th>工場処理剤</th> <th>現場処理剤</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土台</td> <td>ひば</td> <td>K3 ()</td> <td>塗布</td> </tr> <tr> <td>外周柱下部1m</td> <td>ひのき</td> <td>K3 ()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>水周り</td> <td>()</td> <td>K3 ()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>()</td> <td>K4 ()</td> <td>()</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 土壌処理</p> <p>防蟻薬剤による処理: 薬剤()</p> <p>特記無き場合は、日本しるあり対策協会または日本木材保存協会認定品、あるいはこれと同等以上の効力を有するものとする。</p> <p>防蟻薬剤による処理と同等以上の対策()</p> <p>土壌処理省略 北海道 東北 北陸</p> <p>注:処理範囲は、外周部布基礎の内側、内部布基礎の周辺20cm、束石等の周囲20cmを標準とし、処理方法は日本しるあり対策協会の標準仕様書に準じる。</p> <p>(3) 耐候処理(塗装)</p> <table border="1" data-bbox="261 1018 825 1150"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>色の有無</th> <th>塗料の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・造膜型、・含浸型</td> <td>・着色(色) ・透明</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・造膜型、・含浸型</td> <td>・着色(色) ・透明</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・造膜型、・含浸型</td> <td>・着色(色) ・透明</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・造膜型、・含浸型</td> <td>・着色(色) ・透明</td> </tr> </tbody> </table>	使用部位	高耐久材	工場処理剤	現場処理剤	土台	ひば	K3 ()	塗布	外周柱下部1m	ひのき	K3 ()	()	水周り	()	K3 ()	()	その他	()	K4 ()	()	部位	色の有無	塗料の種類		・造膜型、・含浸型	・着色(色) ・透明		・造膜型、・含浸型	・着色(色) ・透明		・造膜型、・含浸型	・着色(色) ・透明		・造膜型、・含浸型	・着色(色) ・透明	<p>・仕口、継手の各部に作用する応力を考慮し、部材の引き抜けが生じないように、原則として羽子板ボルトや木柱など、引張り抵抗を有する補強部材を併用する。</p> <p>・下記接合部の項目について2.2接合具に記載された仕様での施工を確認する。</p> <p>・接合部付近に節・目切れなどの欠点がある場合は、耐力を低減する、接合具の本数を増加するなど監理者と協議して承認を得る。</p> <p>(2) 釘接合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釘は材の繊維に対して乱に打ち、割れを生じないように端距離、縁距離、釘間隔を大きく取る。 ・釘の長さは材厚の2.5倍以上とする。 ・1ヶ所の釘の本数は2本以上とする。 ・釘に錆を生じるおそれのある場合は、適切な防錆処理を施す。 ・自動釘打ち機を使用する場合は、面材に釘がめり込まないようにする。そのために、釘打ち機の圧力を弱めるか、最後は手打ちを用いるなどの方法による。 ・構造用面材を耐力壁とする場合の釘打ち方法は「昭和56年建設省告示1110号」による。 ・構造耐力上主要な部分において、釘を引き抜き方向に抵抗させることは避ける。 ・小口面に打たれた釘は、引き抜き方向に抵抗させることはできない。 <p>(3) 木ネジ接合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構造耐力上主要な部分において、木ネジを引き抜き方向に抵抗させることは避ける。 ・小口面にねじ込まれた木ネジは、引抜き方向に抵抗させることはできない。 ・木ネジの先孔の径: 針葉樹・・・主材0.6d 側材1.0d (dはボルト径) 広葉樹・・・主材0.8d 側材1.0d (dはボルト径) (先孔の深さは、主材へのねじ込み深さの2/3程度とする。) ・ねじ込みには適切な道具を使い、ハンマーなどで打ち込んではいならない。 ・ねじ込みを容易にしたり、損傷させないために潤滑油を用いてもよい。 <p>(4) ボルト接合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・締め付けに先立ち、ボルトの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適しているものであることを確認する。 ・ボルト接合部付近に節・目切れなどの欠点がある場合は、ボルト本数を適切に増加する。 ・ボルトの締め付けは、座金が部材にめり込む程度とし、めり込み音が発生した時点で締め付けを完了する。 ・締め付けを完了したボルトは、ねじ部がナットから2山以上突き出ていることを確認する。 ・一度締め付けたボルトについても、木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。 <p>(5) ラグスクリュー接合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構造耐力上主要な部分において、ラグスクリューを引き抜き方向に抵抗させることは避ける。 ・ラグスクリューの配置間隔、縁距離および端距離、使用する座金は同じ胴部径のボルトに準ずる。 ・胴部の先孔の径は胴部と同径とし、長さも胴部と同寸とする。 ・ネジ部の先孔の径: 比重0.5以上の樹種・・・ネジ径の60~70% その他の樹種・・・ネジ径の40~70% (長さはネジ部の長さと同寸とする。) ・ラグスクリューは先孔にレンチなどで回しながら挿入し、ハンマーなどで打ち込んではいならない。 ・ねじ込みを容易にするためや、損傷させないために潤滑油を用いてもよい。 ・一度ねじ込んだラグスクリューを抜き直し、再びねじ込むことは避ける。 <p>(6) ドリフトピン接合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボルトやコーチスクリュー等と併用し、ドリフトピンの変形にともなう部材の開きを防止する。 ・ドリフトピンは孔に密着させる。 ・一度締め付けた併用ボルトについても、木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。 <p>(7) ジベル接合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木部材は接合部付近の割れ、節、目切れなどの欠点がないよう注意し、彫込み・打ち込みまたは圧入に際して割れを生じないように、ジベルの種類に応じた断面と余長をもたせる。 ・接合材は十分圧着させる。木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。 ・特殊ジベルは使用箇所、使用方法を確認する <p>(8) 接合金物による接合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羽子板ボルト、ひら金物、短冊金物、かね折り金物および箱金物などの取り付けは、それぞれの仕様に基づき、接合両材の間が密着するように締め付ける。 ・大断面材用の接合金物に関しては、それぞれの仕様に基づく。 <p>(9) 接着接合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接合部の耐力は、使用材料および使用方法に適した接着性能の試験を行い確認する。 ・接着剤を用いた接合を行う手順は、接着剤製造業者の推奨する接着仕様に従うとし、実験によって接合部に要求される耐力と耐久性が立証された場合はその際の作業条件を標準とする。 <p>(10) その他の方法による接合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用材料および使用方法は構造図によるものとし、監理者の承認を得る。 	<p>(1) 輸送計画</p> <p>製品の輸送に当たっては、建方計画に支障がないように、道路状況、現場作業手順等を考慮し十分な検討を行う。また、輸送時に製品の品質を損なわないようにする。</p> <p>輸送計画書の提出 ()</p> <p>(2) 集積・保管</p> <p>集積の際は適当な受け台などを設け、材にねじれや曲がりの損傷を与えないように注意する。降雪や降雨に対する保護としてシート養生を行う。ただし、エアコンの効いた室内は乾燥による割れが発生するため避ける。</p> <p>集積場の確認 ()</p> <p>(3) 建方計画</p> <p>建方計画書の提出</p> <p>アンカーボルトの施工方法、建方スペース、建方機械、搬入・仕分け、地組み、足場計画、建方、養生、安全対策などについて検討し、建方計画書としてまとめる。</p> <p>(4) 施工時の安全性</p> <p>建方作業中および作業後、横架材上に諸材料または機械などの重量物を積載する場合、あるいは柱に大きな引張力を与えるなどの場合は監理者の承諾を受ける。また、強風などによる諸外力に対しては、必要に応じて仮設補強等の処置を施す。</p> <p>施工時の安全性に対する検討書の提出 施工時荷重条件の通知</p> <p>(5) アンカーボルトの施工</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芯出しは、型板を用いて基準墨に正しく合せて適切な機器等で正確に行う。 ・アンカーボルトは鉄筋等を用いて組立て、適切な補助材で固定しコンクリートの打ち込みを行う。 ・アンカーボルトはダブルナットとする。 適用除外 () ・土台の穴あけはコンクリート打設後、ボルトの通り芯からのずれを実測してから行う。 <p>(6) 建方精度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建方の精度基準は下記による。 <table border="1" data-bbox="1558 976 2077 1228"> <tbody> <tr> <td>建物の倒れ</td> <td>: e H / 2500 + 10mm かつ e 50mm</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>梁の水平度 (節点間のレベル差)</td> <td>: e L / 700 + 5mm かつ e 15mm</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>建物のわん曲</td> <td>: e L / 2500mm かつ e 25mm</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>柱据え付け面の高さ及び位置</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>柱据え付け面の基準高さからの誤差</td> <td>: ±3mm以下</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>通り芯からの誤差</td> <td>: ±3mm以下</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>階高</td> <td>: -5mm H + 5mm</td> <td>()</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・建方精度に不具合が発生した場合は速やかに監理者に報告し対応策を協議する。 <p>(7) 施工状況の検査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンカーボルト施工時の立会い検査 <table border="1" data-bbox="1558 1312 2077 1354"> <tbody> <tr> <td>目視による精度確認</td> <td>計測機器による精度確認</td> <td>アンカーボルト径、間隔</td> </tr> <tr> <td>施工者自主検査記録の提出 ()</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ・地組み時の立会い検査 <table border="1" data-bbox="1558 1375 2077 1417"> <tbody> <tr> <td>目視による精度確認</td> <td>計測機器による精度確認</td> <td>材料の加工寸法検査</td> </tr> <tr> <td>施工者自主検査記録の提出 ()</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ・建方時の立会い検査 <table border="1" data-bbox="1558 1438 2077 1480"> <tbody> <tr> <td>目視による精度確認</td> <td>計測機器による精度確認</td> <td>材料の加工寸法検査</td> </tr> <tr> <td>施工者自主検査記録の提出 ()</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ・建方後の施工状況の検査 <table border="1" data-bbox="1558 1501 2077 1585"> <tbody> <tr> <td>防腐・防蟻処理</td> <td>材料の加工寸法検査</td> <td>接合具の施工状況</td> </tr> <tr> <td>接合金物の施工状況</td> <td>その他 ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>施工者自主検査記録の提出 ()</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ・最終確認 <p>工事中に発生するボルトの緩み、接合具および接合金物に影響する材の割れ、接着面のはがれ等に注意を払い、不具合が発生した場合は是正する。補強の必要がある場合は速やかに監理者に報告し対応策を協議する。</p> <p>施工者自主検査記録の提出 ()</p> 	建物の倒れ	: e H / 2500 + 10mm かつ e 50mm	()	梁の水平度 (節点間のレベル差)	: e L / 700 + 5mm かつ e 15mm	()	建物のわん曲	: e L / 2500mm かつ e 25mm	()	柱据え付け面の高さ及び位置			柱据え付け面の基準高さからの誤差	: ±3mm以下	()	通り芯からの誤差	: ±3mm以下	()	階高	: -5mm H + 5mm	()	目視による精度確認	計測機器による精度確認	アンカーボルト径、間隔	施工者自主検査記録の提出 ()			目視による精度確認	計測機器による精度確認	材料の加工寸法検査	施工者自主検査記録の提出 ()			目視による精度確認	計測機器による精度確認	材料の加工寸法検査	施工者自主検査記録の提出 ()			防腐・防蟻処理	材料の加工寸法検査	接合具の施工状況	接合金物の施工状況	その他 ()		施工者自主検査記録の提出 ()			<p>(1) 横架材同士の継手</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 曲げ応力や引張力を負担しない継手: 腰掛け蟻継ぎ、腰掛け鎌継ぎ <ul style="list-style-type: none"> ・せん断力が大きい場合は台持ち継ぎとする。 ・長期荷重時のせん断力の向きを考慮し女木と男木を決める。 ・逆せん断と引張の補強として短冊金物等を併用すること。 ・柱からの持ち出し位置は、連続梁の長期荷重の反曲点付近とする。  <p>(2) 柱の継手</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 曲げ応力や引張力を負担する継手: 追掛け大柱・金輪・尻挟み継ぎ、鋼板挿入ドリフトピン接合 <ul style="list-style-type: none"> ・追掛ける大柱・金輪・尻挟み継ぎ、鋼板挿入ドリフトピン接合 ・運送できる曲げモーメントや引張力は母材全断面の2割以下と考えること。  <p>(2) 柱の継手</p> <ul style="list-style-type: none"> ・階の中間部における柱の継手は原則として禁止する。 ・やむを得ず柱の継ぎ手を設ける場合は、曲げと軸力による複合応力の検定を行い安全性を確認する。 <p>(3) 横架材どうしの仕口</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. せん断力が母材全断面の3割以下の仕口:(大入れ) 蟻掛け <ul style="list-style-type: none"> ・長期荷重時のせん断力の向きを考慮し女木と男木を決める。 ・逆せん断と引張の補強として羽子板ボルト等を併用する。 ・男木の梁せいが女木の2/3以下の場合か、仕口直下に柱がある場合には、大入れとしてもよいが、そうでない場合は男木のせいの2/3程度の顎をかける。
使用部位	高耐久材	工場処理剤	現場処理剤																																																																																			
土台	ひば	K3 ()	塗布																																																																																			
外周柱下部1m	ひのき	K3 ()	()																																																																																			
水周り	()	K3 ()	()																																																																																			
その他	()	K4 ()	()																																																																																			
部位	色の有無	塗料の種類																																																																																				
	・造膜型、・含浸型	・着色(色) ・透明																																																																																				
	・造膜型、・含浸型	・着色(色) ・透明																																																																																				
	・造膜型、・含浸型	・着色(色) ・透明																																																																																				
	・造膜型、・含浸型	・着色(色) ・透明																																																																																				
建物の倒れ	: e H / 2500 + 10mm かつ e 50mm	()																																																																																				
梁の水平度 (節点間のレベル差)	: e L / 700 + 5mm かつ e 15mm	()																																																																																				
建物のわん曲	: e L / 2500mm かつ e 25mm	()																																																																																				
柱据え付け面の高さ及び位置																																																																																						
柱据え付け面の基準高さからの誤差	: ±3mm以下	()																																																																																				
通り芯からの誤差	: ±3mm以下	()																																																																																				
階高	: -5mm H + 5mm	()																																																																																				
目視による精度確認	計測機器による精度確認	アンカーボルト径、間隔																																																																																				
施工者自主検査記録の提出 ()																																																																																						
目視による精度確認	計測機器による精度確認	材料の加工寸法検査																																																																																				
施工者自主検査記録の提出 ()																																																																																						
目視による精度確認	計測機器による精度確認	材料の加工寸法検査																																																																																				
施工者自主検査記録の提出 ()																																																																																						
防腐・防蟻処理	材料の加工寸法検査	接合具の施工状況																																																																																				
接合金物の施工状況	その他 ()																																																																																					
施工者自主検査記録の提出 ()																																																																																						

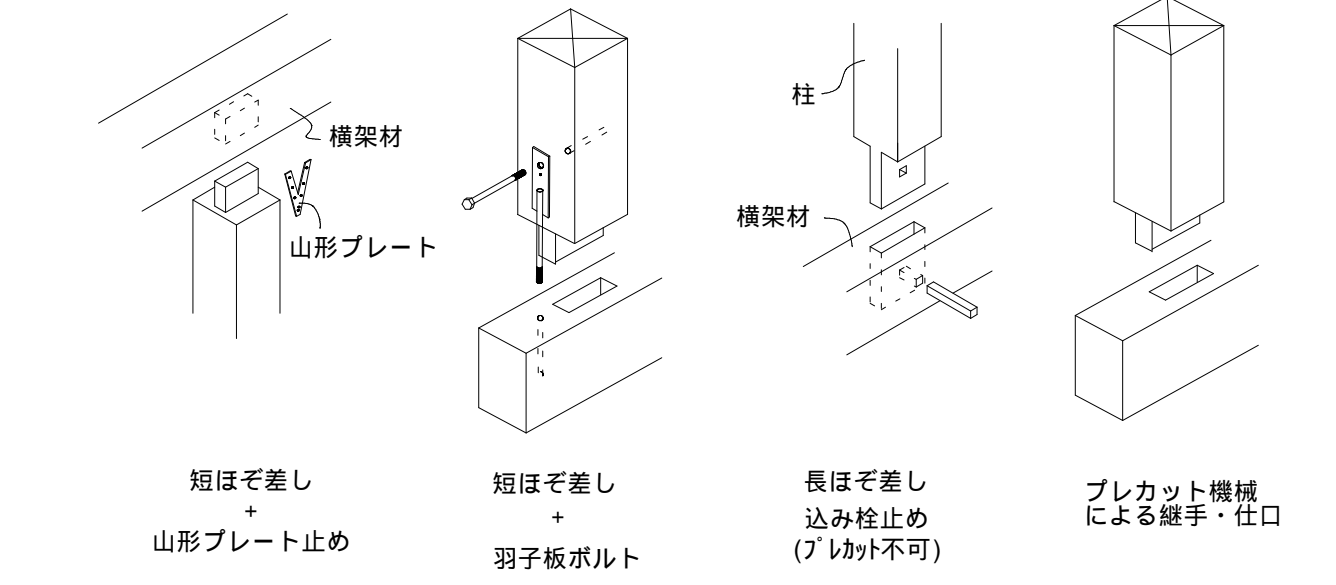
木質工事特記仕様書(3)



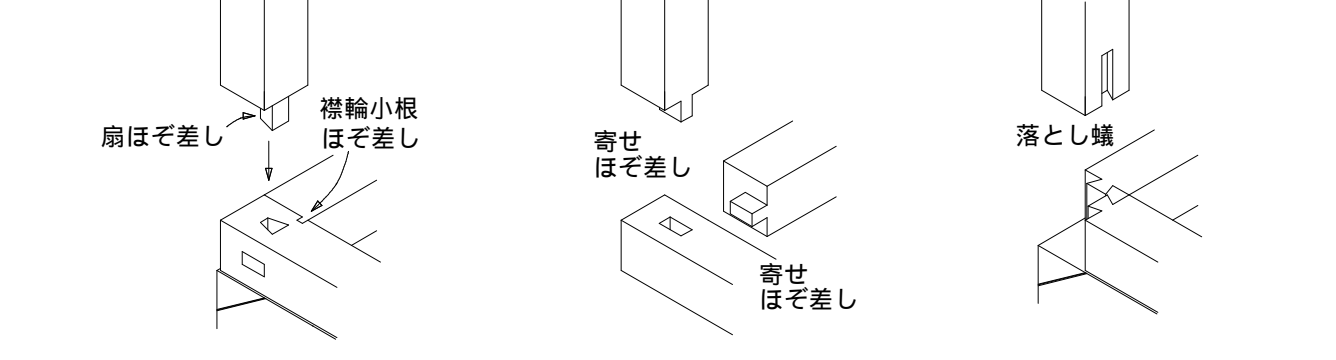
- せん断力が母材全断面の3割を超える仕口：梁受け金物
 - 既製品の場合は金物メーカーの許容せん断耐力の値を用い、特注品の場合は構造計算で許容せん断耐力を算出して安全性を確認すること。
- 一方を片持ち梁とする場合：レベル差を設け渡り懸掛け
 - 逆せん断の補強として羽子板ボルト等を併用すること。



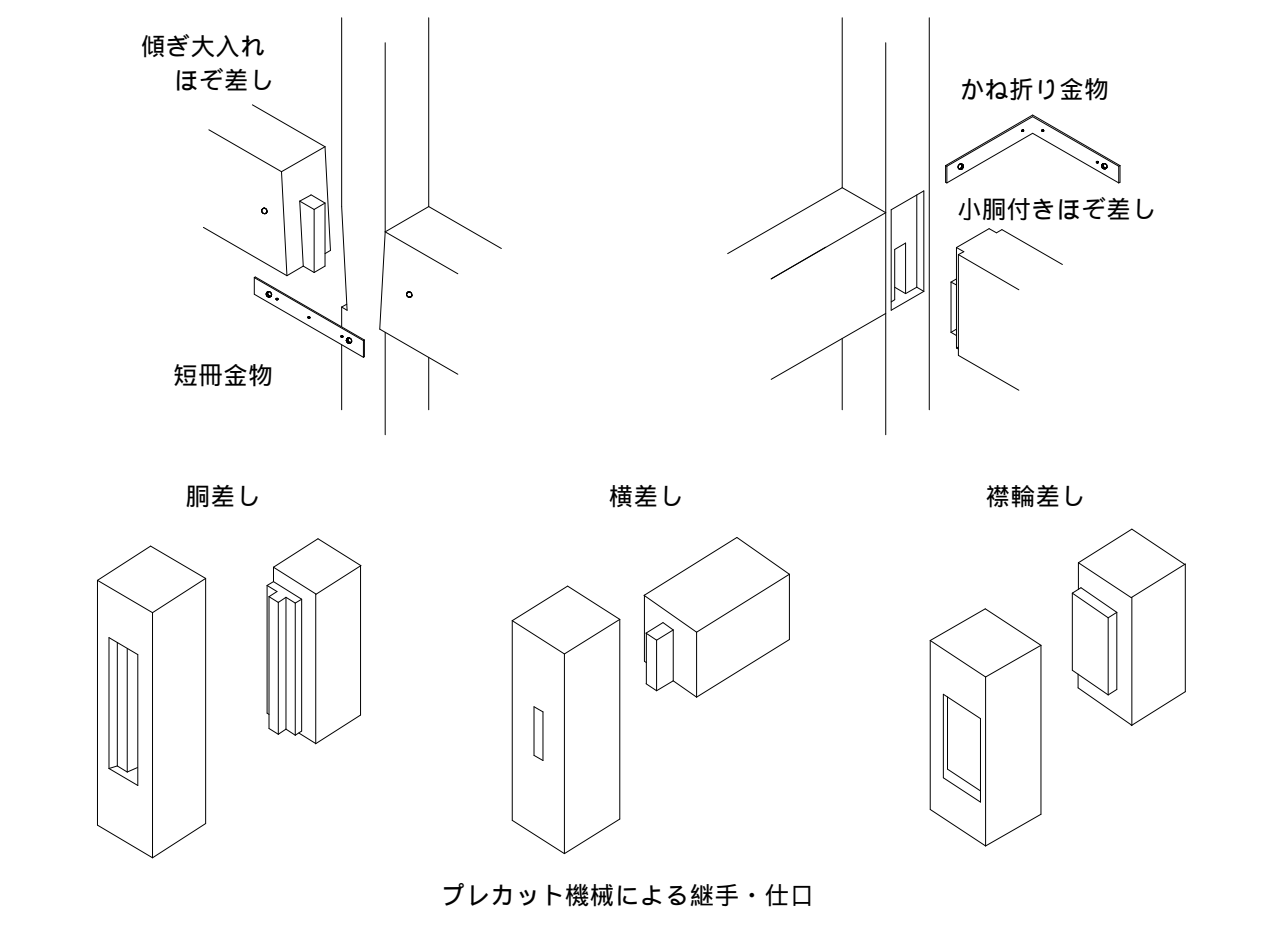
- #### (4) 柱と横架材の仕口
- 柱の上下端部：短ほぞ差し、長ほぞ差し込み栓止め
 - 短期の引張力に対しては、平12建告1460号、N値計算又は許容応力度計算により、必要耐力を有するZマーク金物等を併用すること。



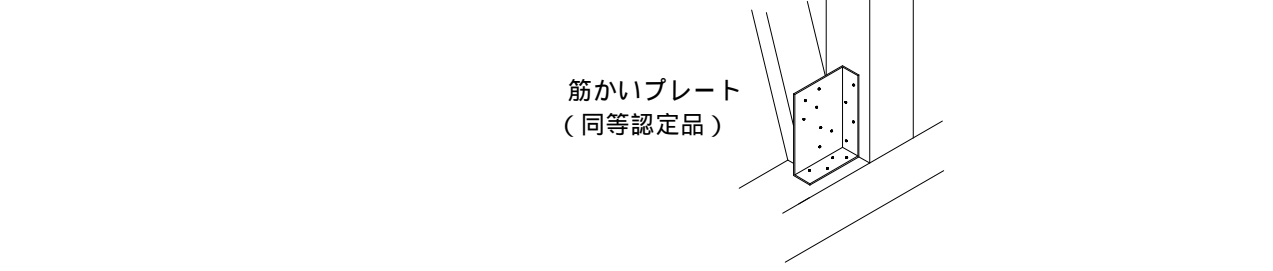
- 土台の出隅入隅部
 - 土台同士は襟輪小根ほぞ差し又は寄せほぞ差し、柱脚部は崩ほぞ差し又は寄せほぞ差し(但し、柱勝ちの場合、落とし蟻又は土台を寄せほぞ差しとする。)
 - 短期の引張力に対しては、平12建告1460号、N値計算又は許容応力度計算により、必要耐力を有するZマーク金物等を併用すること。落とし蟻の場合は、HD金物を用いる。



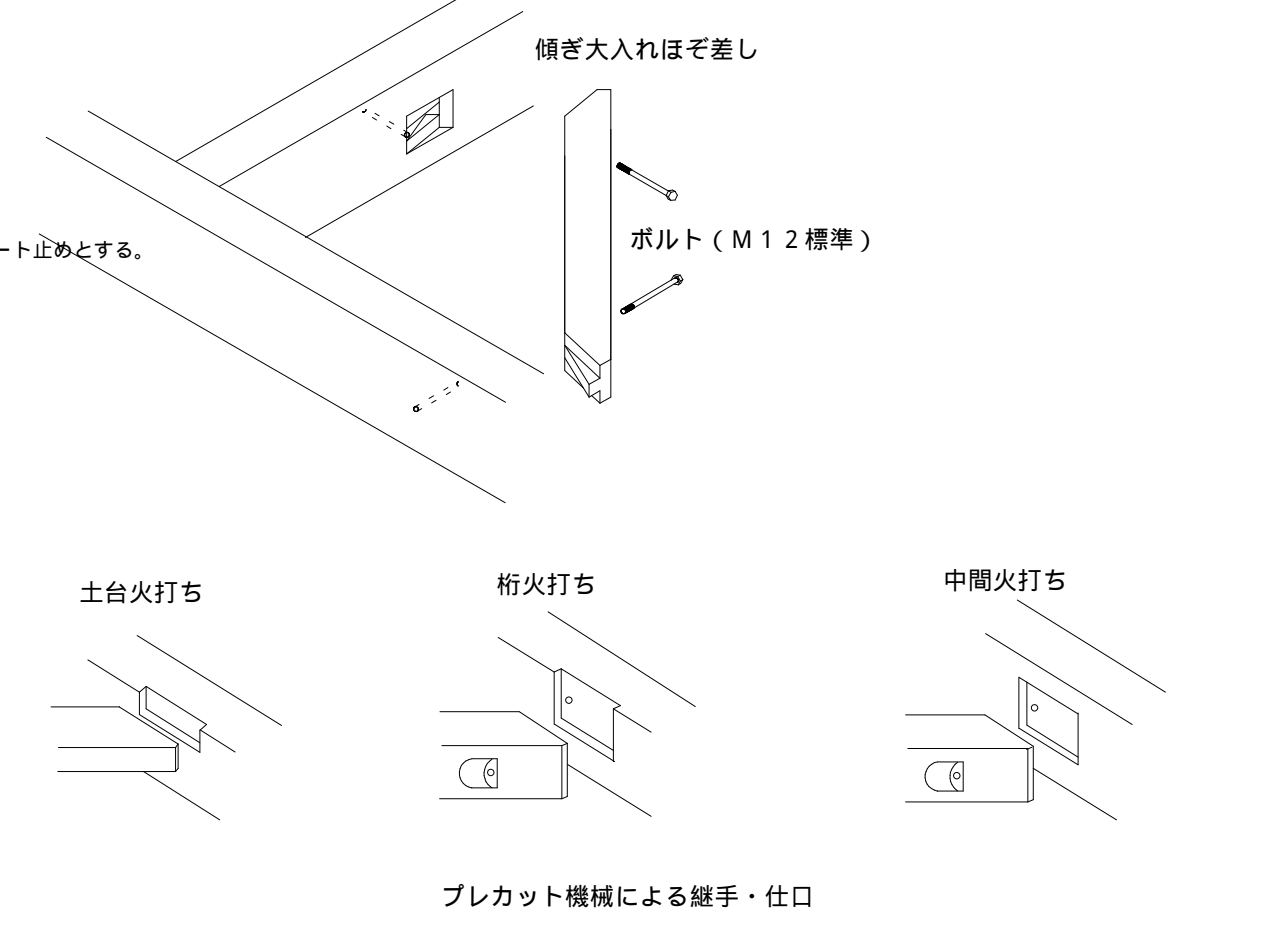
- 通り柱と胴差し：小胴付きほぞ差し、傾ぎ大入れほぞ差し、梁受け金物
 - 梁受け金物以外の仕口には、引張の補強として短冊金物やかね折り金物等を併用すること。



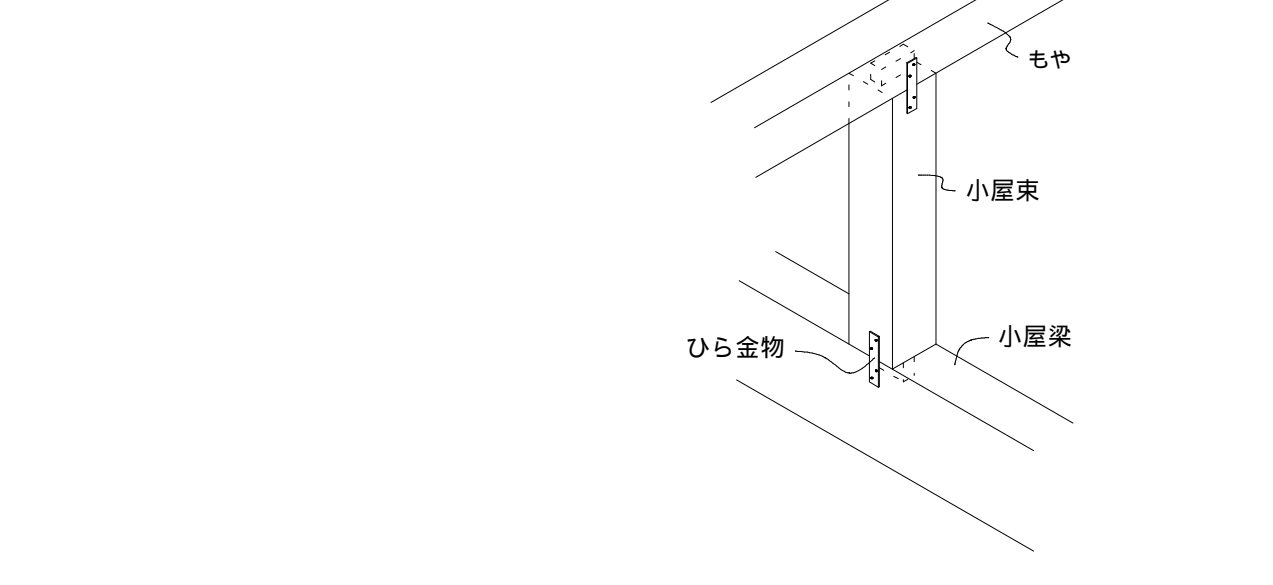
- #### (5) 筋かい端部
- 平12建告1460号の例示仕様又は同等品とする。



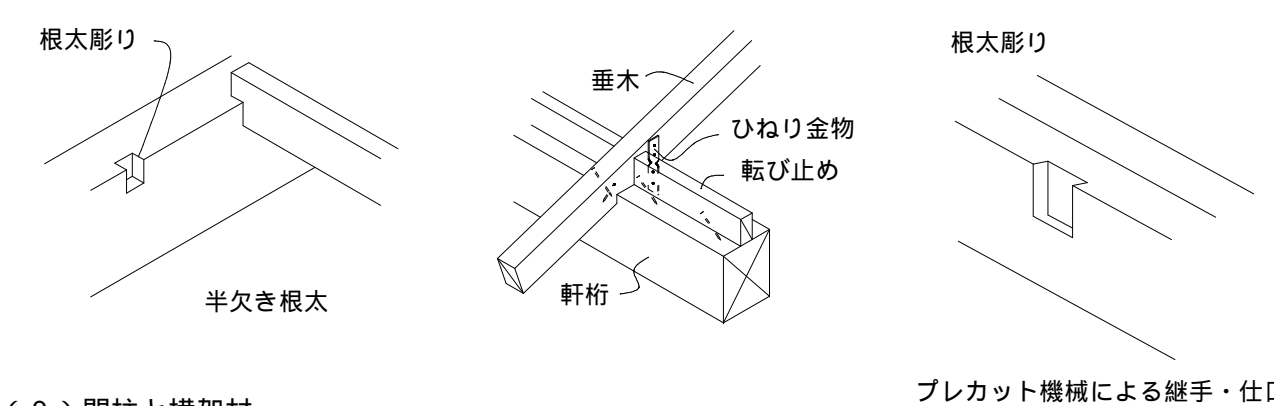
- #### (6) 火打ち、方杖
- 角材を用いる場合の端部は、傾ぎ大入れほぞ差し + ボルト締めとする。
 - Zマーク鋼製火打ち又は同等品としてもよい。



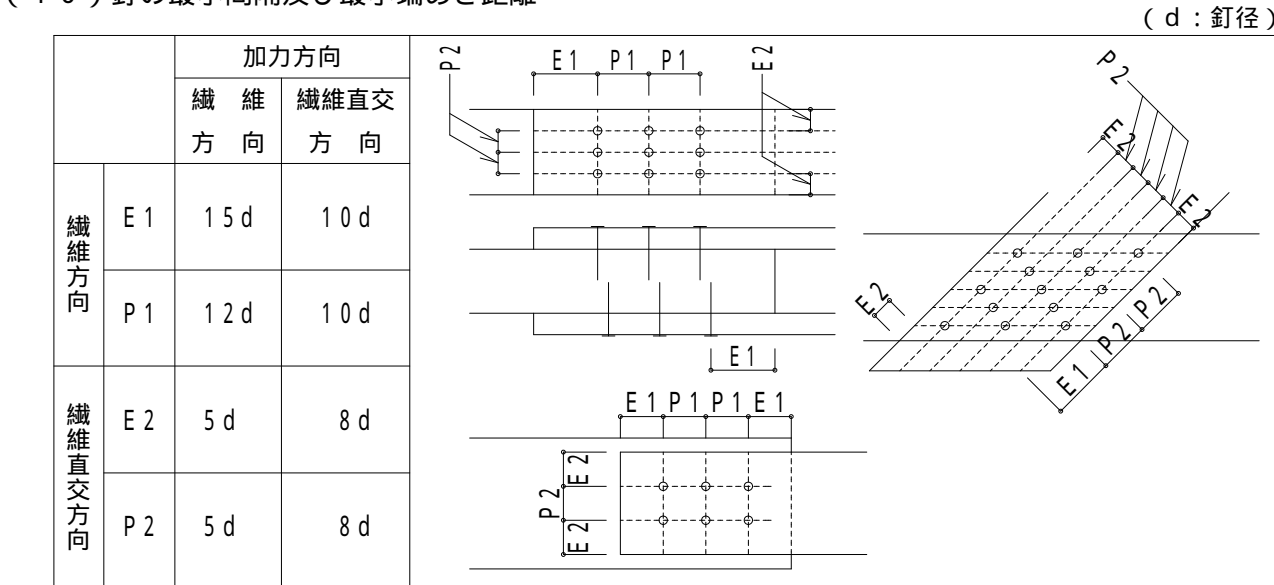
- #### (7) 小屋束の上下端部
- 短ほぞ差し又は長ほぞ差し込み栓止めとする。
 - 短ほぞ差しの場合、風圧力による引張力の補強として



- #### (8) 根太、垂木と横架材
- 落とし込み根太：横架材に大入れ or 根太掛け + 斜め釘
 - 半欠き根太：横架材に大入れ懸掛け + 斜め釘
 - 転ばし根太：根太が直角断面の場合、横架材に脳天釘止め
 - 根太が縦長角断面の場合、斜め釘2本 + 転び止め
 - 横架材に横架材を握り、転ばし根太と同様に止める。
 - 風の負圧の補強：許容応力度計算により必要耐力を有するひねり金物等を取り付ける。

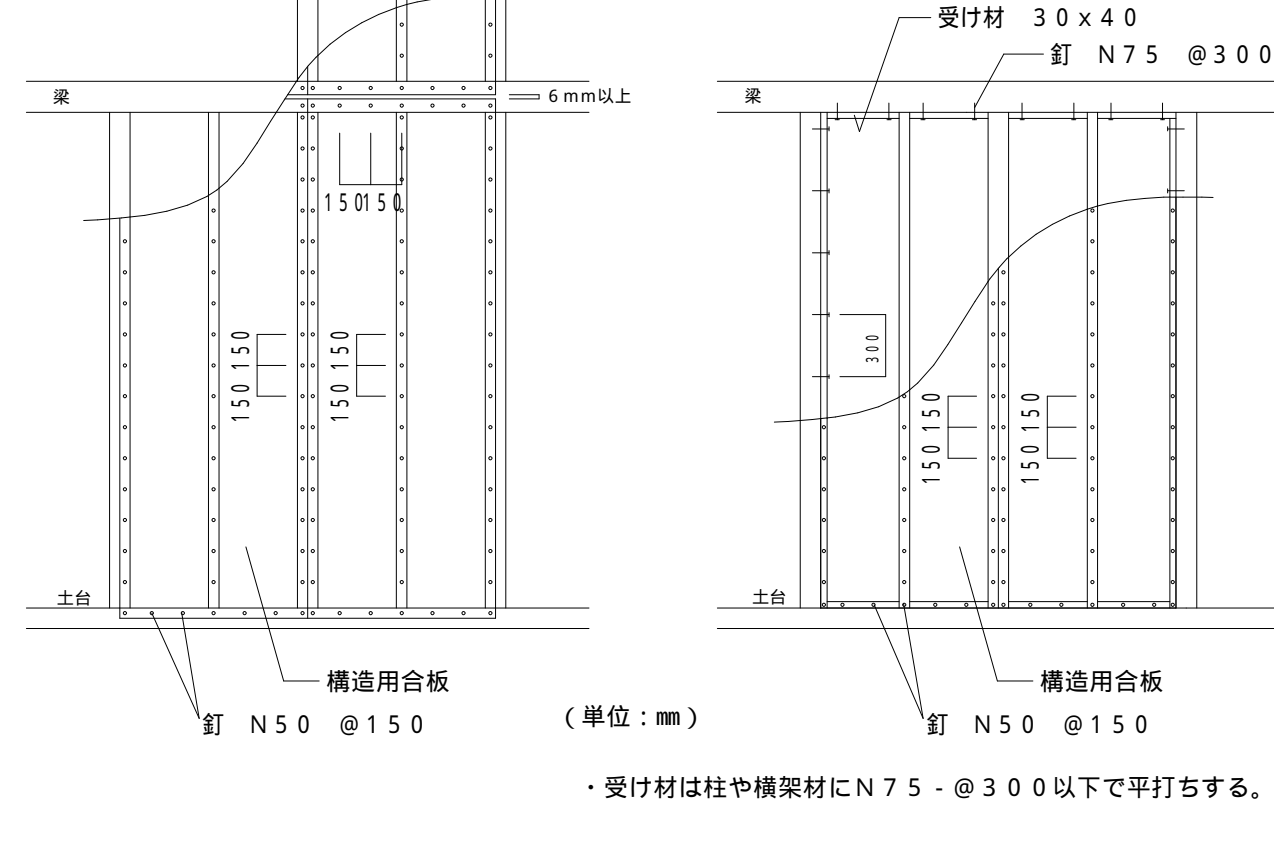


- #### (9) 間柱と横架材
- 上下横架材に深さ3mm程度大入れ + 斜め釘
 - 上部ほぞ差し、下部突き付け + 斜め釘

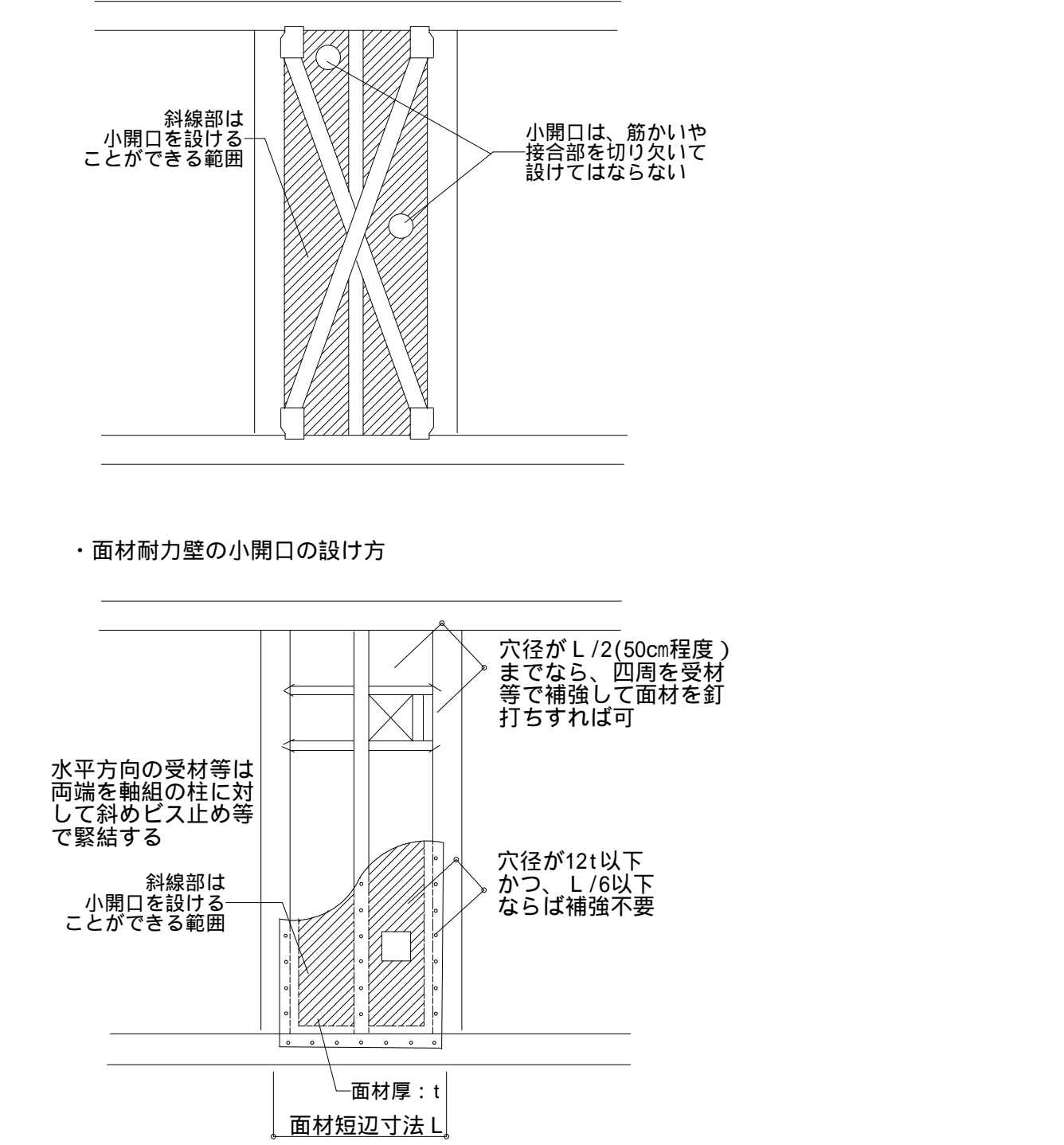


- #### (11) ボルトの最小間隔及び最小端あき距離
- (d: ボルト径, t: 主材厚)
- | 縦横方向 | 加力方向 | |
|------|--------------------------------|--|
| | 縦横方向 | 縦横直交方向 |
| E1 | 7d (荷重負制御)
4d (荷重非負制御) | 7d |
| P1 | 7d | t/d=2 3d
2 t/d<6 3d-5d
t/d>6 5d |
| E2 | t/d 6 1.5d
t/d>6 1.5dかつP2/2 | 特記による。特記のない場合は以下の数値とする。
4d (荷重負制御)
1.5d (荷重非負制御) |
| P2 | 3d | 4d |

- #### (12) 面材耐力壁
- 大壁造の場合
 - 真壁造の場合



- #### (13) 小開口付き耐力壁
- 筋かい耐力壁の小開口の設け方
 - 面材耐力壁の小開口の設け方



工 事 名	鶴岡市人工芝グラウンド整備工事(管理棟)	図 番	S 0 5
縮 尺	NoScale	日 付	R8.03.24
図 面 名	木造基礎特記仕様書	校 閲	製 図
鶴岡市日出一丁目16-1 山形県知事登録(1311)第1815号		株式会社 菅原 設計	
1級建築士 第169159号		菅原 英 介	
TEL 0235(22)1848		FAX 0235(22)1840	

§ 1 一般事項

- ・本仕様書と各構造図が異なる場合は後者を優先する。
- ・本仕様書に明記無き事項については、設計監理者の指示に従う。

§ 2 地盤調査・地盤改良

- 2-1 設計地耐力及び地盤改良
- (1) 設計地耐力
- | | |
|---------|-----------------------|
| 長期設計地耐力 | 100 KN/m ² |
| 短期設計地耐力 | 200 KN/m ² |
- * 施工に先立ち当該地盤の地耐力を確認すること。
 - * 調査の結果、地耐力が不足する場合は地盤改良、基礎形式の変更の検討をする。
- (2) 既にある地盤調査資料(敷地内 近隣)
- 標準貫入試験 スウェーデン式サウンディング試験
- (3) 地盤調査の計画
- 標準貫入試験 スウェーデン式サウンディング試験 載荷試験 試験堀
- 2-2 地盤改良
- 表層地盤改良 セメント系柱状改良 細径鋼管杭 細径RC杭

§ 3 基礎工事

- (1) 基礎形式
- ベタ基礎良 布基礎 独立基礎
- (2) 地業
- 砕石 厚さ300mm
- (3) コンクリート
- | 使用箇所 | 種 類 | 設計基準強度 Fc=N/mm ² | スランプcm | 備 考 |
|----------|-----|-----------------------------|--------|-----|
| 捨コンクリート | 普通 | 16 | 18 | |
| 土間コンクリート | 普通 | 18 | 21 | 18 |
| 基礎 | 普通 | 18 | 21 | 24 |

(4) 鉄 筋

	種 類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋	SD295A	D10-D16	基礎・スラブ	重ね継手 D10-D16 ガス圧接継手 D19以上
	SD345	D19以上		
溶接金網				

・鉄筋の表示記号

記 号	●	×	∅	●	○	◎
呼び径d	D10	D13	D16	D19	D22	D25
最外径D	11	14	18	21	25	28

・鉄筋末端部の折り曲げの形状 ()は主筋の折り曲げ定着

折り曲げ角度	180°	135°	90°
図			
鉄筋の余長	4d以上	6d以上	8d(10d)以上
(折り曲げ内法寸法R)	SD295A, SD345: 3d以上(D16以下), 4d以上(D19~D25)		

・鉄筋中間部の折り曲げの形状 鉄筋の折り曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所	鉄筋の種類	鉄筋の径	折り曲げ内法寸法(R)
	あばら筋	SD295A	D16 以下	3d以上
		SD345	D19 以下	4d以上
	上記以外の鉄筋	SD295A	D16 以下	3d以上
		SD345	D19 以下	6d以上

・鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄 筋	普通コンクリートの設計基準強度 (N/mm ²)	一般 (L2)	定着の長さ		特別の定着 及び 重ね継手の長さ(L1)
			小 梁	ス ラ ブ	
SD295	18	21	24	35d または 25dフック付	25d または 10d かつ 25dフック付
SD345	24	25dフック付	25dフック付	15cm以上	40d または 30dフック付き

- ・継 手
1. 末端のフックは、定着及び重ね継手の長さに含まない
 2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
 3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の径による
- 重ね継手(下記のいずれかとする)
-
- 1.5L1以上 約0.5L1

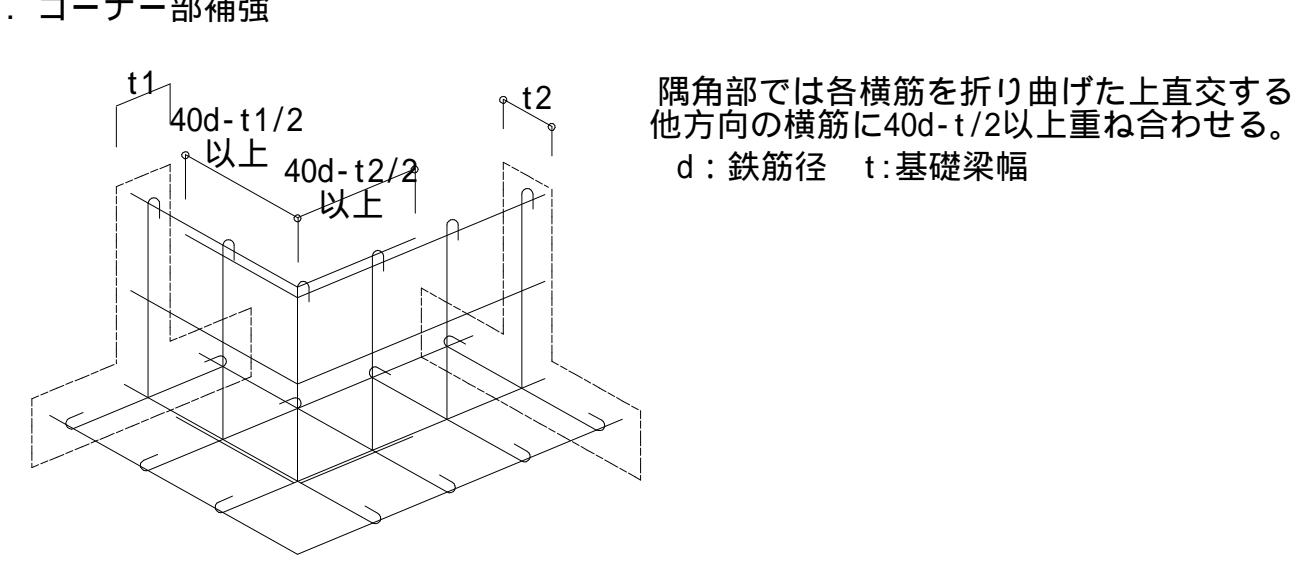
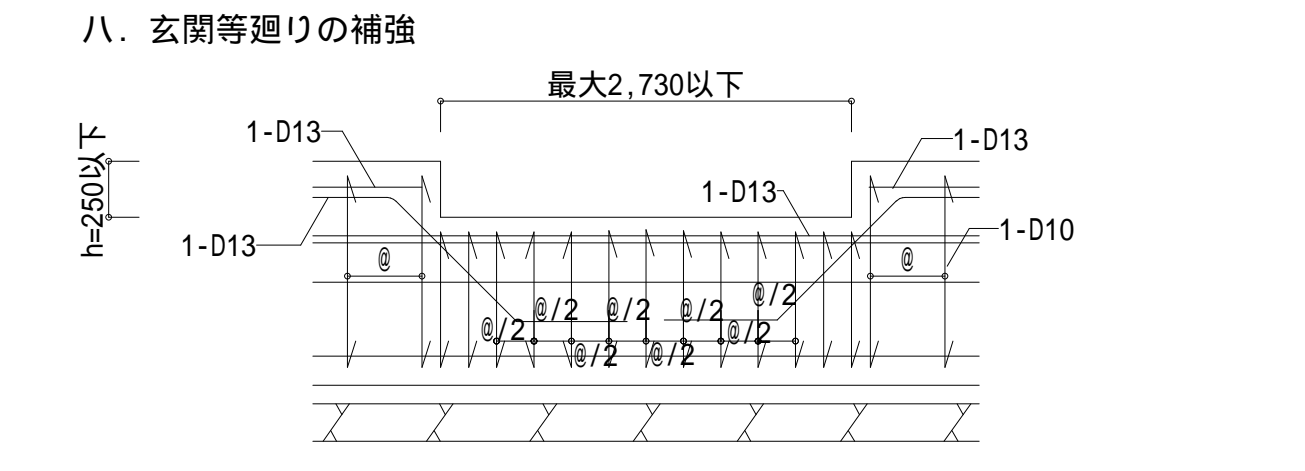
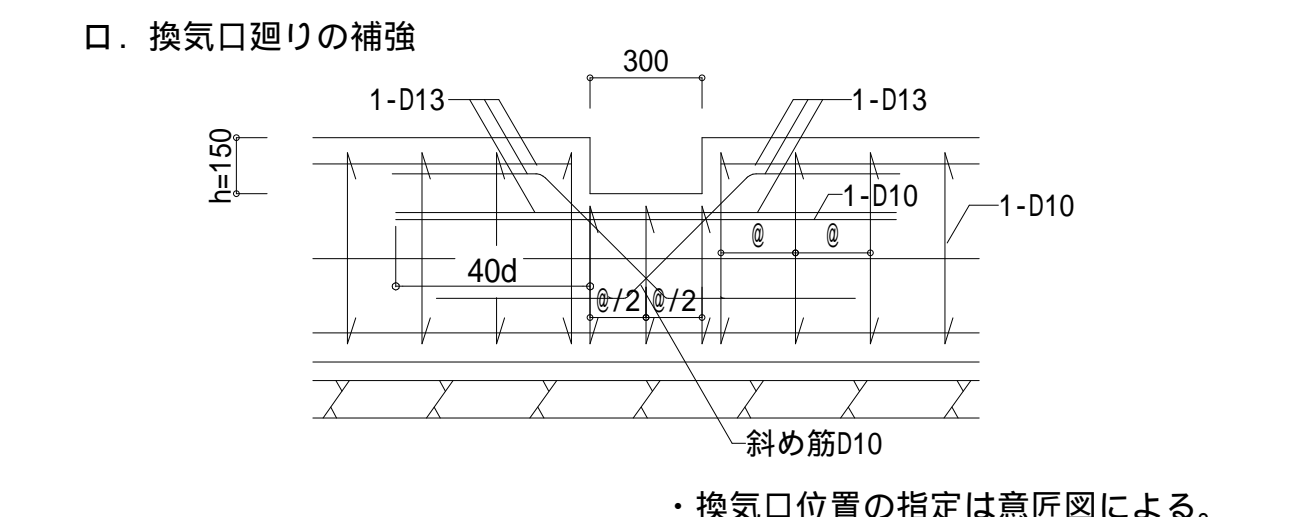
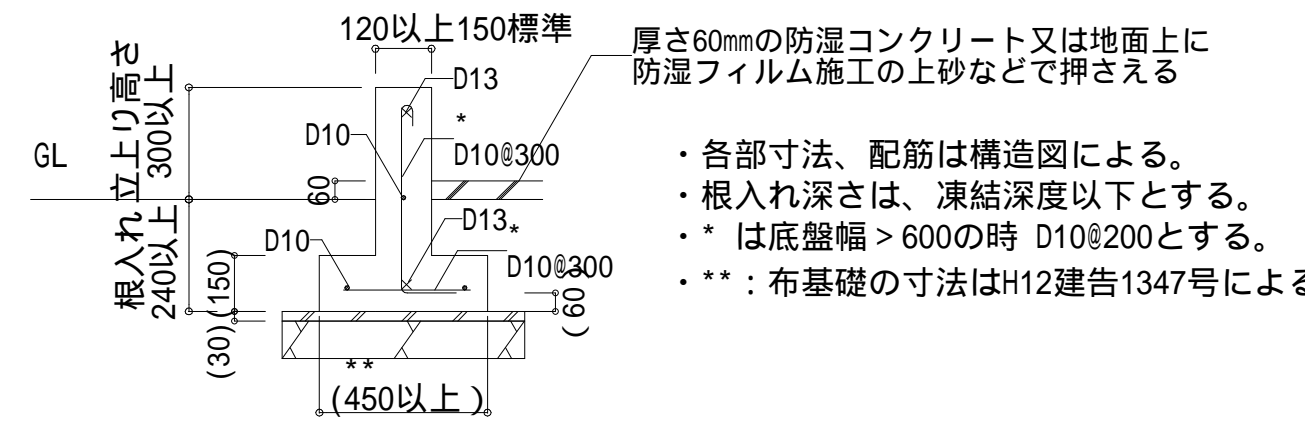
・かぶり厚さ

部 位	かぶり厚さ
基礎梁、立上り壁、土間コンクリート	50 (40)
べた基礎、擁壁	70 (60)

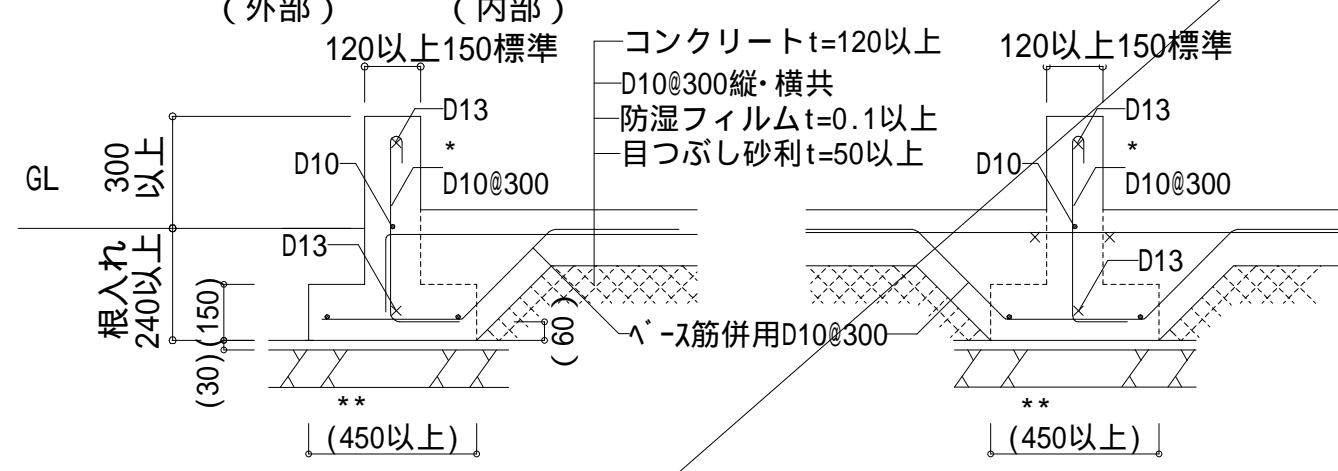
()内数値は最小かぶり厚さを示す

- ・鉄筋のあき
- 粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上
- 隣合う鉄筋の平均径(呼び名に用いた数値) 異形鉄筋の1.5d以上
-
- 間隔 d0 あき d0

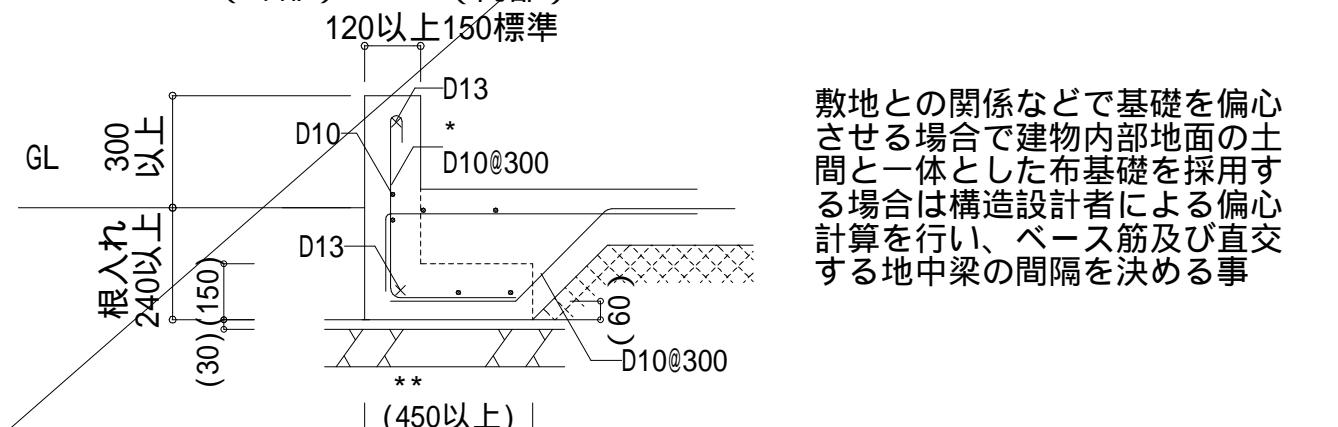
(5) 布基礎



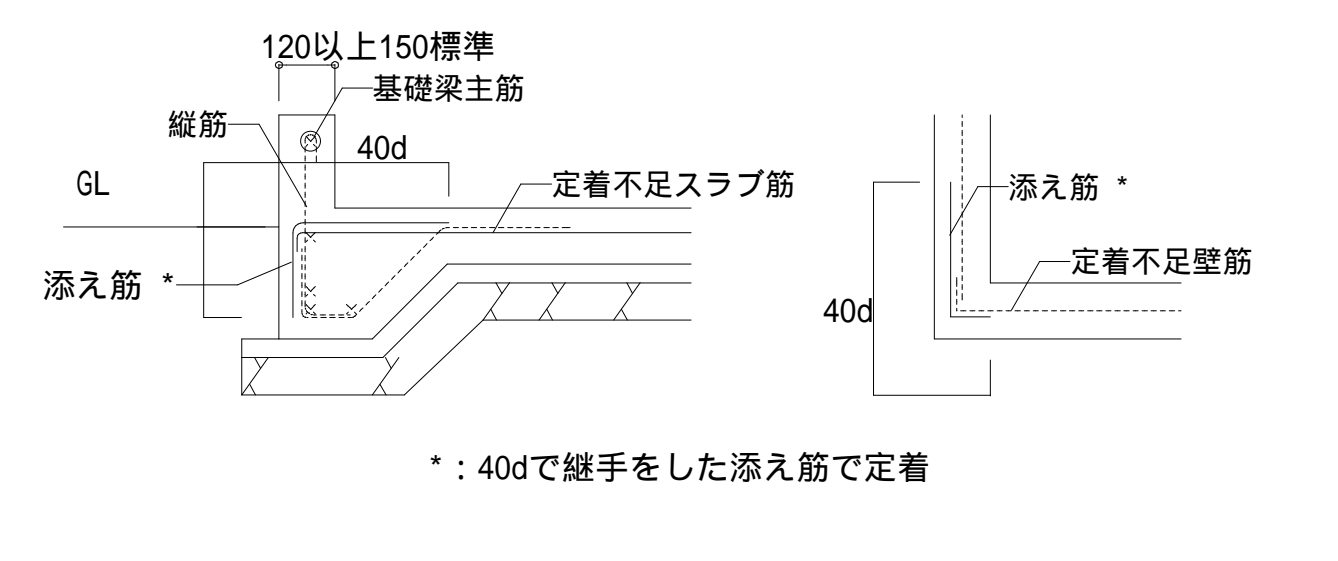
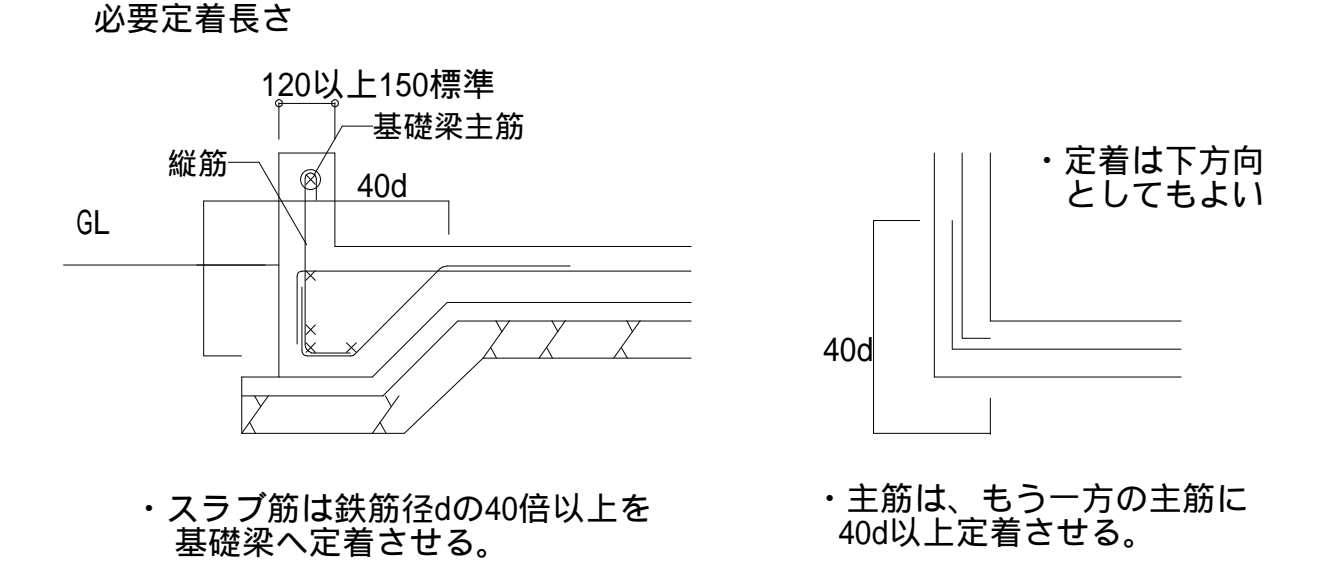
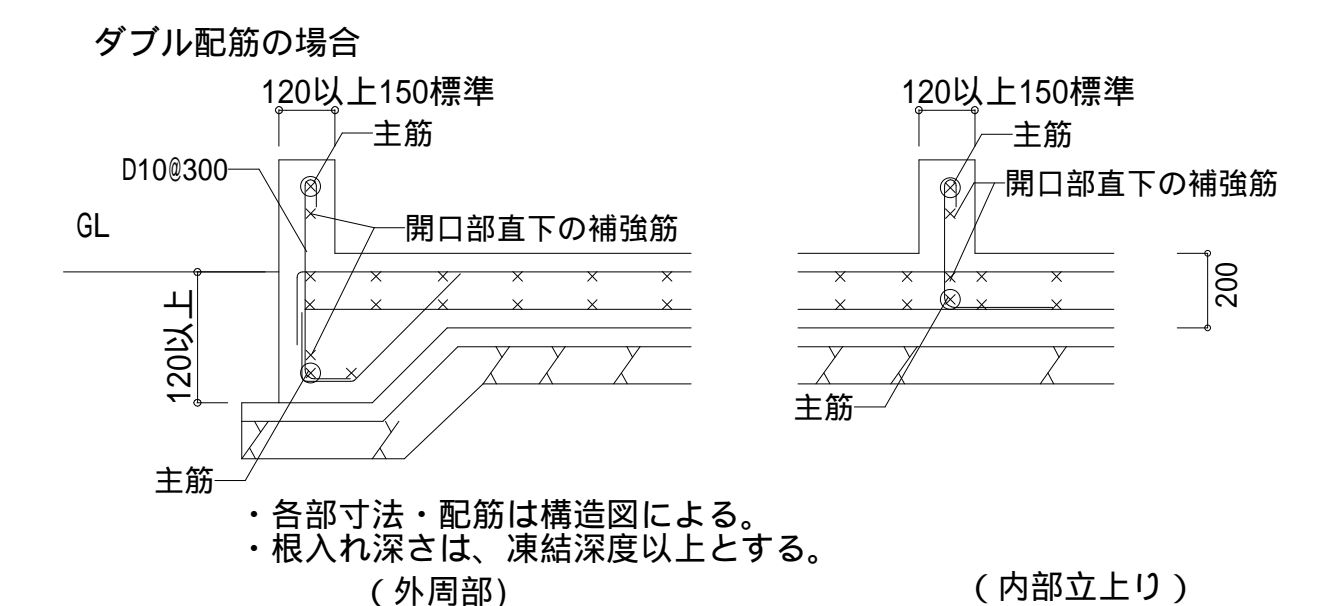
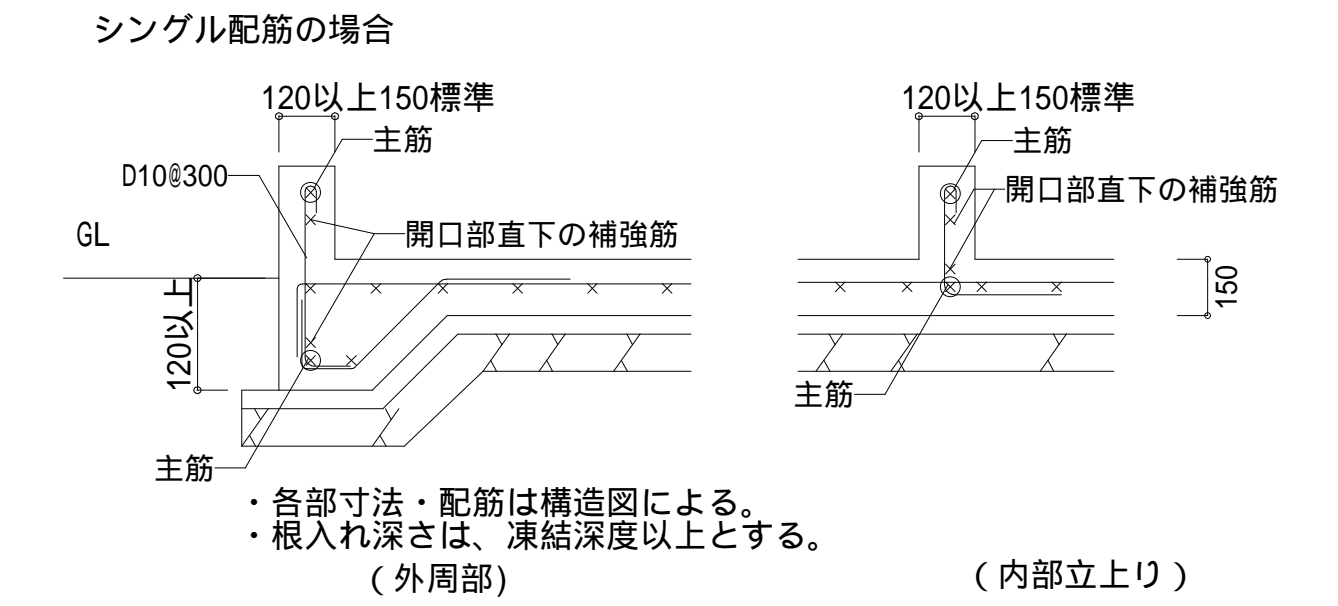
ホ. 布基礎間を防蟻対策用にコンクリートで打設した例



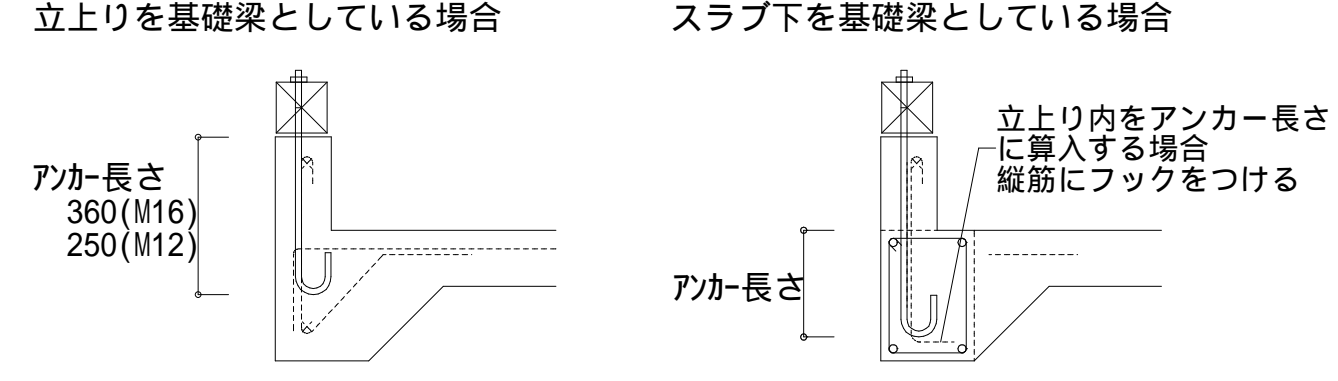
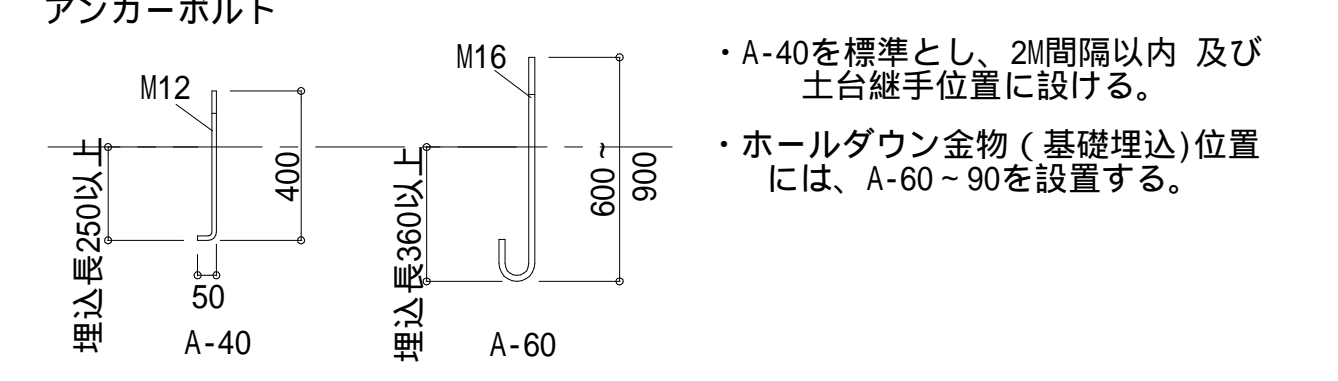
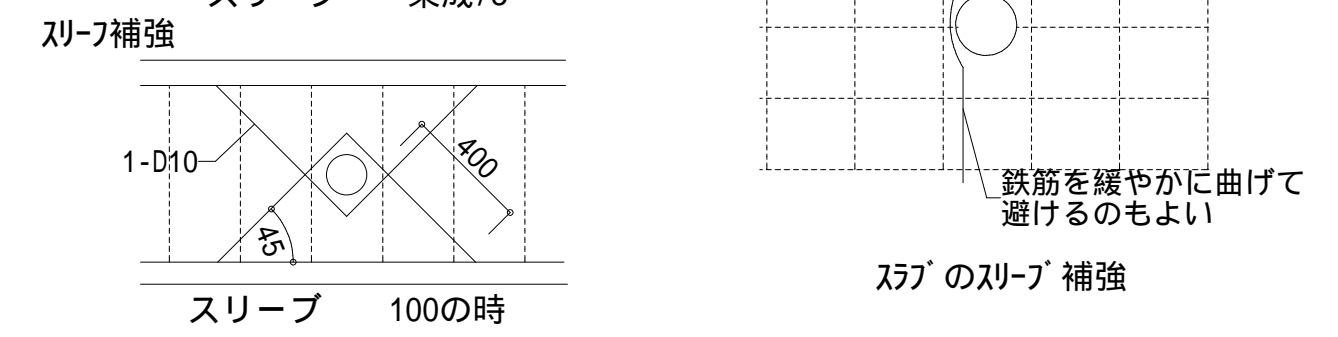
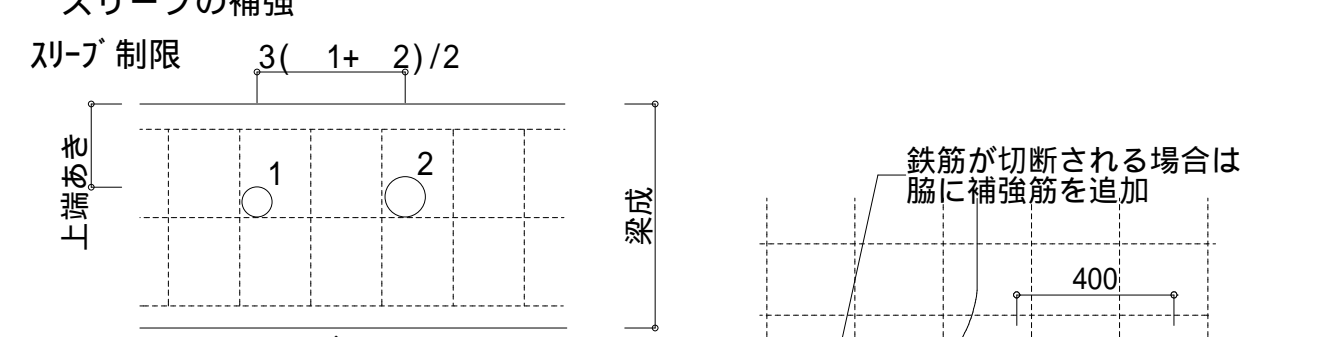
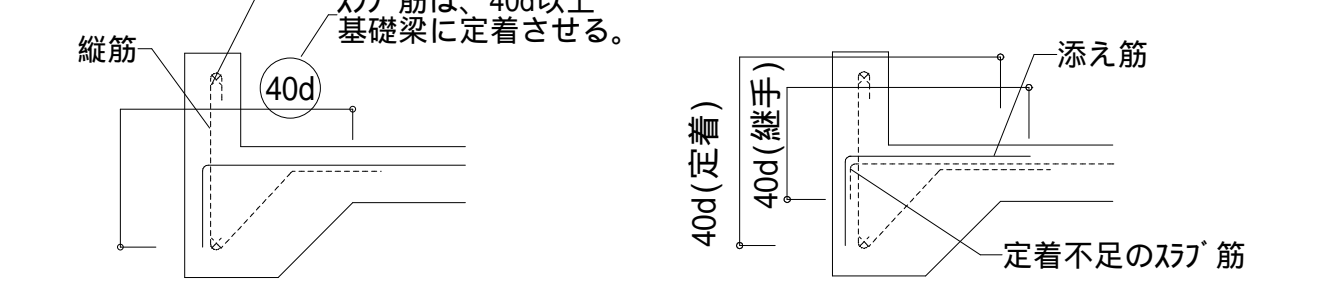
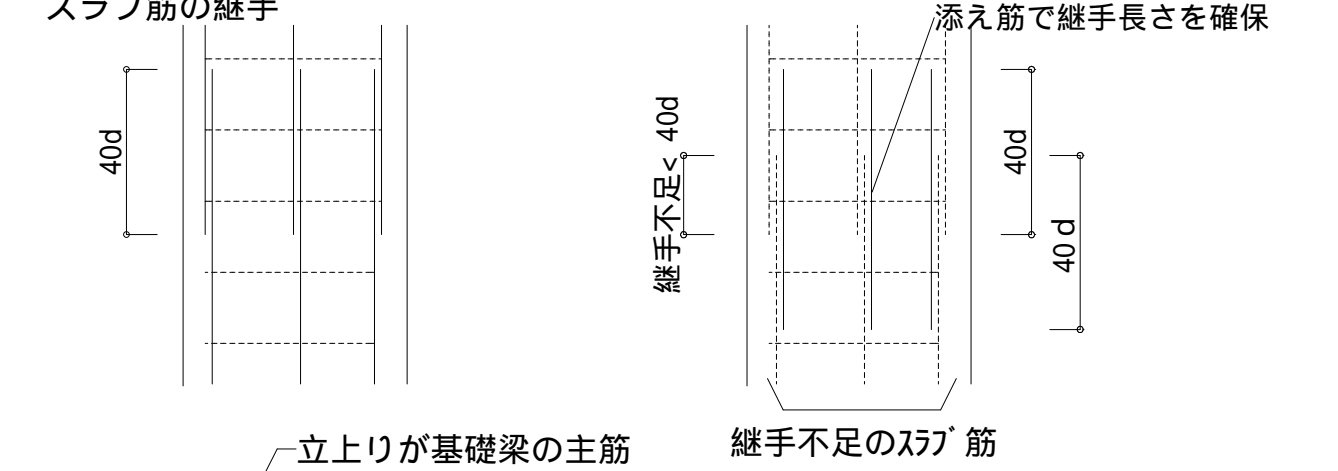
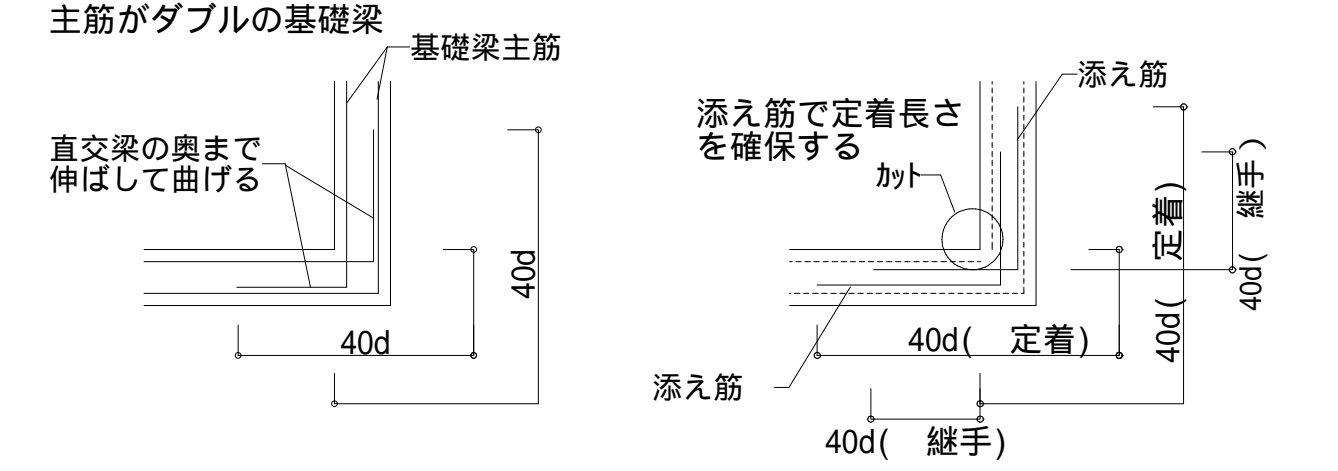
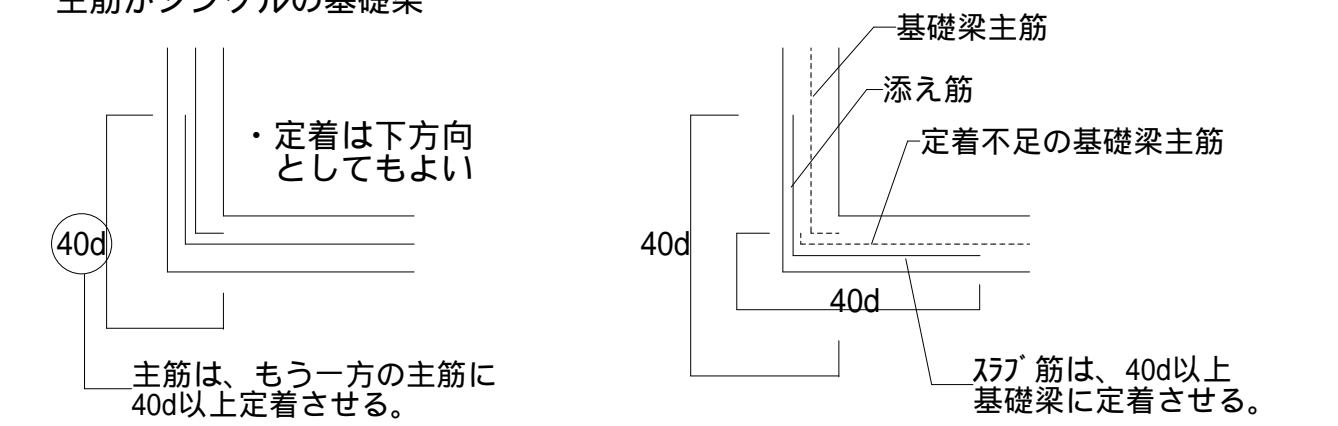
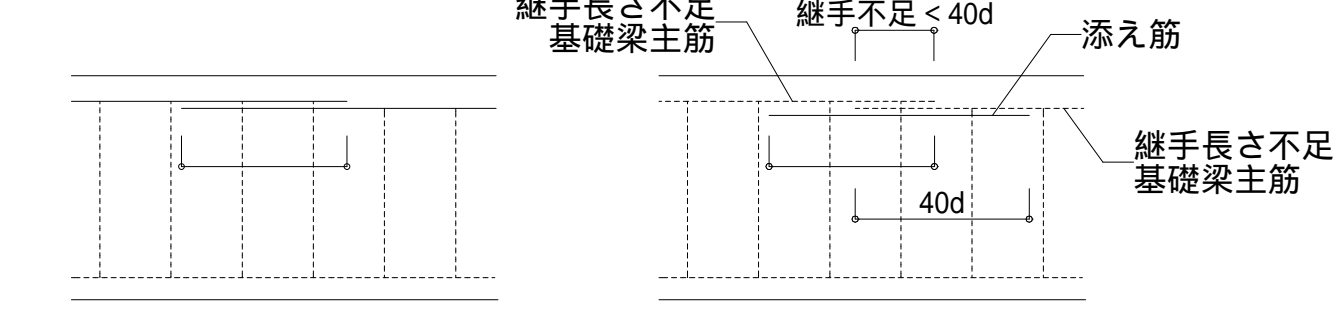
ヘ. 偏心布基礎間を防蟻対策用にコンクリートで打設した例



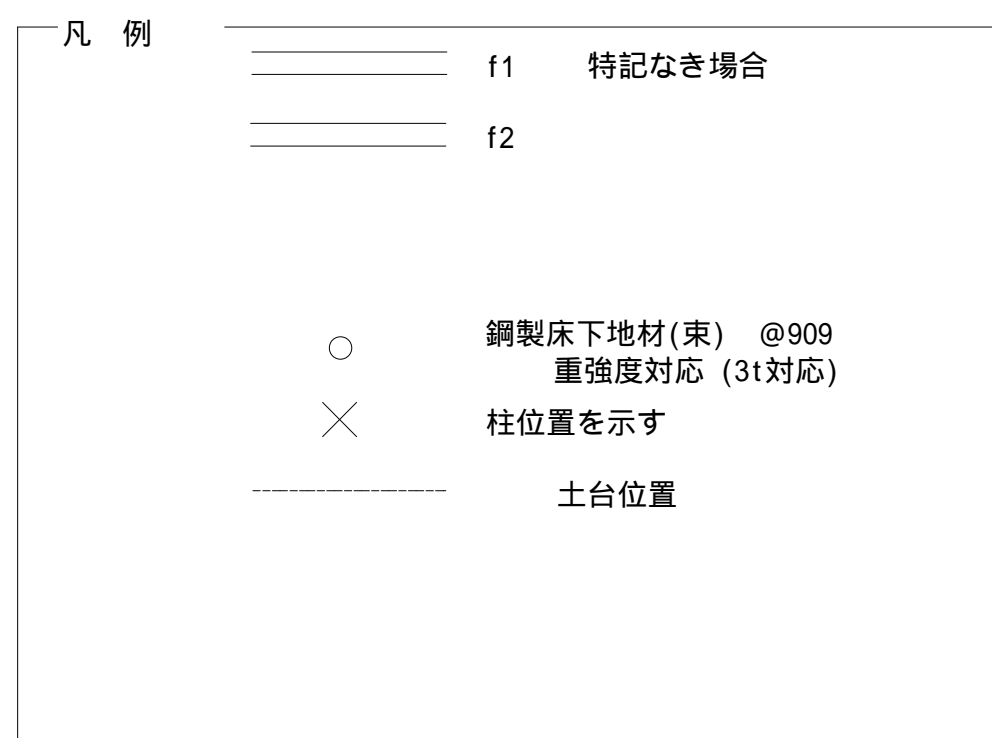
(6) ベタ基礎



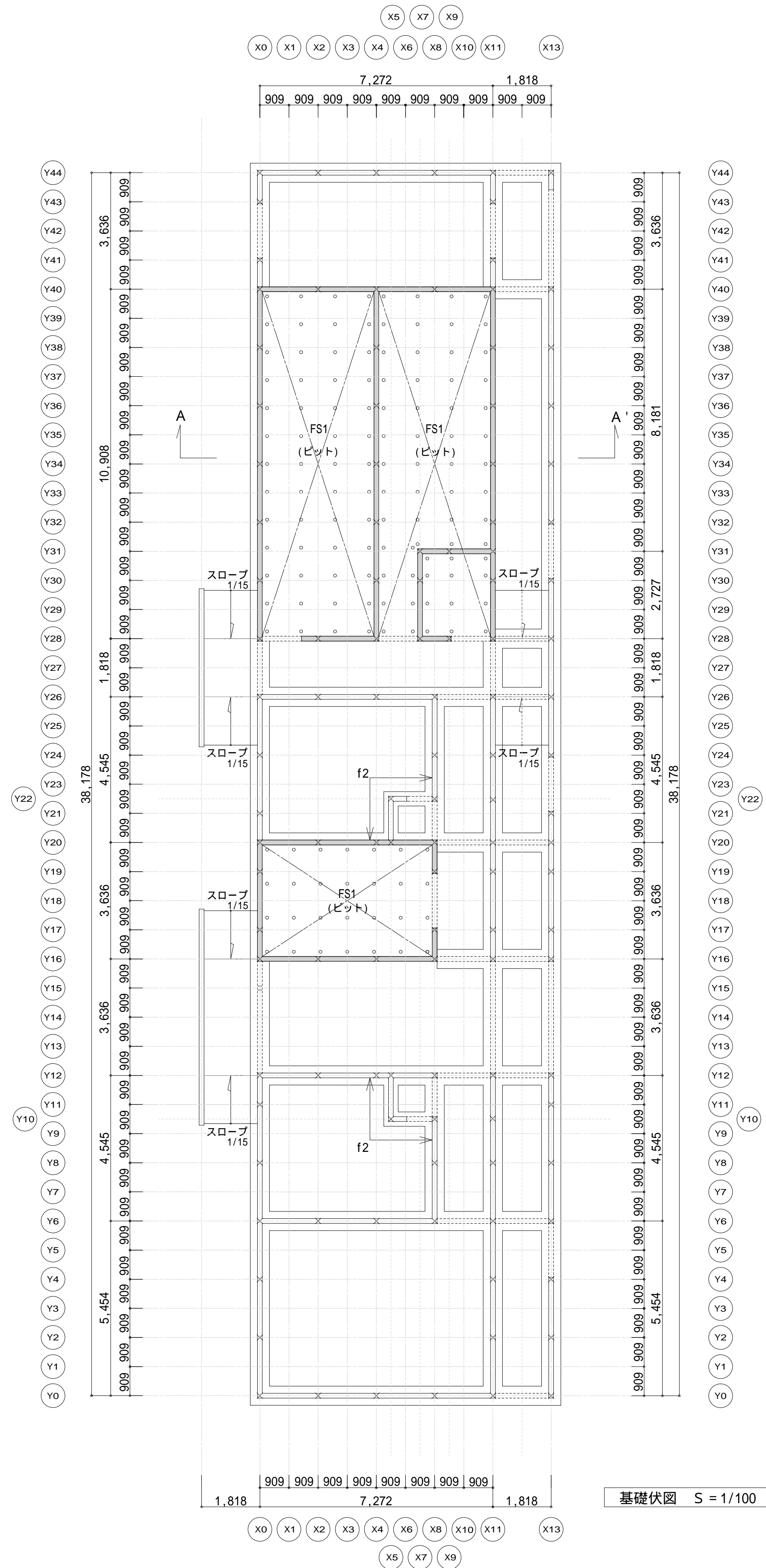
(7) 基礎梁・基礎スラブ



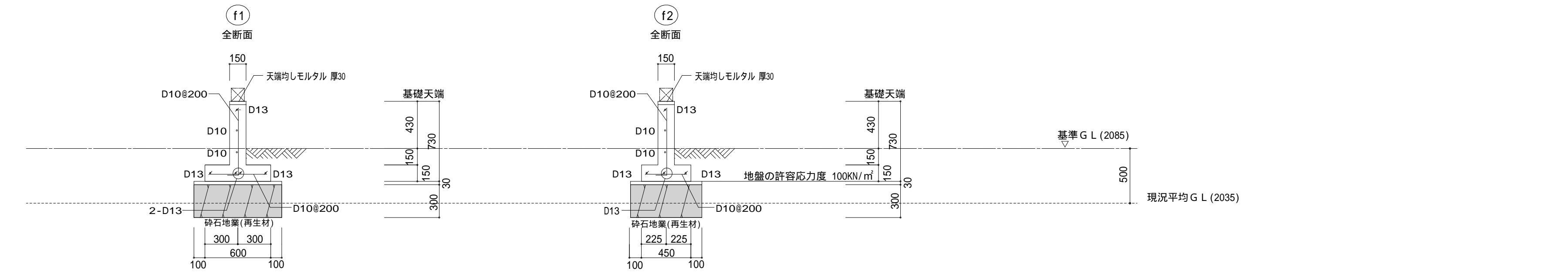
特記事項		
く体コンクリート	設計基準強度	$F_c = 21 \text{ N/mm}^2$
捨てコンクリート	設計基準強度	$F_c = 18 \text{ N/mm}^2$
異形棒鋼	SD295A	D10-D13 (規格品)
載荷試験	地盤の許容応力度 100 kN/m^2 (長期)	



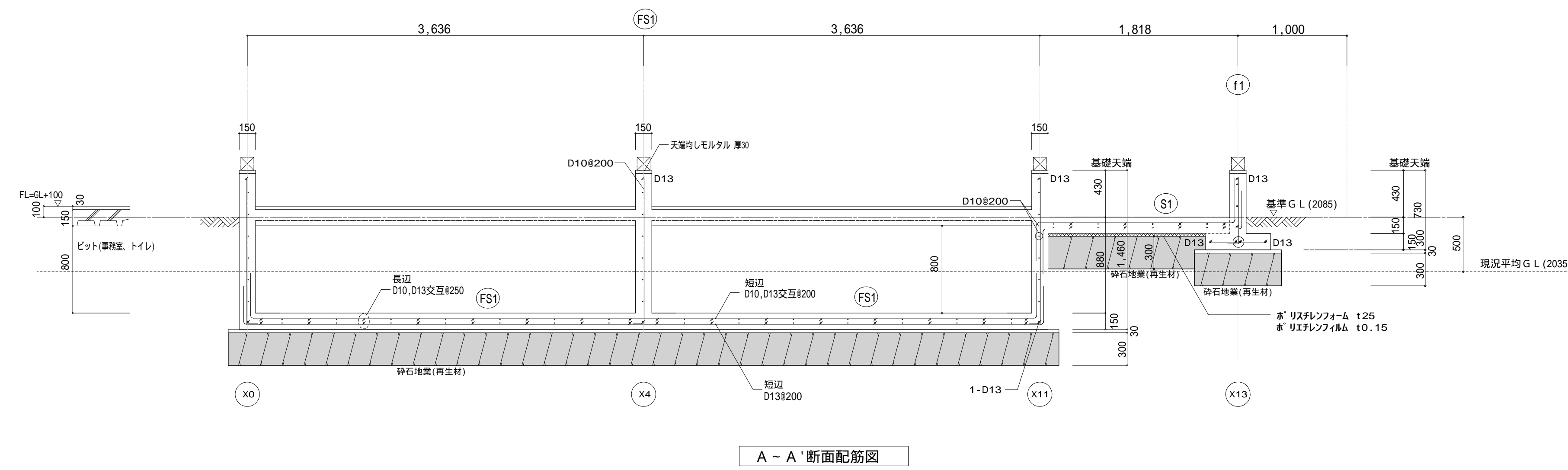
工事名	鶴岡市人工芝グラウンド整備工事(管理棟)	図番	S 06
図面名	基礎伏図、基礎詳細図	縮尺	1:100.30 (A1) 1:200.60 (A3)
鶴岡市日出一丁目16-1 山形県知事登録(1311)第1815号		日付	R8.03.24
株式会社 菅原設計		校閲	製図
1級建築士 第169159号 菅原英介		TEL 0235(22)1848 FAX 0235(22)1840	



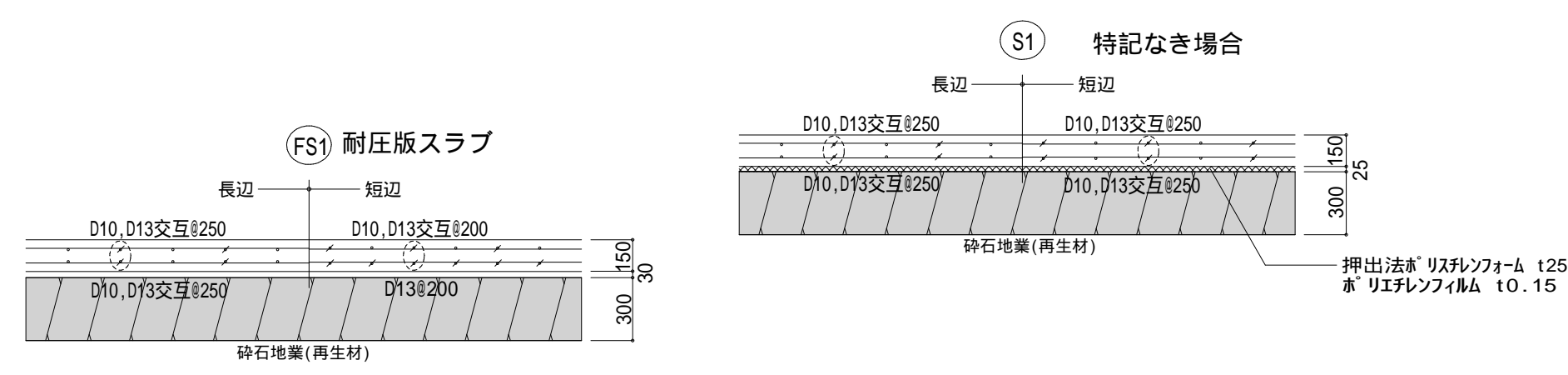
基礎伏図 S = 1/100



基礎配筋図



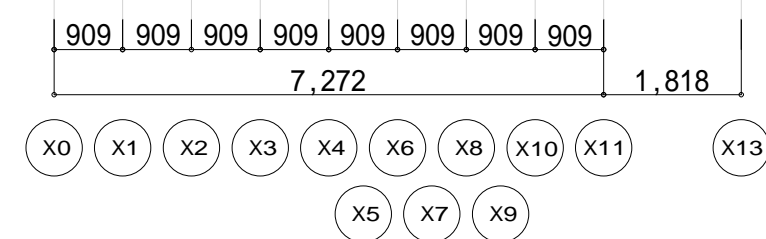
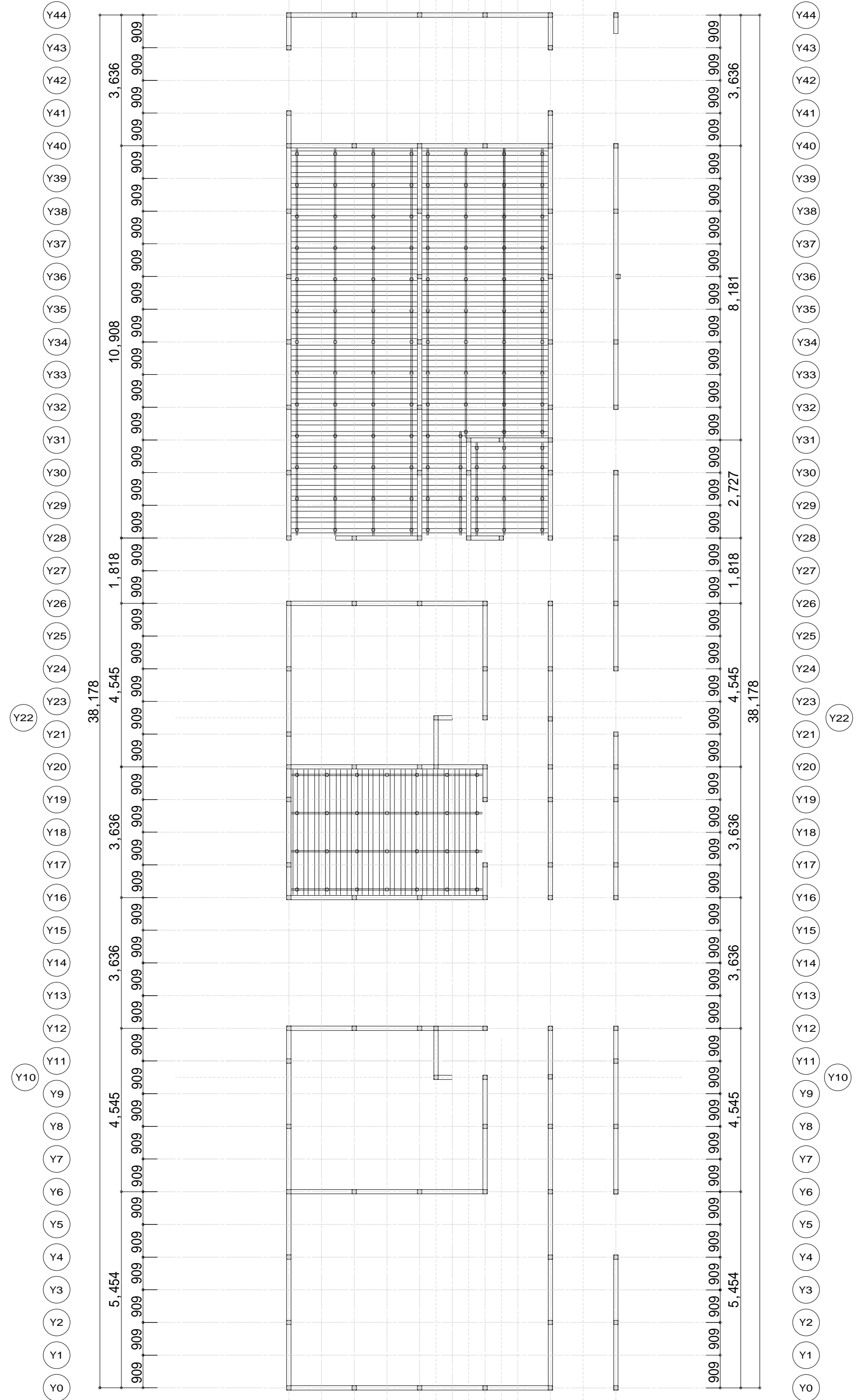
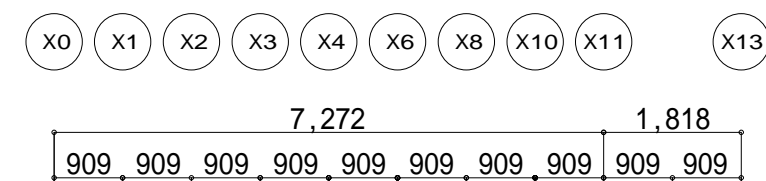
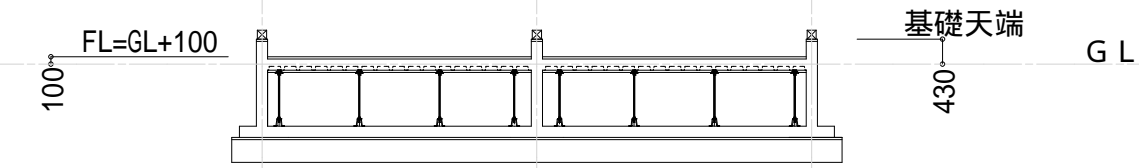
A-A'断面配筋図



スラブ配筋図

基礎詳細図 S = 1/30

工 事 名	鶴岡市人工芝グラウンド整備工事(管理棟)	図 番	S 07
図 面 名	床伏図、柱伏図・筋交位置図	縮 尺	1:100 (A1) 1:200 (A3)
鶴岡市日出一丁目16-1 山形県知事登録(1311)第1815号		日 付	R8.03.24
株式会社 菅原 設計		校 閲	製 図
1級建築士 第169159号 菅原 英 介		TEL 0235(22)1848 FAX 0235(22)1840	

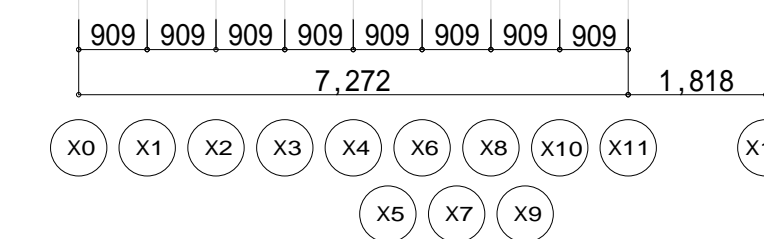
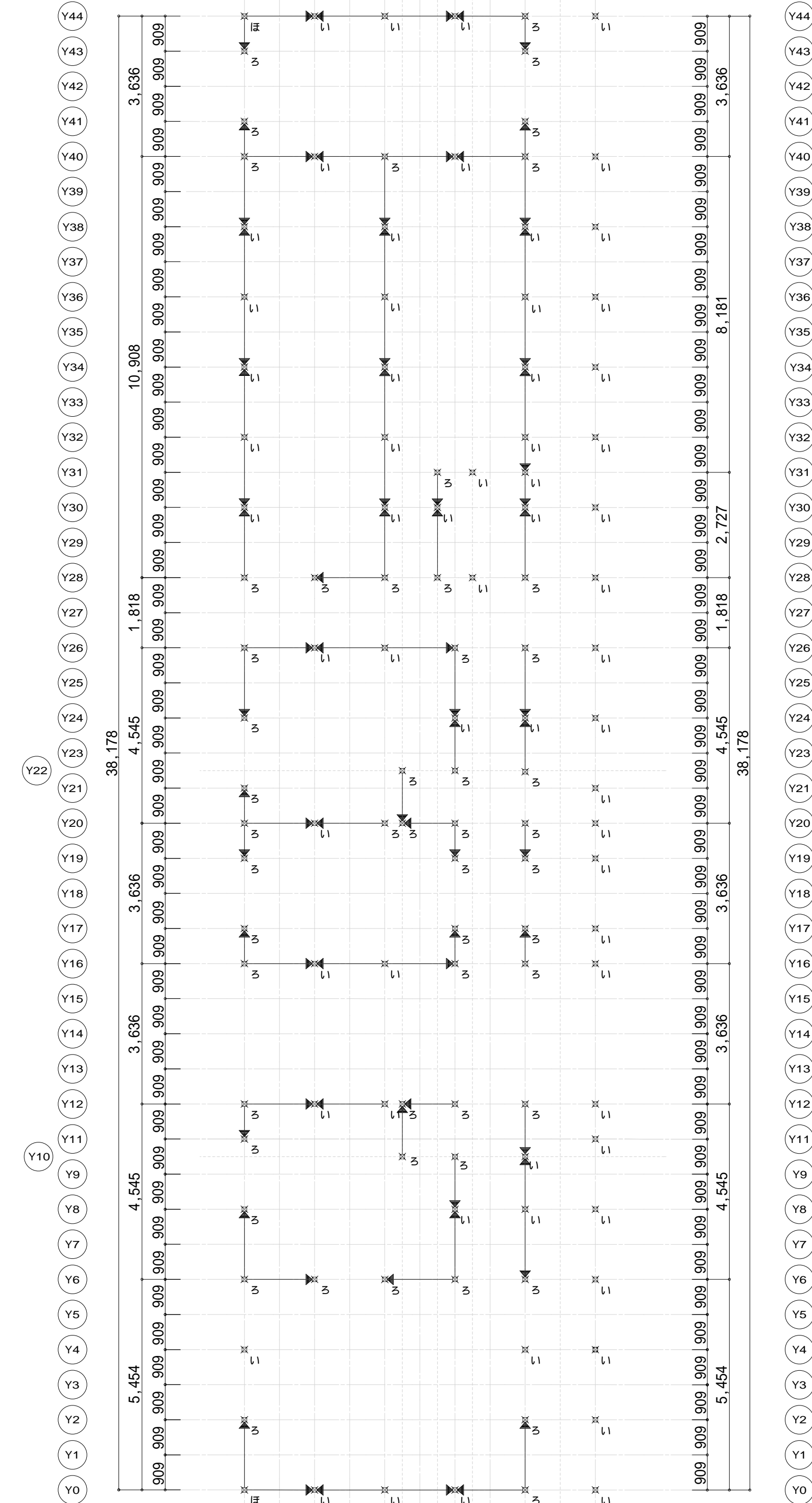
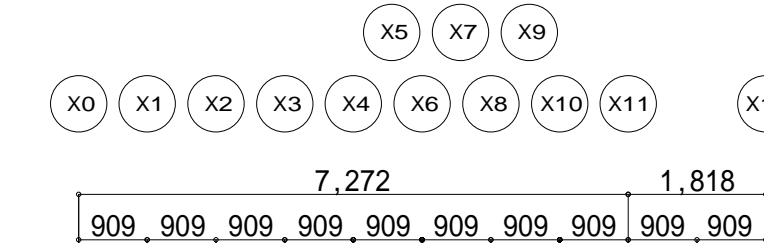


床伏図 S = 1/100

部材リスト

構造材全般	杉 1等材(無等級材)
土台	D1 120×120 桧1等 特記なき部材 継手 腰掛け鎌継ぎ 土台下端 ゴムアスルーフィング20k 敷込
柱	C 1 120×120 (芯持材) 符号無き柱
アンカーボルト	M12 L = 450 ⑧1,818内外 床点検口 アルミ製目地枠600角鍵付 位置は打合せによる 3か所(事務室、男子トイレ、女子トイレ)
大引	鋼製床下地材 @909 (重強度対応 (3t対応)) 鋼製床下地材(束) @909 (重強度対応 (3t対応))
デッキプレート	ALB12 (山高50 t=1.2) QL99-50-10(Z12)同等品 溶接金網 100×100×6

図面の表示寸法は仕上り寸法である



柱伏図・筋交位置図 S = 1/100

柱リスト

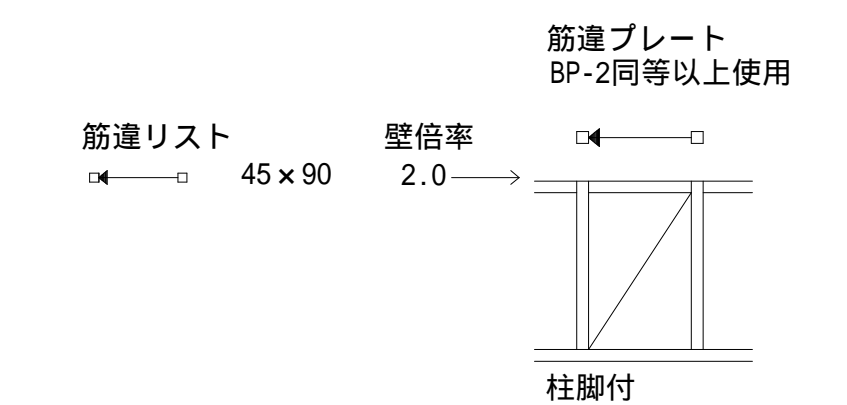
図面の表示寸法は仕上り寸法である

柱 杉 無等級材 (芯持材) C1 × 120×120 符号無き柱

「無等級材」とはJIS規格品に当てはまらないような低質な材料とる意味でなく、従来から在来構法で問題なく使用されてきた程度の材料という意味である。

筋違プレート

岡部株式会社 プレスター-Z (BP-2同等)

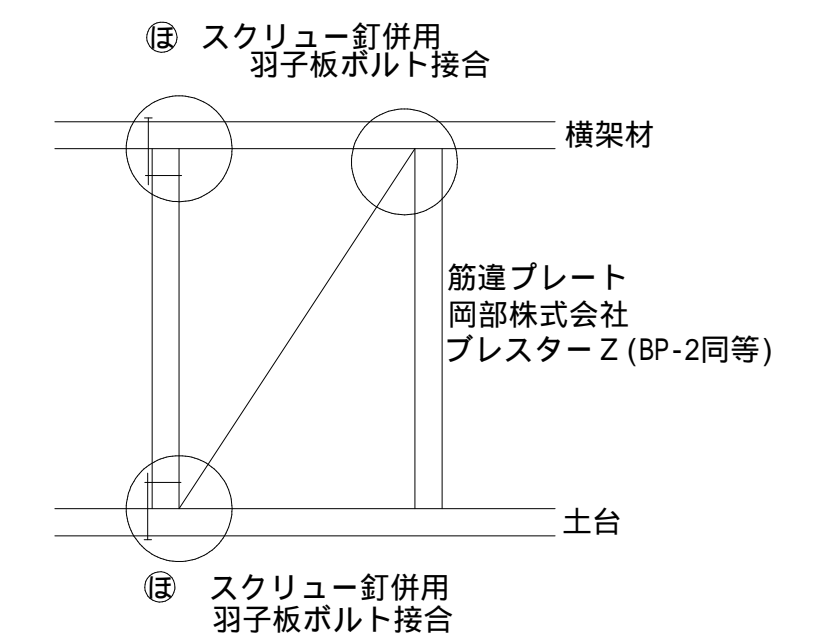


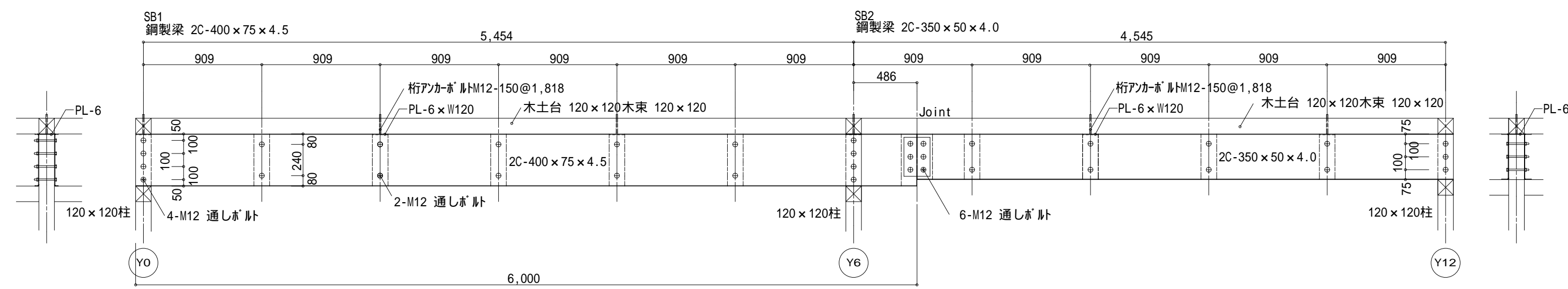
軸組端部の柱と主要な横架材との仕口 (H12建造1460)

記号	接 合 方 法	N値: 必要耐力
㊦	短ほぞ差し かすがい接合	0.0以下: 0.0KN
㊧	長ほぞ差し込み栓打ち	0.65以下: 3.4KN
㊨	かど金物または山形プレート	1.0以下: 5.1KN
㊩	羽子板ボルト接合	1.4以下: 7.5KN
㊪	スクリー-釘併用 羽子板ボルト接合	1.6以下: 8.5KN
へ	HD金物、S-HD10	1.8以下: 10.0KN
と	HD金物、S-HD15	2.8以下: 15.0KN
ち	HD金物、S-HD20	3.7以下: 20.0KN
ぬ	HD金物、S-HD15×2	5.6以下: 30.0KN

特記事項 特記なき軸組端部の柱と主要な横架材との仕口は(い)とする
(い)-(に)の仕口については(ほ)の仕口を採用する

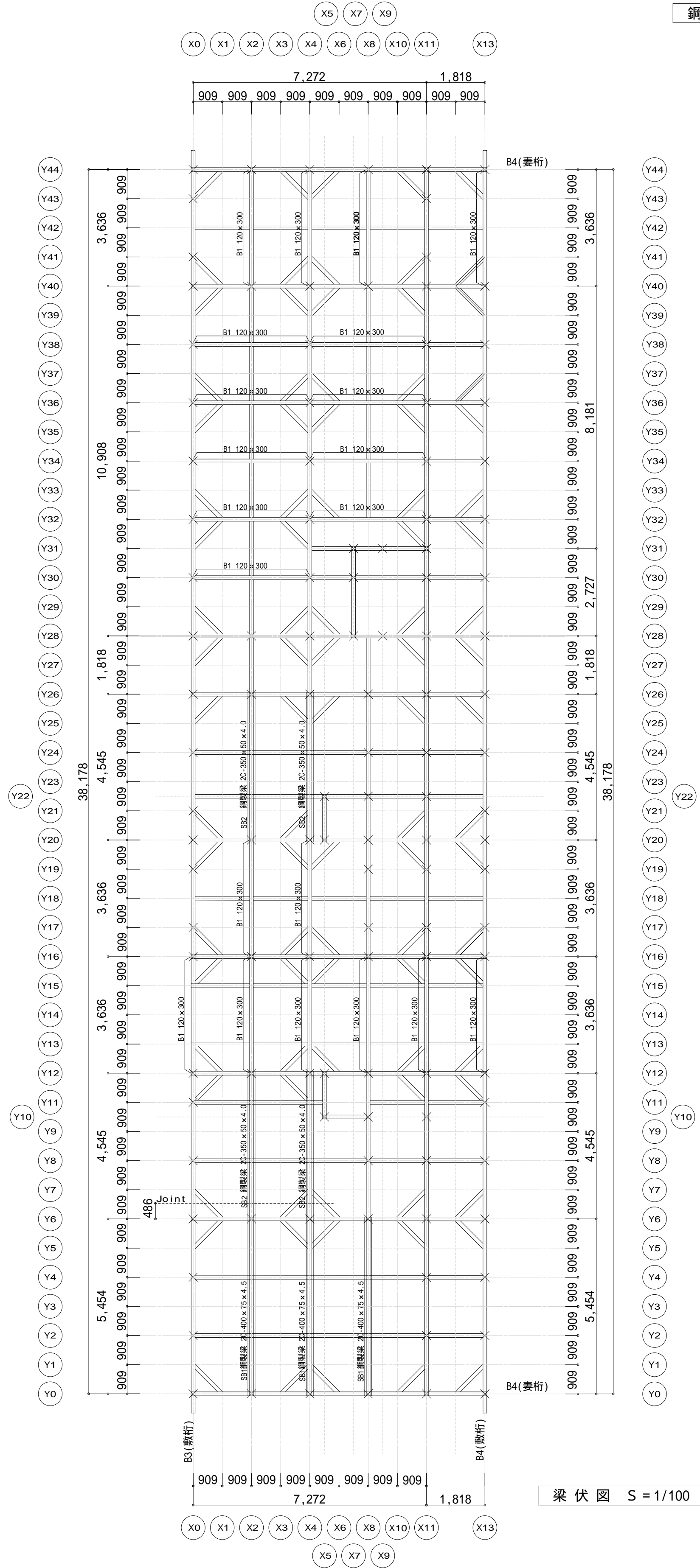
参考接合金物
㊦ Zマーク同等認定 建造1460号第二号(ほ)適合
タナカ W羽根、W羽根ボルト 同等品





鋼製梁詳細図 S = 1/30

工 事 名	鶴岡市人工芝グラウンド整備工事(管理棟)	図 番	S 0 8
縮 尺	1 : 100.30 (A1) 1 : 200.60 (A3)	日 付	R8.03.24
校 閲	製 図	鶴岡市日出一丁目16-1 山形県知事登録(1311)第1815号 株式会社 菅原 設計 1級建築士 第169159号 菅原 英 介 TEL 0235(22)1848 FAX 0235(22)1840	

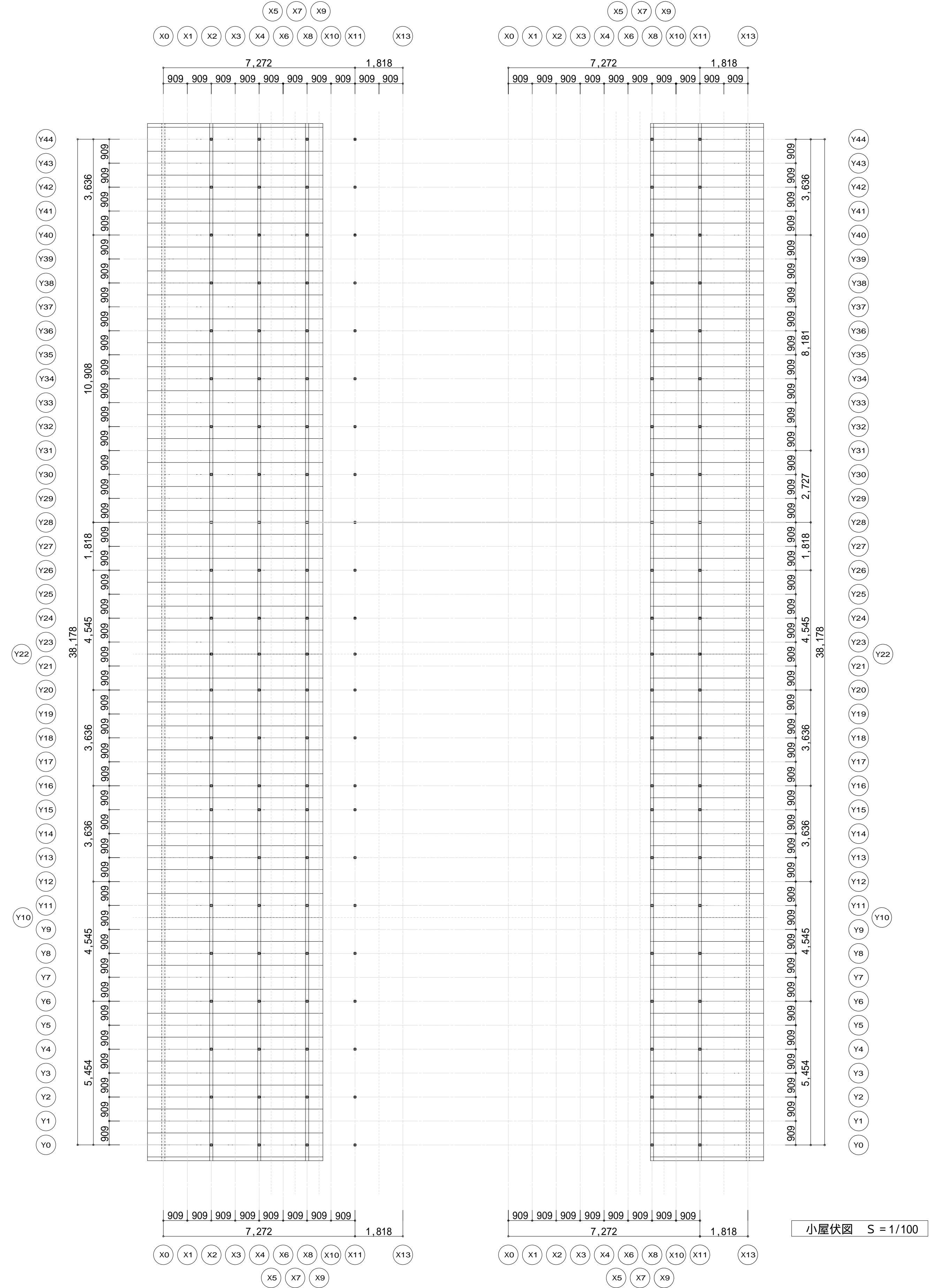


梁伏図 S = 1/100

部材リスト

構造材全般	杉 1等材(無等級材) 木材の加工はプレカット又は手加工とする 屋根の外周の構架材の接合部 羽子板ボルト以上
B1	120 x 300
B2	120 x 240
B3(桁梁)	120 x 135
B4(桁梁)	120 x 120 特記なき部材
SB1	桁 120 x 120 2C-400 x 75 x 4.5 ボルト4 - M12
SB2	桁 120 x 120 2C-350 x 50 x 4.0 ボルト3 - M12
	桁梁: 120 x 120 胴差し: 120 x 120
束	● 120 x 120 @1818以内
母屋	120 x 135 @1818以内 継手: 金輪継ぎ、追掛け大柱継ぎ
棟木	120 x 120
タル木	50 x 105 @454.5 ひねり金物
小屋筋違	30 x 90
束振止	30 x 90
火打梁	火打ち金物(タナカ:ビスどめオメガ火打ち600同等品)
野地板	構造用合板 厚12mm 屋根倍率0.7 N50@150以下
×	柱位置を示す 杉 無等級材

「無等級材」とはJIS規格品に当てはまらないような低質な材料とらう意味でなく、従来から在来工法で問題なく使用されてきた程度の材料という意味である。

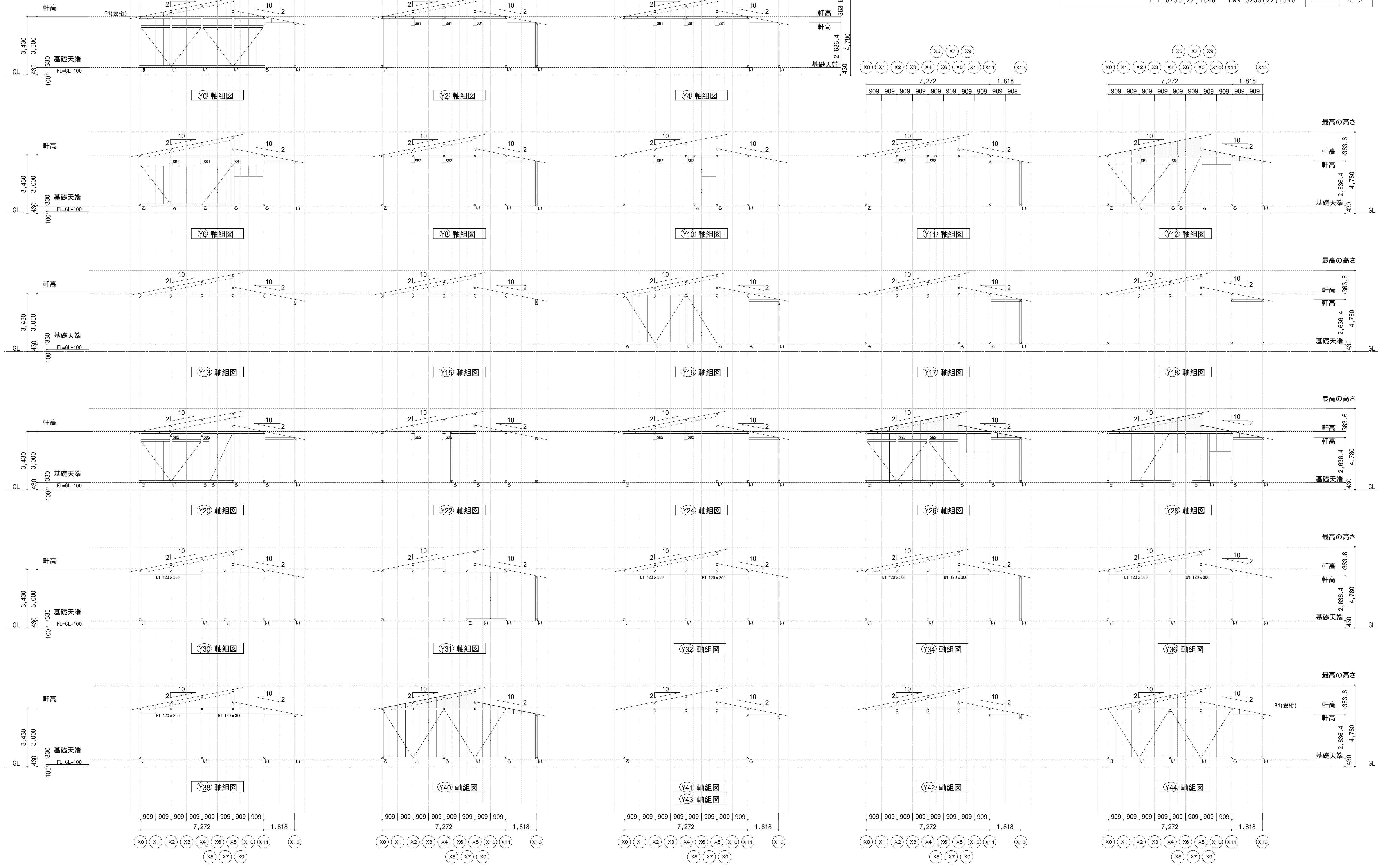


小屋伏図 S = 1/100

- 凡例
 特記なき部材
 土台 D1 120×120
 柱 C1 120×120
 横架材 B3 120×120
 桁材 B4 120×120
 筋違 45×90

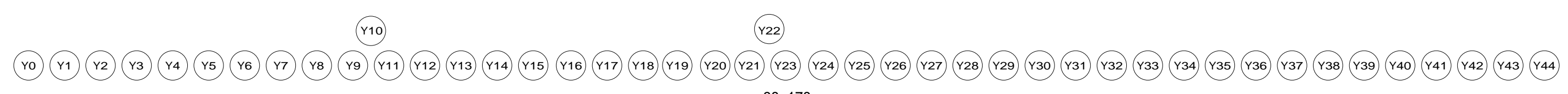
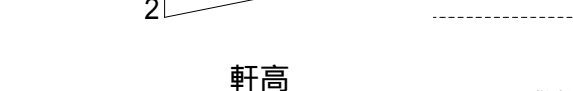
特記なき軸組端部の柱と
 主要な横架材との仕口は(ほ)とする
 特記なき屋根勾配

10
 2



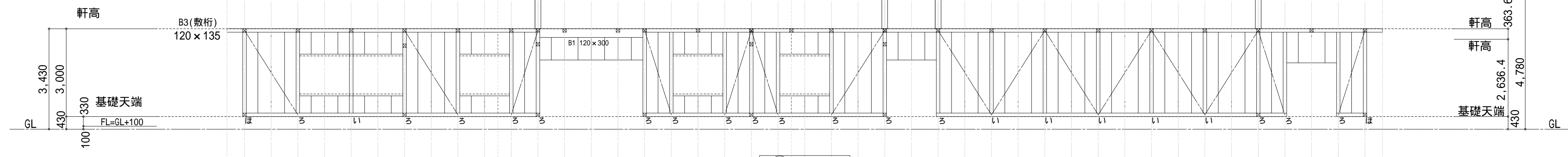
凡例	
特記なき部材	
土台	D1 120×120
柱	C1 120×120
横架材	B3 120×120
桁材	B4 120×120
筋違	45×90

特記なき軸組端部の柱と
主要な横架材との仕口は(ほ)とする
特記なき屋根勾配

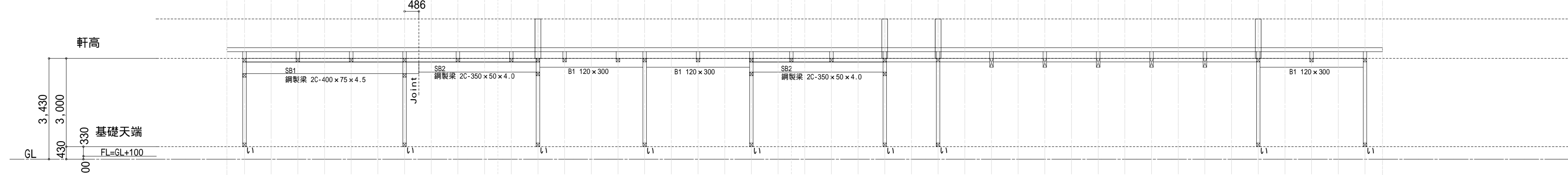
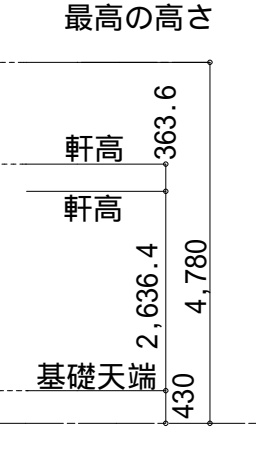


令114条第3項による小屋裏隔壁(けた行間隔12m以内)
両面石膏ボード(15)張り(準耐火45分)

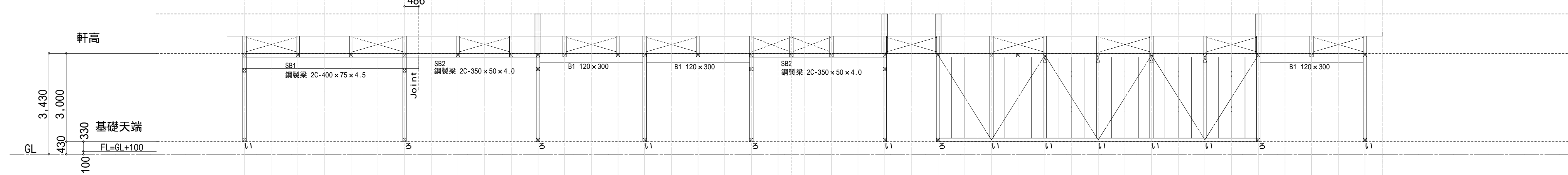
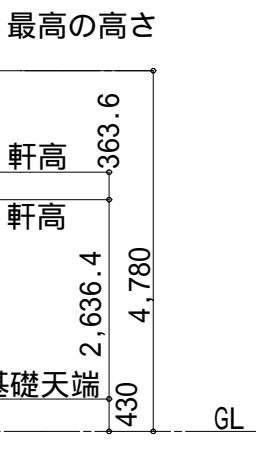
工事名	鶴岡市人工芝グラウンド整備工事(管理棟)	図番	S 10
縮尺	1:100 (A1) 1:200 (A3)	日付	R8.03.24
図面名	軸組図 2	校閲	製図
鶴岡市日出一丁目16-1 山形県知事登録(1311)第1815号		株式会社 菅原 設計	
1級建築士 第169159号 菅原 英介		TEL 0235(22)1848 FAX 0235(22)1840	



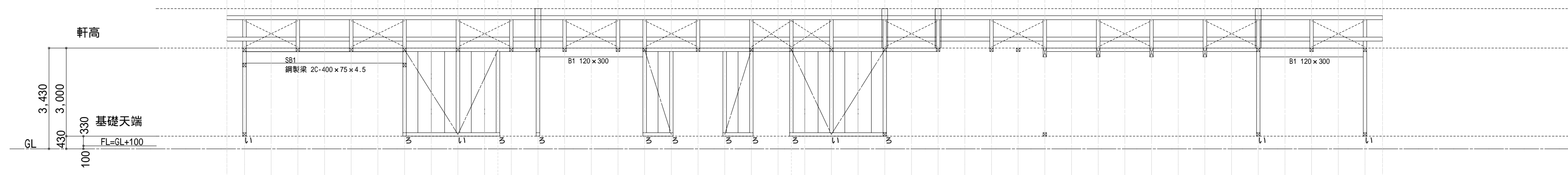
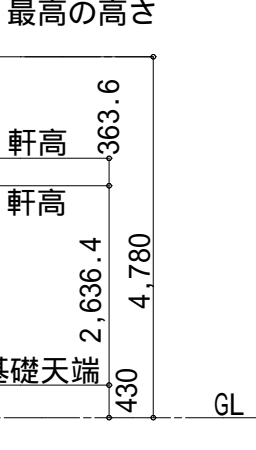
(X0) 軸組図



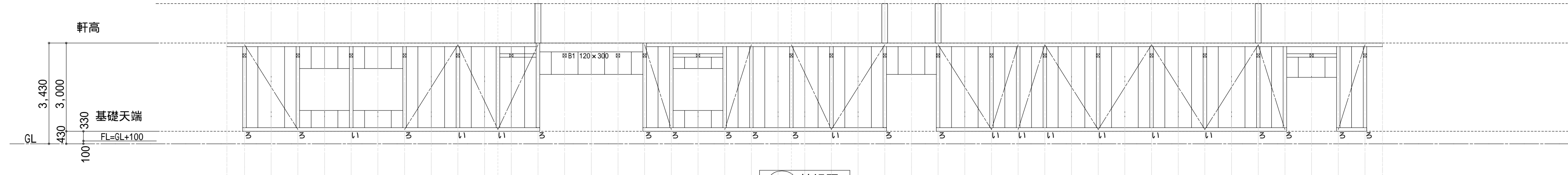
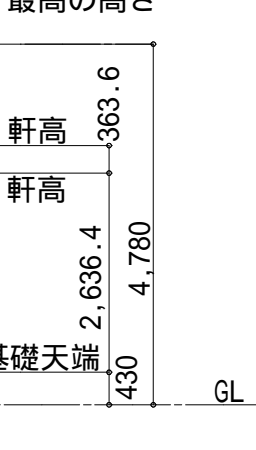
(X2) 軸組図



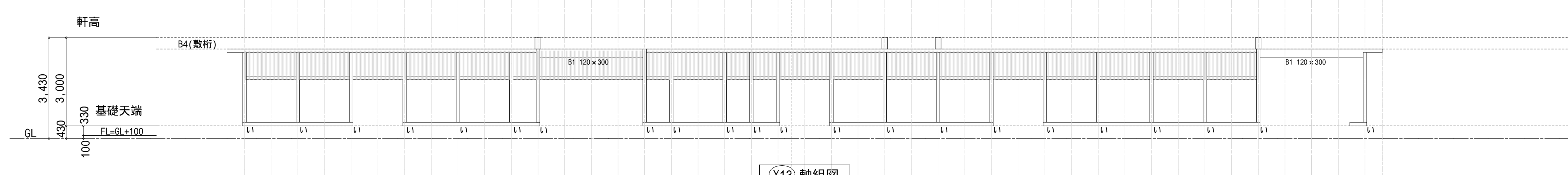
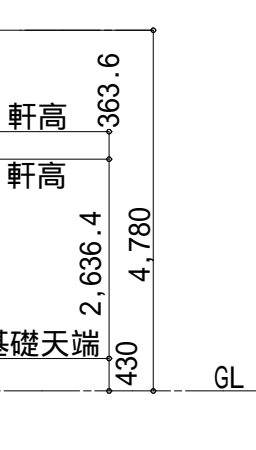
(X4) 軸組図



(X8) 軸組図



(X11) 軸組図



(X13) 軸組図

